

新総合計画基本計画

地域まちづくり計画

新総合計画 基本計画 地域まちづくり計画

片瀬地区	2
鵠沼地区	14
辻堂地区	26
村岡地区	40
藤沢地区	55
明治地区	68
善行地区	81
湘南大庭地区	92
六会地区	107
湘南台地区	117
遠藤地区	134
長後地区	144
御所見地区	161

【役割の担い手】の表記について

役割の担い手は、「めざそう値」実現に向けた、取り組む主体の多様性を示すもので、2010年8月21日から9月3日にかけて実施した「めざそう値」調査の項目として調査しました。計1,367件の5段階評価（役割は、大きい、やや大きい、やや小さい、小さい、ない）の回答を集計後、各主体毎の割合を求めたものです。それぞれの割合は、責任の大きさではなく、実現に向け行動する主体としての期待を示しています。

「まちづくり計画」では、紙面とページ数の点から、凡例により表示します。

【凡例】

- A：市民（個人・家庭） B：市民団体（含市民ボランティア）・NPO
C：地域団体（自治会・町内会等） D：企業等（民間企業・財団法人等）
E：子育て機関（学校・幼稚園・保育園等） F：行政 G：その他

新総合計画基本計画

片瀬地区 地域まちづくり計画

地域まちづくりのテーマ

歴史の薫りと潮の香りがただようふれあいのまち 片瀬・江の島

都市ビジョン1 市民の力が育てる生活充実都市

藤沢づくりのめざす方向性 1 地域自律型の「藤沢づくり」を育むまち

地域の歴史・文化や地域資源を活かして、地域に住み、働き、学ぶ人たちが協働して、地域から生み出す付加価値を享受するために、各地区ごとに個性のある地域経営を進めるとともに、行政は財政改革と行政改革を進めるとともに、新たな行政システムを構築し、市民、地域と協働して市民主体、地域自律型の「藤沢づくり」をめざします。

<②強みや魅力の維持・向上を>

ふじさわ未来課題

7 お互いがマナーを守り、助け合いの心で過ごせるまちであること

【地域まちづくり目標】

01 みんなにやさしい 思いやりのまち片瀬

【目標の背景・方向性】

片瀬・江の島では様々な地域活動が積極的に行われていますが、新たな活動者の参加は多くなく、一部の地域市民の負担が大きくなっている状況があります。まちづくりには、私たち地域市民の多くが片瀬・江の島の海のような広く大きな心で、世代を超えて手を取り合って歩んで行くことが大切です。

【成果指標】

①地域活動に参加したことがある人の割合

【現状値】 ①7%

【めざそう値】 3年後：①10% 6年後：①15%

【役割の担い手】 ①A:19% B:21% C:21% D:10% E:12% F:16% G:1%

《地域まちづくり活動》

《活動-1》 みんなが知っている、参加している、連携している地域活動の推進

<成果の視点> 地域活動が活発で、助け合うまちづくりがなされていること。

藤沢づくりのめざす方向性 2 明日の藤沢を担う「藤沢の子どもたち」を育む環境

明日の藤沢を担う「藤沢の子どもたち」を育んでいくため、安心して子どもを産み、育てられる生活環境や多様な教育ニーズへの対応、家庭・地域・学校の教育連携など、教育環境を持続・発展させることをめざします。

<①協働型の課題解決で価値向上へ>

ふじさわ未来課題

14 学校・家庭・地域のつながりを育む活動が活発であること

【地域まちづくり目標】

02 つなげよう！学校・家庭・地域の輪

【目標の背景・方向性】

核家族化や働きながら子育てをする家庭の増加など家庭での子育ての環境は大きく変化してきています。一方、片瀬・江の島には子育て経験の豊かな人も多く存在します。「明日を担う子ども達は地域の宝」です。こども達の健やかな成長のため、地域全体で見守り、支え、育む体制が重要です。

【成果指標】

①地域が子育てに積極的に関わっていると感じている市民の割合

【現状値】 ①34%

【めざそう値】 3年後：①40% 6年後：①50%

【役割の担い手】 ①A:19% B:16% C:17% D:11% E:17% F:19% G:1%

《地域まちづくり活動》

《活動-2》 子ども達を見守り、育む地域づくりの推進

<成果の視点> 学校・家庭・地域が連携して子どもを見守り、育む活動をしていること。

藤沢づくりのめざす方向性 3 市民力・地域力による安全で安心して暮らせるまち

コミュニティを維持・発展させ、市民が一生安心して暮らせる保健・医療（介護）・福祉・健康などの生活環境と、犯罪や災害への不安解消などによる、安全で安心できる地域社会を創り上げることをめざします。また、病気の予防やスポーツなどを通じた身体的な健康のみならず、心も健やかであるために、生き生きと安心して暮らせる私たちの健康づくりをめざします。

<①協働型の課題解決で価値向上へ>

ふじさわ未来課題

18 災害に対して、市民が不安なく暮らせるまちであること

【地域まちづくり目標】

03 地域力最大 被害最小 災害に負けないまち片瀬

【目標の背景・方向性】

阪神・淡路大震災では、自力脱出困難者の77%が近隣住民によって救出されています。特に海と山と川に囲まれた片瀬・江の島は自然災害によるリスクが大きい地域であると言えます。災害被害の軽減には、都市基盤の整備が重要であると共に、地域力を結集した自主的な準備や防災活動が重要です。

【成果指標】

①災害対策がしっかりとできていると感じている人の割合

【現状値】 ①19%

【めざそう値】 3年後：①30% 6年後：①40%

【役割の担い手】 ①A:20% B:15% C:19% D:12% E:14% F:20% G:0%

《地域まちづくり活動》

《活動-3》 災害にも安全なまちづくりの推進

<成果の視点> 災害に安全な環境づくりがされていること。

《活動-4》 地域力による災害対策の推進

<成果の視点> 地域で防災活動などの対策が進められていること。

ふじさわ未来課題

23 福祉が充実し、子どもから高齢者まで守られていること

【地域まちづくり目標】

04 みんなで支え、みんなで守る片瀬の暮らし

【目標の背景・方向性】

片瀬・江の島は市内で最も高齢者の割合が多く少子高齢化を象徴するまちです。身近な日々の暮らしの場に存在する多様な生活・福祉課題に地域全体で取り組み、個では負えない問題を地域で支え合い、「誰もが孤立することなく心豊かにすごせる」まちを目指します。

【成果指標】

①地域に支えられて暮らしていると実感している人の割合

【現状値】 ①28%

【めざそう値】 3年後：①33% 6年後：①40%

【役割の担い手】 ①A:19% B:16% C:18% D:12% E:15% F:18% G:2%

《地域まちづくり活動》

《活動－5》 地域で支え合う福祉活動の推進

<成果の視点> 地域に必要な福祉的な活動が行われていること。

《活動－6》 活動の場、安らぎの場があるまちづくりの推進

<成果の視点> 地域に福祉活動の拠点やいつでも集える場等が整っていること。

<②強みや魅力の維持・向上を>

ふじさわ未来課題

19 治安の良い環境であること

【地域まちづくり目標】

05 お年寄りも安心！子どもも安全！住みよい片瀬

【目標の背景・方向性】

地域の防犯パトロールの実施など様々な防犯活動によって犯罪件数は減少してきました。しかし、空き巣やひったくり、自動車・自転車盗、子どもに対するいたづらなどが後を絶ちません。また、観光地としての防犯・交通の課題も見られます。小さな地域力を結集して大きく強力な地域力を築き、犯罪が入り込めない・交通事故のない安心・安全なまちづくりを進めます。

【成果指標】

①安心安全なまちと感じている人の割合

【現状値】 ①33%

【めざそう値】 3年後：①40% 6年後：①50%

【役割の担い手】 ①A:20% B:15% C:19% D:9% E:14% F:19% G:4%

《地域まちづくり活動》

《活動－7》 犯罪のない安心なまちづくりの推進

<成果の視点> 犯罪が少なくなっていくこと。

《活動－8》 交通事故のない安全なまちづくりの推進

<成果の視点> 交通事故の危険がないまちづくりが進められていること。

藤沢づくりのめざす方向性 4 共に生き、共に創る地域社会の創出

すべての市民が、差別や偏見を持つことなく、互いを認め合い、共に生き、働き、学ぶことができる豊かな生活環境を実現するため、それぞれの人権を尊重し、男女が共同で参画し、高齢者、若者なども積極的に参画できる、多文化が共生する穏やかな地域の社会環境を創り出すことをめざします。

<①協働型の課題解決で価値向上へ>

ふじさわ未来課題

34 地域で支え合い暮らせる環境であること

【地域まちづくり目標】

06 えがおで暮らそう！明るい片瀬

【目標の背景・方向性】

三世代で片瀬・江の島に住み続けている家庭がある一方、マンション建設等によって新しく地域の一員となる家庭も増えています。また少子高齢化等によって単身世帯の増加も進んでいます。新旧・世代を超えて挨拶・交流にあふれ、まち全体のコミュニケーションが豊かであることが片瀬・江の島のまちづくりの基本となります。

【成果指標】

①日常の挨拶ができていると思う人の割合

【現状値】 ①64%

【めざそう値】 3年後：①70% 6年後：①80%

【役割の担い手】 ①A:21% B:15% C:20% D:10% E:19% F:14% G:1%

《地域まちづくり活動》

《活動-9》 世代を超えたコミュニケーションとふれあいのあるまちづくりの推進

<成果の視点> 地域に挨拶があふれ、世代を超えたふれあいがあること。

藤沢づくりのめざす方向性 5 豊かな地域資源の次世代への継承・発展

藤沢の自然環境、景観、歴史・文化資産など、先人から引き継いできた地域固有の資源をさらに発展させ、次世代に継承することによって都市としてのアイデンティティを高め、地域資源を活かしたまちをつくることをめざします。

<④熟慮と根拠ある未来戦略を>

ふじさわ未来課題

40 地域にある様々な地域資源*1 が活かされていること

【地域まちづくり目標】

07 活かそう！守ろう！つなげよう！片瀬の資源

【目標の背景・方向性】

片瀬・江の島は文化財などがまちの中に豊富に存在する歴史と文化のまちです。また、湘南の海に開かれた水と緑の自然環境にも恵まれた地域です。この地域の宝を地域全体で理解し、愛し、守り育み、次世代に継承して行きます。

【成果指標】

①歴史などの地域資源が活かされていると思う人の割合

②自然などの地域資源が活かされていると思う人の割合

【現状値】 ①34% ②41%

【めざそう値】 3年後：①40% ②50% 6年後：①50% ②60%

【役割の担い手】 ①A:14% B:17% C:18% D:14% E:17% F:19% G:1%

②A:13% B:18% C:20% D:14% E:13% F:21% G:1%

《地域まちづくり活動》

《活動-10》 地域の歴史・文化や伝統行事を発展、継承するまちづくりの推進

<成果の視点> 地域の歴史や文化が発展・継承される対策がされていること。

《活動-11》 地域の自然や緑を守り、つなげるまちづくりの推進

<成果の視点> 地域の自然が守られる対策がなされていること。

*1 地域資源：藤沢市内や各地域に存在する、自然環境や景観、文化や伝統、歴史、建造物、お祭り、団体や人的資源、大学や産業などを広い範囲で地域資源と呼んでいます。

藤沢づくりのめざす方向性 6 地球温暖化防止など未来の地球環境への投資

地球温暖化などの環境問題やエネルギー・食糧などの資源にかかわる課題について、地球規模の視点に立って地域で取り組み、持続可能なまちと低炭素社会をつくりあげることがめざします。また、地域の大学力や企業力を活かして、産学官による協働と連携によって、最先端の環境技術を生み出す産業構造や環境に優しい都市システムを創り出すことをめざします。

<②強みや魅力の維持・向上を>

ふじさわ未来課題

49 人々の環境への意識が高く、快適なまちであること

【地域まちづくり目標】

08 キレイがいちばん！片瀬のまち

【目標の背景・方向性】

私たちは湘南の海の玄関口、片瀬・江の島を、常にキレイにするよう心がけています。また、片瀬と鶴沼地区は県のレジ袋削減推進モデル地域にも指定されています。生活者にも、観光客にも、そして将来の子ども達にも快適な環境をつなげて行けるよう循環型のまちづくりを進めていきます。

【成果指標】

①日常生活の中で、循環型社会の実現に向けた行動を実践している市民の割合

【現状値】 ①71%

【めざそう値】 3年後：①80% 6年後：①86.5%

【役割の担い手】 ①A:22% B:12% C:11% D:18% E:12% F:22% G:3%

《地域まちづくり活動》

《活動-12》 地球環境保全につなげる地域環境活動の推進

<成果の視点> 地域や地球の環境を考えた生活や活動をしていること。

藤沢づくりのめざす方向性 7 「藤沢づくり」を支える都市構造の再構築と地域経済の活力再生

産業や生活の基盤を支える都市機能を強化していくために、新たな拠点地区の整備や連携する道路、鉄道等の公共交通、海上交通のネットワーク化など、土地利用の方向性も含んだ「新たな都市構造の再構築」をめざします。また、産業の活力を高め、雇用の機会を増やし地産地消の推進を図るため、市民、地域の持つ資源を活かしつつ、商業、工業、観光、農水産業など、市民力、地域力、大学力、企業力などの連携によって地域経済の活力再生をめざします。

<②強みや魅力の維持・向上を>

ふじさわ未来課題

57 すべての世代がのびのび・いきいきと活躍していること

【地域まちづくり目標】

09 やさしい！うれしい！たのしい！片瀬のまち

【目標の背景・方向性】

江戸期から信仰と景勝の地として親しまれてきた片瀬・江の島は、歴史と自然を活かした景観づくりや賑わいを創出してきました。片瀬・江の島の商店街や漁港などがさらに魅力あふれるものに発展することは、地域が楽しく、元気になることでもあります。

【成果指標】

- ①地域の商業に元気があると感じている市民の割合
- ②地域の農水産業に元気があると感じている市民の割合

【現状値】 ①13% ②21%

【めざそう値】 3年後：①20% ②29% 6年後：①25% ②30%

【役割の担い手】 ①A:15% B:14% C:17% D:21% E:7% F:19% G:7%

②A:14% B:14% C:19% D:22% E:7% F:21% G:3%

《地域まちづくり活動》

《活動－13》 商店街や漁港と共に進める地域の活性化

<成果の視点> 片瀬の商店や漁港が発展し、地域が元気であること。

藤沢づくりのめざす方向性 8 公共資産の維持管理と有効活用

公有地などの公共的な保有資産の積極的な活用とともに、公共施設の集約・移転等により生じる跡地、施設の有効活用、地域ニーズに合った資産を活用します。そのためには、公共施設・都市基盤施設の老朽化の時期を見据えて、既存施設の保全、再構築、機能更新など、社会資本の有効活用と長寿命化をめざします。

<①協働型の課題解決で価値向上へ>

ふじさわ未来課題

71 多様な連携を通じて、市民が望むサービスが提供されていること

【地域まちづくり目標】

10 利用しよう！片瀬にあるいろいろなサービス

【目標の背景・方向性】

個人や地域のニーズが多種、多様化していますが、市税の減収や公的施設などの老朽化は進んでいます。また、地域の公的施設などは多目的には利用しづらい状況があります。行政と市民、民間企業等が連携・役割分担し、限られた財源や土地・建物等の地域資源を効率的、効果的に活用できるよう検討し、地域のニーズへの対応を図ります。

【成果指標】

①地区内公共施設の利用率

【現状値】①42.9%

【めざそう値】3年後：①50% 6年後：①55%

【役割の担い手】①A:18% B:18% C:23% D:8% E:9% F:20% G:4%

《地域まちづくり活動》

《活動-14》 地域の公共資産の有効活用等の推進

<成果の視点> 地域の公共資産が地域ニーズに合った利用がされ、市民主体の事業が行われていること。

<②強みや魅力の維持・向上を>

ふじさわ未来課題

67 移動や利用にあたり、誰でも利用できる道路や施設であること

【地域まちづくり目標】

11 でかけよう！安全安心 片瀬のまちへ

【目標の背景・方向性】

高齢化が進む片瀬・江の島は、坂道や狭隘道路も多く、外出に不安や不便を感じている方が少なからずいると思われます。駅舎、道路、建物などのバリアフリー化や公共交通の機能強化など、子どもから高齢者まで誰にでもやさしいまちづくりを進めます。

【成果指標】

①移動や利用に不便を感じていない市民の割合

【現状値】 ①40%

【めざそう値】 3年後：①45% 6年後：①55%

【役割の担い手】 ①A:12% B:18% C:20% D:17% E:8% F:22% G:3%

《地域まちづくり活動》

《活動-15》 誰でも、安心して移動できるまちづくりの推進

<成果の視点> 子どもから高齢者まで、誰でも外出し易い環境が整っていること。

藤沢づくりのめざす方向性 9 「藤沢ライフスタイル」と「湘南カルチャー」の創出

湘南の環境と文化、ブランド力などの地域の特性を活かした、魅力的な生活（「藤沢ライフスタイル」）や創造的な湘南の文化（「湘南カルチャー」）の創出をめざし、その魅力と価値を発信します。そして、市民一人ひとりが豊かな心を育み、地域と世界をつなぐ国際交流などを通じて人材を育て、文化にふれあう交流発信のまちをつくりあげることをめざします。

<②強みや魅力の維持・向上を>

ふじさわ未来課題

73 活気があり、開放的で温かいまちであること

【地域まちづくり目標】

12 世界へ発信！湘南の魅力

【目標の背景・方向性】

江戸期の浮世絵にも多く描かれ、文化交流の場であった江の島や片瀬の海岸は、現在も湘南の環境やブランドを象徴する地域と言えます。この魅力をさらに伸ばし、広く世界に発信して、多くの人々が交流できるまちづくりを進めます。

【成果指標】

①片瀬・江の島を訪れる人数

【現状値】①8,265 千人

【めざそう値】3年後：①8,300 千人 6年後：①9,000 千人

【役割の担い手】①A:8% B:16% C:15% D:19% E:8% F:20% G:14%

《地域まちづくり活動》

《活動-16》 湘南の魅力を世界に発信するまちづくりの推進

<成果の視点> 湘南の魅力にあふれ、世界の人々が交流するまちであること。

新総合計画基本計画

鵜沼地区 地域まちづくり計画

地域まちづくりのテーマ

緑と海と人が輝くまち「湘南ふじさわ鶴沼」

都市ビジョン1 市民の力が育てる生活充実都市

藤沢づくりのめざす方向性 1 地域自律型の「藤沢づくり」を育むまち

地域の歴史・文化や地域資源を活かして、地域に住み、働き、学ぶ人たちが協働して、地域から生み出す付加価値を享受するために、各地区ごとに個性のある地域経営を進めるとともに、行政は財政改革と行政改革を進めるとともに、新たな行政システムを構築し、市民、地域と協働して市民主体、地域自律型の「藤沢づくり」をめざします。

<①協働型の課題解決で価値向上へ>

ふじさわ未来課題

7 お互いがマナーを守り、助け合いの心で過ごせるまちであること

【地域まちづくり目標】

01 地域に住み、働き、学ぶ人たちが協働して地域活動を進めるまち

【目標の背景・方向性】

鶴沼地区の強みである市民力を活かし、地域活動を担う人材を育成するとともに、参画機会の提供を図ることで、地域活動の充実と人が輝く鶴沼のまちを目指します。

【成果指標】

①地域活動に参加している人の割合

【現状値】 ①36%

【めざそう値】 3年後：①40.5% 6年後：①50%

【役割の担い手】 ①A:19% B:17% C:22% D:12% E:12% F:17% G:1%

《地域まちづくり活動》

《活動－1》 地域活動の充実と人材の育成

<成果の視点> ボランティアの人数が増えたと感じられること

藤沢づくりのめざす方向性 2 明日の藤沢を担う「藤沢の子どもたち」を育む環境

明日の藤沢を担う「藤沢の子どもたち」を育んでいくため、安心して子どもを産み、育てられる生活環境や多様な教育ニーズへの対応、家庭・地域・学校の教育連携など、教育環境を持続・発展させることをめざします。

<①協働型の課題解決で価値向上へ>

ふじさわ未来課題

14 学校・家庭・地域のつながりを育む活動が活発であること

【地域まちづくり目標】

02 学校・家庭・地域が手をつなぎ、次世代を担う子どもたちを育むまち

【目標の背景・方向性】

次世代の担い手となる子どもたちは、鶴沼地区の宝です。学校・家庭・地域がスクラムを組み、豊かな鶴沼の環境の中で子どもたちが安心してのびのびと遊び、学び、成長するまちを目指します。

【成果指標】

①鶴沼が子どもにとって良い環境であると感じている人の割合

【現状値】 ①42%

【めざそう値】 3年後：①50% 6年後：①55%

【役割の担い手】 ①A:18% B:14% C:17% D:14% E:18% F:19% G:0%

《地域まちづくり活動》

《活動-2》 オール鶴沼で子どもを育てる

<成果の視点> 子どもたちが地域で大切にされていること

藤沢づくりのめざす方向性 3 市民力・地域力による安全で安心して暮らせるまち

コミュニティを維持・発展させ、市民が一生安心して暮らせる保健・医療（介護）・福祉・健康などの生活環境と、犯罪や災害への不安解消などによる、安全で安心できる地域社会を創り上げることをめざします。また、病気の予防やスポーツなどを通じた身体的な健康のみならず、心も健やかであるために、生き生きと安心して暮らせる私たちの健康づくりをめざします。

<②強みや魅力の維持・向上を>

ふじさわ未来課題

17 保健、医療、福祉、健康などの生活環境が整い暮らしやすいこと

【地域まちづくり目標】

03 高齢者が生き生きとすごせるまち

【目標の背景・方向性】

高齢化が進む鵜沼では、高齢者が地域で見守られ、健康で生き生きと生活ができ、安心して暮らせるまちを目指します。

【成果指標】

①鵜沼の地で一生すごしたいと感じる人の割合

【現状値】 ①68%

【めざそう値】 3年後：①80% 6年後：①85%

【役割の担い手】 ①A:18% B:14% C:18% D:15% E:16% F:18% G:1%

《地域まちづくり活動》

《活動-3》 高齢者を取り巻く環境の向上

<成果の視点> 高齢者が地域で大切にされていること

ふじさわ未来課題

18 災害に対して、市民が不安なく暮らせるまちであること

【地域まちづくり目標】

04 市民力、地域力で災害に強いまち

【目標の背景・方向性】

鵜沼地区は、東西を川に挟まれ、南に海岸を有することから、地震の際には、特に津波などの被害が想定されます。防災活動の積極的な啓発により、防災組織の充実を図るなど、災害に強いまちを目指します。

【成果指標】

①自主防災組織の結成率

【現状値】①83%

【めざそう値】3年後：①90% 6年後：①95%

【役割の担い手】①A:17% B:13% C:20% D:13% E:15% F:18% G:4%

《地域まちづくり活動》

《活動－4》 防災活動の充実

<成果の視点> 防災活動に参加している人が多いこと

ふじさわ未来課題

19 治安の良い環境であること

【地域まちづくり目標】

05 市民力、地域力で犯罪ゼロのまち

【目標の背景・方向性】

鵜沼地区は、自転車盗などをはじめ、犯罪発生率の高い地区です。地域の力で、小さな犯罪も見逃さず未然に防ぐことが重要です。防犯意識を高め、犯罪ゼロの安全安心なまちを目指します。

【成果指標】

①犯罪件数

【現状値】①1,953件

【めざそう値】3年後：①1,500件 6年後：①1,500件

【役割の担い手】①A:17% B:16% C:17% D:12% E:14% F:17% G:7%

《地域まちづくり活動》

《活動－5》 防犯活動の充実

<成果の視点> 防犯活動に参加している人が多いこと

【地域まちづくり目標】

06 交通事故のない安全安心のまち

【目標の背景・方向性】

鵜沼地区は、交通量の多い藤沢駅南口をはじめ、縦に国道467号線、海岸線に国道134号線を抱え、交通事故の危険性の高い地域です。一人一人が、交通安全に対する高い意識を持つことにより、交通事故のない安全安心のまちを目指します。

【成果指標】

①交通事故の件数

【現状値】①297件

【めざそう値】3年後：①221件 6年後：①175件

【役割の担い手】①A:19% B:13% C:16% D:13% E:16% F:19% G:4%

《地域まちづくり活動》

《活動－6》 交通安全対策の充実

<成果の視点> ヒヤリ・ハットを感じない住民が多いこと

藤沢づくりのめざす方向性 4 共に生き、共に創る地域社会の創出

すべての市民が、差別や偏見を持つことなく、互いを認め合い、共に生き、働き、学ぶことができる豊かな生活環境を実現するため、それぞれの人権を尊重し、男女が共同で参画し、高齢者、若者なども積極的に参画できる、多文化が共生する穏やかな地域の社会環境を創り出すことをめざします。

<①協働型の課題解決で価値向上へ>

ふじさわ未来課題

31 社会的弱者の方が快適に過ごせるまちであること

【地域まちづくり目標】

07 地域住民の間で交流が盛んで、支え合うまち

【目標の背景・方向性】

鵜沼地区には、いろいろな方が生活しています。さまざまな地域住民が、活発に交流を行い、支え合い、誰もが快適に過ごせるまちを目指します。

【成果指標】

①住民同士の交流が盛んであると感じている人の割合

【現状値】 ①21%

【めざそう値】 3年後：①37.5% 6年後：①50%

【役割の担い手】 ①A:23% B:16% C:20% D:8% E:18% F:15% G:0%

《地域まちづくり活動》

《活動ー7》 地区内交流活動の充実

<成果の視点> 地区内で交流活動をしている人が多くいること

藤沢づくりのめざす方向性 5 豊かな地域資源の次世代への継承・発展

藤沢の自然環境、景観、歴史・文化資産など、先人から引き継いできた地域固有の資源をさらに発展させ、次世代に継承することによって都市としてのアイデンティティを高め、地域資源を活かしたまちをつくることをめざします。

<②強みや魅力の維持・向上を>

ふじさわ未来課題

39 身近にある緑が適切に保全されていること

【地域まちづくり目標】

08 景観が守られ、緑が保全されているまち

【目標の背景・方向性】

鵜沼の緑と景観は、次世代に継承すべき大切な地域資源*1です。地域住民と関係機関の創意と工夫により、景観が守られ、緑が良好に保全されているまちを目指します。

【成果指標】

①緑が豊かと感じる人の割合

【現状値】 ①55%

【めざそう値】 3年後：①60% 6年後：①70%

【役割の担い手】 ①A:16% B:15% C:19% D:15% E:13% F:21% G:1%

《地域まちづくり活動》

《活動－8》 景観と緑の保全の推進

<成果の視点> 鵜沼の緑と景観が守られていること

*1 地域資源：藤沢市内や各地域に存在する、自然環境や景観、文化や伝統、歴史、建造物、お祭り、団体や人的資源、大学や産業などを広い範囲で地域資源と呼んでいます。

藤沢づくりのめざす方向性 6 地球温暖化防止など未来の地球環境への投資

地球温暖化などの環境問題やエネルギー・食糧などの資源にかかわる課題について、地球規模の視点に立って地域で取り組み、持続可能なまちと低炭素社会をつくりあげることがめざします。また、地域の大学力や企業力を活かして、産学官による協働と連携によって、最先端の環境技術を生み出す産業構造や環境に優しい都市システムを創り出すことをめざします。

<②強みや魅力の維持・向上を>

ふじさわ未来課題

46 生活の便利さと環境保全の両方が実現していること

【地域まちづくり目標】

09 豊かな自然（海、川、緑）の中で憩えるまち

【目標の背景・方向性】

豊かな自然を守るため、地球規模での課題である地球温暖化対策に取り組むとともに、すべての人にとっての憩いの場所であり、鶴沼の地域資源であるきれいな海、きれいな川、そして緑が良好に保全されているまちを目指します。

【成果指標】

①環境保全活動に参加している人の割合

【現状値】 ①71%

【めざそう値】 3年後：①80% 6年後：①88%

【役割の担い手】 ①A:20% B:15% C:18% D:15% E:15% F:16% G:1%

《地域まちづくり活動》

《活動－9》 環境保全活動の充実

<成果の視点> 憩える場所が多くあること

藤沢づくりのめざす方向性 7 「藤沢づくり」を支える都市構造の再構築と地域経済の活力再生

産業や生活の基盤を支える都市機能を強化していくために、新たな拠点地区の整備や連携する道路、鉄道等の公共交通、海上交通のネットワーク化など、土地利用の方向性も含んだ「新たな都市構造の再構築」をめざします。また、産業の活力を高め、雇用の機会を増やし地産地消の推進を図るため、市民、地域の持つ資源を活かしつつ、商業、工業、観光、農水産業など、市民力、地域力、大学力、企業力などの連携によって地域経済の活力再生をめざします。

<②強みや魅力の維持・向上を>

ふじさわ未来課題

59 安全で安心な食べ物が身近で得られること

【地域まちづくり目標】

10 魅力あふれる元気な商店街が多いまち

【目標の背景・方向性】

鵜沼地区の9商店街の賑わいは、鵜沼地区の活性化につながります。商店街や地域市民が連携して、魅力あふれる元気な商店街が多いまちを目指します。

【成果指標】

①鵜沼の商店街が、魅力があると感じた人の割合

【現状値】 ①17%

【めざそう値】 3年後：①20% 6年後：①25%

【役割の担い手】 ①A:10% B:13% C:15% D:24% E:7% F:20% G:11%

《地域まちづくり活動》

《活動-10》 商店街活性化の推進

<成果の視点> 地域の商店街で消費がされていること

【地域まちづくり目標】

11 地産品があふれる元気な観光のまち

【目標の背景・方向性】

鵜沼海岸は、県下有数のビーチスポーツのメッカで、海水浴シーズンには、多くの観光客が訪れます。この地域資源を活かし、地産地消の推進と連携して、年間を通しての誘客に努め、元気な観光のまちを目指します。

【成果指標】

①年間観光客数

【現状値】 ①1,380 万人

【めざそう値】 3年後：①1,400 万人 6年後：①1,500 万人

【役割の担い手】 ①A:11% B:16% C:15% D:22% E:10% F:18% G:8%

《地域まちづくり活動》

《活動－11》 地産地消・観光の推進

<成果の視点> 観光客が多くなっていること

藤沢づくりのめざす方向性 8 公共資産の維持管理と有効活用

公有地などの公共的な保有資産の積極的な活用とともに、公共施設の集約・移転等により生じる跡地、施設の有効活用、地域ニーズに合った資産を活用します。そのためには、公共施設・都市基盤施設の老朽化の時期を見据えて、既存施設の保全、再構築、機能更新など、社会資本の有効活用と長寿命化をめざします。

<②強みや魅力の維持・向上を>

ふじさわ未来課題

67 移動や利用にあたり、誰でも利用できる道路や施設であること

【地域まちづくり目標】

12 すべての人が安心して移動、利用できるまち

【目標の背景・方向性】

鵜沼地区の都市基盤整備の推進に向けて、関係機関、地域、市民が連携し、安心して移動、利用できるまちの実現を目指します。

【成果指標】

①公共施設が使いやすいと感じた人の割合

【現状値】 ①28%

【めざそう値】 3年後：①31% 6年後：①42.5%

【役割の担い手】 ①A:17% B:13% C:20% D:12% E:8% F:17% G:13%

《地域まちづくり活動》

《活動-12》 住民と協働したまちづくりの推進

<成果の視点> 公共施設が住民の声を聞いて改善されていること

藤沢づくりのめざす方向性 9 「藤沢ライフスタイル」と「湘南カルチャー」の創出

湘南の環境と文化、ブランド力などの地域の特性を活かした、魅力的な生活（「藤沢ライフスタイル」）や創造的な湘南の文化（「湘南カルチャー」）の創出をめざし、その魅力と価値を発信します。そして、市民一人ひとりが豊かな心を育み、地域と世界をつなぐ国際交流などを通じて人材を育て、文化にふれあう交流発信のまちをつくりあげingことをめざします。

<①協働型の課題解決で価値向上へ>

ふじさわ未来課題

73 活気があり、開放的で温かいまちであること

【地域まちづくり目標】

13 鵠沼ライフスタイルと鵠沼カルチャーを発信するまち

【目標の背景・方向性】

鵠沼の歴史と文化、魅力を市民団体等と連携して広く発信するまちを目指します。

【成果指標】

①鵠沼の文化と魅力が広く知られていると感じている人の割合

②鵠沼の歴史と魅力が広く知られていると感じている人の割合

【現状値】 ①14% ②16%

【めざそう値】 3年後：①20% ②25% 6年後：①27.5% ②35%

【役割の担い手】 ①A:13% B:15% C:17% D:11% E:13% F:19% G:12%

②A:16% B:17% C:16% D:12% E:13% F:19% G:7%

《地域まちづくり活動》

《活動-13》 鵠沼情報発信の促進

<成果の視点> 鵠沼ライフスタイルと鵠沼カルチャーが愛されていること

新総合計画基本計画

辻堂地区 地域まちづくり計画

地域まちづくりのテーマ

歴史と緑と潮風のかおる、健やかなまち“湘南辻堂”

都市ビジョン1 市民の力が育てる生活充実都市

藤沢づくりのめざす方向性 1 地域自律型の「藤沢づくり」を育むまち

地域の歴史・文化や地域資源を活かして、地域に住み、働き、学ぶ人たちが協働して、地域から生み出す付加価値を享受するために、各地区ごとに個性のある地域経営を進めるとともに、行政は財政改革と行政改革を進めるとともに、新たな行政システムを構築し、市民、地域と協働して市民主体、地域自律型の「藤沢づくり」をめざします。

<②強みや魅力の維持・向上を>

ふじさわ未来課題

7 お互いがマナーを守り、助け合いの心で過ごせるまちであること

【地域まちづくり目標】

01 みんなが思いやりを持ち、お互いに尊重しあい安全・安心に暮らせるまち

【目標の背景・方向性】

地区内は平坦地が多いため、自転車は日常生活の移動手段としての利用頻度が高く、子どもを乗せた自転車、サーフボードをつけた自転車も見られ、地区内の移動に自転車は欠かせません。また、戸建住宅地の多い地区であり、長久保公園や辻堂海浜公園など公園も多いことから、ペットの散歩をする姿が多く見受けられます。

気づき調査においては、多くの方が自転車・ペット・ゴミなどについての生活マナーの問題点を挙げています。

地域住民と来訪者（観光客）とが、生活マナーを守ることによって相互に尊重しあうまちづくりを目指します。

【成果指標】

①生活マナーがよくなったと感じる人の割合

②思いやりや助けあいがあると感じる人の割合

【現状値】 ①29% ②26%

【めざそう値】 3年後：①35% ②35% 6年後：①45.5% ②45%

【役割の担い手】 ①A:22% B:15% C:21% D:10% E:14% F:17% G:1%

②A:23% B:14% C:21% D:9% E:18% F:14% G:1%

《地域まちづくり活動》

《活動-1》 生活マナー啓発活動の推進

<成果の視点> 生活マナーが向上し、暮らしやすさを感じられること。

《活動-2》 小さな思いやりなどの親切活動の推進

<成果の視点> みんなが親切な心を感じられること。

藤沢づくりのめざす方向性 2 明日の藤沢を担う「藤沢の子どもたち」を育む環境

明日の藤沢を担う「藤沢の子どもたち」を育てていくため、安心して子どもを産み、育てられる生活環境や多様な教育ニーズへの対応、家庭・地域・学校の教育連携など、教育環境を持続・発展させることをめざします。

<②強みや魅力の維持・向上を>

ふじさわ未来課題

13 地域が子どもを見守り育てる環境であること

【地域まちづくり目標】

02 子どもが生き活きと育つまち

【目標の背景・方向性】

子どもたちは、外で元気に遊ぶことでさまざまなことを身につけ、成長していきます。

学校や公園などで遊ぶ時には、時間が限られていたり、禁止されている遊びがあったりというように制約があります。ただ、外で遊ぶ際には、交通安全やけが、犯罪に巻き込まれるおそれなどがあり、気づき調査などでは、子どもが安心して遊べる場所を求める意見が多くあるように、子どもたちが地域の中で、元気で安全・安心に遊べることが望まれています。

地域ぐるみで子どもを見守り、安心して外で遊べる環境づくりを目指します。

【成果指標】

- ①子どもが地域に見守られていると感じる人の割合
- ②地域の子どもの生き活きと育っていると感じる人の割合

【現状値】 ①29% ②44%

【めざそう値】 3年後：①38.5% ②50% 6年後：①47% ②57%

【役割の担い手】 ①A:18% B:14% C:18% D:12% E:18% F:19% G:1%
②A:21% B:13% C:18% D:9% E:19% F:20% G:0%

《地域まちづくり活動》

《活動－3》 子ども見守り活動の推進

<成果の視点> 地域の子供達が安心して遊んでいられること。

《活動－4》 青少年育成活動の推進

<成果の視点> 青少年がのびのびと育っていること。

藤沢づくりのめざす方向性 3 市民力・地域力による安全で安心して暮らせるまち

コミュニティを維持・発展させ、市民が一生安心して暮らせる保健・医療（介護）・福祉・健康などの生活環境と、犯罪や災害への不安解消などによる、安全で安心できる地域社会を創り上げることをめざします。また、病気の予防やスポーツなどを通じた身体的な健康のみならず、心も健やかであるために、生き生きと安心して暮らせる私たちの健康づくりをめざします。

<①協働型の課題解決で価値向上へ>

ふじさわ未来課題

23 福祉が充実し、子どもから高齢者まで守られていること

【地域まちづくり目標】

03 人・まちのバリアフリーと福祉が充実しているまち

【目標の背景・方向性】

地区内には特別養護老人ホームなど介護サービスの拠点となる施設がなく、各種の福祉施設や医療施設の充実や高齢者のサポート体制（食事の宅配等）の充実等が望まれています。

公共施設等において段差などの危険を取り除き、課題67の道路の改善と合わせ、安心して出かけられるよう、まちのバリアフリー化を進めます。さらに、ハード面のバリアフリーのみならず、子どもから高齢者まで全ての人にやさしい心のバリアフリーを実現する取り組みを目指します。

【成果指標】

①福祉が充実し、子どもからお年寄りまで守られていると感じる人の割合

【現状値】 ①21%

【めざそう値】 3年後：①30% 6年後：①40%

【役割の担い手】 ①A:16% B:18% C:19% D:11% E:15% F:20% G:1%

《地域まちづくり活動》

《活動-5》 バリアフリー改善活動の推進

<成果の視点> 地域の中をストレスを感じなく移動できること。

<②強みや魅力の維持・向上を>

ふじさわ未来課題

17 保健、医療、福祉、健康などの生活環境が整い暮らしやすいこと

【地域まちづくり目標】

04 保健、医療、福祉が連携しあい、健康が維持されるまち

【目標の背景・方向性】

住み慣れた地域で健康に生き生きと暮らしていくことは多くの人が日常的に望んでいることです。

その実現のためには、保健、医療、福祉などの生活環境が整い、健康を維持し、地域での生活を続けていくための取り組みが必要です。

気づき調査の結果を見ると、スポーツや健康維持の取り組みが望まれています。

地域ぐるみで健康維持に取り組み、地域で健康な生活を続けていくための支援に取り組めます。

【成果指標】

①健康づくりを支える環境が充実していると感じる人の割合

【現状値】 ①36%

【めざそう値】 3年後：①40% 6年後：①50%

【役割の担い手】 ①A:20% B:14% C:14% D:12% E:14% F:20% G:6%

《地域まちづくり活動》

《活動－6》 身体を動かす習慣を普及させる活動の推進

<成果の視点> みんなが身体を動かす習慣を実践していること。

藤沢づくりのめざす方向性 4 共に生き、共に創る地域社会の創出

すべての市民が、差別や偏見を持つことなく、互いを認め合い、共に生き、働き、学ぶことができる豊かな生活環境を実現するため、それぞれの人権を尊重し、男女が共同で参画し、高齢者、若者なども積極的に参画できる、多文化が共生する穏やかな地域の社会環境を創り出すことをめざします。

<①協働型の課題解決で価値向上へ>

ふじさわ未来課題

26 子育て世代を支える環境が充実していること

【地域まちづくり目標】

05 安心して子育てできるまち

【目標の背景・方向性】

辻堂地区は藤沢市全体と比較して14歳以下の比率が高く、今後も宅地分譲等によって子育て世帯の増加が続くと予想され、子育てを支える環境の必要性がより高いと言えます。

気づき調査の結果を見ると、保育施設や子どもの遊び場を望む声の他に、パトロールや子どもを大事にするまちづくりなど、地域に支えられて子どもが育っていくことを望んでいることがうかがえます。

子育てを保護者だけが担うのではなく、地域で支えられて子育てができる環境づくりを目指します。

【成果指標】

①子育てがしやすいと感じる人の割合

【現状値】 ①45%

【めざそう値】 3年後：①60% 6年後：①75%

【役割の担い手】 ①A:19% B:14% C:15% D:11% E:21% F:20% G:0%

《地域まちづくり活動》

《活動-7》 子育て支援活動の推進

<成果の視点> 地域に支えられて子育てができる環境があること。

藤沢づくりのめざす方向性 5 豊かな地域資源の次世代への継承・発展

藤沢の自然環境、景観、歴史・文化資産など、先人から引き継いできた地域固有の資源をさらに発展させ、次世代に継承することによって都市としてのアイデンティティを高め、地域資源を活かしたまちをつくることをめざします。

<①協働型の課題解決で価値向上へ>

ふじさわ未来課題

45 地域の未来の担い手が育成されていること

【地域まちづくり目標】

06 地域ブランド情報を発信するまち

【目標の背景・方向性】

気づき調査では地産地消・地域ブランドの確立を求める意見が挙げられていました。地域離れの改善策として、地域に対する興味を持ってもらうきっかけとして、これらは非常に効果があるものです。地域の誇りとなる地域ブランドは、地域への愛着を生み、地域の活動を活発にすることにつながるものです。

また、辻堂地区は湘南海岸や辻堂海浜公園でのイベントなど、外に向かってアピールできるものがありますが、地域ブランドも同じようにアピールできるものとなる可能性を持つものです。

地域ブランドの発信による地域への愛着の醸成と外部へのアピールを目指します。

【成果指標】

①地域の良いところが、広く発信されていると感じる人の割合

【現状値】 ①8%

【めざそう値】 3年後：①20% 6年後：①40%

【役割の担い手】 ①A:12% B:17% C:18% D:17% E:14% F:19% G:3%

《地域まちづくり活動》

《活動－8》 地域ブランドの情報発信活動の推進

<成果の視点> 地域ブランドの発信による地域への愛着の醸成されていること。

<②強みや魅力の維持・向上を>

ふじさわ未来課題

35 まちと自然環境の調和がとれていること

【地域まちづくり目標】

07 みどりあふれる自然環境を保全するまち

【目標の背景・方向性】

地区内には、引地川緑地や長久保公園等のまとまったみどりのほか、みどりの広場、保存樹林や一般の屋敷林など、市の木であるクロマツ（黒松）をはじめとした住宅地の中に点在するみどりも各所に残されています。また、きれいな海や川沿いの緑道も広がり、まちもこれらの自然環境と調和したものとなっています。

これらの自然環境は、日常生活に潤いをもたらすものです。このような貴重な自然環境を維持し、後世に残していくため、これからも、みどりあふれる自然環境の保全に努めます。

【成果指標】

①地域のまちなみと自然環境の調和が取れていると感じる人の割合

【現状値】 ①38%

【めざそう値】 3年後：①45% 6年後：①50%

【役割の担い手】 ①A:16% B:15% C:17% D:17% E:14% F:20% G:1%

《地域まちづくり活動》

《活動－9》 みどりの保全に関する活動の推進

<成果の視点> みどりあふれる自然環境が保全されていること。

藤沢づくりのめざす方向性 6 地球温暖化防止など未来の地球環境への投資

地球温暖化などの環境問題やエネルギー・食糧などの資源にかかわる課題について、地球規模の視点に立って地域で取り組み、持続可能なまちと低炭素社会をつくりあげることがめざします。また、地域の大学力や企業力を活かして、産学官による協働と連携によって、最先端の環境技術を生み出す産業構造や環境に優しい都市システムを創り出すことをめざします。

<①協働型の課題解決で価値向上へ>

ふじさわ未来課題

49 人々の環境への意識が高く、快適なまちであること

【地域まちづくり目標】

08 美しい自然とまちなみを守り、育てるまち

【目標の背景・方向性】

辻堂地区は、海、川があり、みどりが多く残る良好な魅力あふれる地域です。気付き調査でも、海岸をきれいにすること、街路や植え込みの雑草やポイ捨てマナーについての指摘があり、自然環境と調和した良好な住環境を望む意識が高いことが窺えます。きれいで快適なまちであるためには、行政による公共施設の維持管理だけでなく、市民による自主的な環境美化活動の推進が必要です。

現在の良好な住環境が引き続き維持されるよう、行政、住民が一丸となった取り組みを進めます。

【成果指標】

- ①地域で、自然が守られていると感じる人の割合
- ②地域住民の環境への意識が高いと感じる人の割合

【現状値】 ①32% ②31%

【めざそう値】 3年後：①40% ②40% 6年後：①50% ②50%

【役割の担い手】 ①A:15% B:19% C:16% D:15% E:15% F:20% G:0% ②A:18% B:18% C:20% D:14% E:15% F:15% G:0%

《地域まちづくり活動》

《活動-10》 環境美化のための運動の推進

<成果の視点> いつまでも美しい環境が残されていること。

《活動-11》 風致地区の住環境を守る活動の推進

<成果の視点> 風致地区の住環境や景観が維持されていること。

【地域まちづくり目標】

09 エコ活動に積極的に取り組むまち

【目標の背景・方向性】

地球温暖化が進む中で、世界的に CO2 の排出量の削減が求められています。世界規模、国家規模での大きな取り組みも重要ですが、地域やそこで生活する一人ひとりから環境に配慮した取り組みを積み重ねていくことも同じように重要なことです。

エコ活動として、一人ひとりの生活の中でできること、施設や設備などについて簡単にできることなど、身近なところからエコ活動に取り組んでいきます。

また、地区内では、工場跡地をエコタウンとしたまちづくりを進めていく構想もあり、地域が一体となってエコ活動を進めます。

【成果指標】

①ごみの分別や節電など、環境を意識した行動を心掛けている人の割合

【現状値】 ①94%

【めざそう値】 3年後：①95% 6年後：①97%

【役割の担い手】 ①A:19% B:15% C:19% D:13% E:16% F:18% G:0%

《地域まちづくり活動》

《活動－12》 エコ活動の推進

<成果の視点> 身近なところからエコ活動に取り組んでいること。

藤沢づくりのめざす方向性 7 「藤沢づくり」を支える都市構造の再構築と地域経済の活力再生

産業や生活の基盤を支える都市機能を強化していくために、新たな拠点地区の整備や連携する道路、鉄道等の公共交通、海上交通のネットワーク化など、土地利用の方向性も含んだ「新たな都市構造の再構築」をめざします。また、産業の活力を高め、雇用の機会を増やし地産地消の推進を図るため、市民、地域の持つ資源を活かしつつ、商業、工業、観光、農水産業など、市民力、地域力、大学力、企業力などの連携によって地域経済の活力再生をめざします。

<①協働型の課題解決で価値向上へ>

ふじさわ未来課題

64 商店街と大型店舗が共存共栄し、活気あるまちになること

【地域まちづくり目標】

10 暮らしやすさを支える商店のあるまち

【目標の背景・方向性】

辻堂駅北口の湘南C-Xでは大型商業施設の出店が進められています。一方で辻堂地区内には、駅前や辻堂東海岸などに住民の生活に密着した身近な商店街があります。大型商業施設との共存共栄を図るためには、今ある地元の商店街により多くの人々が集まり、より魅力的なものになるよう、さらに、日常生活を支えるものになるようにしていく必要があります。

商店街を利用するきっかけを増やし、日々の暮らしが商店街に支えられるような地域づくりを目指します。

【成果指標】

①地域の商店街と大型店舗が共存共栄していると感じる人の割合

②商店街を利用したいと思う人の割合

【現状値】 ①6% ②12%

【めざそう値】 3年後：①15% ②20% 6年後：①30% ②27.5%

【役割の担い手】 ①A:17% B:9% C:8% D:22% E:7% F:21% G:16%

②A:22% B:12% C:11% D:23% E:9% F:23% G:0%

《地域まちづくり活動》

《活動-13》 商店街活性化イベントの充実

<成果の視点> 活気ある商店街があること。

《活動-14》 商店街の情報発信活動の推進

<成果の視点> 商店街のさまざまな情報が容易に入手できること。

藤沢づくりのめざす方向性 8 公共資産の維持管理と有効活用

公有地などの公共的な保有資産の積極的な活用とともに、公共施設の集約・移転等により生じる跡地、施設の有効活用、地域ニーズに合った資産を活用します。そのためには、公共施設・都市基盤施設の老朽化の時期を見据えて、既存施設の保全、再構築、機能更新など、社会資本の有効活用と長寿命化をめざします。

<①協働型の課題解決で価値向上へ>

ふじさわ未来課題

71 多様な連携を通じて、市民が望むサービスが提供されていること

【地域まちづくり目標】

11 公共施設とサービスが充実しているまち

【目標の背景・方向性】

地域活動を進めるためには、活動の拠点が必要です。しかし、地区の現状は、公共施設の老朽化や地域で提供する市民サービスの増加によるスペースの狭隘化、バリアフリーも充分でない施設もあり、駐車スペースも充分ではありません。市民サービスの満足度を高めるためには、地域拠点施設の充実が必要不可欠ですが、「公共施設マネジメント白書」によると公共施設の建て替えには膨大な資金が必要となり、極めて困難な状況です。

市民サービスの満足度を高めることを目指し、建て替えに限らない様々な手法や他の複数の施設の再編等、公共施設の機能を充実させるための検討を進めます。

【成果指標】

①公共の施設やサービスが充実していると感じる人の割合

②様々な人が地域づくりに関わっていると感じる人の割合

【現状値】 ①28% ②22%

【めざそう値】 3年後：①33% ②25% 6年後：①38% ②30%

【役割の担い手】 ①A:15% B:15% C:15% D:20% E:10% F:25% G:0%

②A:20% B:14% C:20% D:14% E:10% F:22% G:0%

《地域まちづくり活動》

《活動-15》 地域拠点施設建替に伴う再編プランの提言

<成果の視点> 地域住民の意見が十分にプラン策定に活かされていること。

<②強みや魅力の維持・向上を>

ふじさわ未来課題

67 移動や利用にあたり、誰でも利用できる道路や施設であること

【地域まちづくり目標】

12 人・自転車に優しい道路のあるまち

【目標の背景・方向性】

地区内の大半が平坦地であることから、自転車の利用頻度が高く、特に、辻堂駅前には民間も含めて駐輪場が多いことから、通勤通学にも自転車が多く利用されています。地区内の道路は段差や凹凸などのある場所も多く、また、歩道が十分に整備されていない幹線道路もあります。バリアフリーの観点も大切にしながら、歩行者・自転車だけではなくすべての人が安心して通行できる道路の実現を目指します。

さらに、本地区は古い歴史やみどり豊かな環境を有しており、それらの情報発信を進めます。

【成果指標】

①道路が誰にでも利用しやすい道路であると感じる人の割合

【現状値】 ①22%

【めざそう値】 3年後：①25% 6年後：①32%

【役割の担い手】 ①A:18% B:15% C:19% D:17% E:9% F:22% G:0%

《地域まちづくり活動》

《活動－16》 道路の問題箇所解消の推進

<成果の視点> 道路が原因となる問題が適切に改善されていること。

《活動－17》 辻堂の歴史文化についての情報発信の推進

<成果の視点> 歴史や文化などについての情報が容易に得られること。

藤沢づくりのめざす方向性 9 「藤沢ライフスタイル」と「湘南カルチャー」の創出

湘南の環境と文化，ブランド力などの地域の特性を活かした，魅力的な生活（「藤沢ライフスタイル」）や創造的な湘南の文化（「湘南カルチャー」）の創出をめざし，その魅力と価値を発信します。そして，市民一人ひとりが豊かな心を育み，地域と世界をつなぐ国際交流などを通じて人材を育て，文化にふれあう交流発信のまちをつくりあげることがめざします。

<①協働型の課題解決で価値向上へ>

ふじさわ未来課題

79 市民の意識が高く、市民参加型の地域づくりが進んでいること

【地域まちづくり目標】

13 伝統文化を保存・継承するまち

【目標の背景・方向性】

辻堂地区は歴史あるまちであり、地域のお祭りが数多く開催され、また、お囃子、だんご焼きなど古くから継承されてきた伝統文化もあります。それらは、地域住民によって大切にされ、地域がまとまるきっかけともなってきました。

また、地域には、市民自らが歴史的な民具などを保存展示している資料館もあります。

有形無形のそれらの伝統文化を保存し、さらに充実させ、次世代へと継承していきます。

【成果指標】

①地域の文化が継承されていると感じる人の割合

【現状値】 ①21%

【めざそう値】 3年後：①27.5% 6年後：①34%

【役割の担い手】 ①A:16% B:16% C:22% D:12% E:15% F:19% G:0%

《地域まちづくり活動》

《活動-18》 伝統文化の情報発信と伝承活動の推進

<成果の視点> 伝統文化が確実に次世代へと引き継げていること。

新総合計画基本計画

村岡地区 地域まちづくり計画

地域まちづくりのテーマ

ふれ愛 ささえ愛 絆ではぐくむ “輝^きら^り里” むらおか

都市ビジョン1 市民の力が育てる生活充実都市

藤沢づくりのめざす方向性 1 地域自律型の「藤沢づくり」を育むまち

地域の歴史・文化や地域資源を活かして、地域に住み、働き、学ぶ人たちが協働して、地域から生み出す付加価値を享受するために、各地区ごとに個性のある地域経営を進めるとともに、行政は財政改革と行政改革を進めるとともに、新たな行政システムを構築し、市民、地域と協働して市民主体、地域自律型の「藤沢づくり」をめざします。

<②強みや魅力の維持・向上を>

ふじさわ未来課題

7 お互いがマナーを守り、助け合いの心で過ごせるまちであること

【地域まちづくり目標】

01 明るく、清潔で、思いやりのあるまち

【目標の背景・方向性】

人が生活していく上ではいくつものルールやマナー、エチケットが存在します。安全・安心、快適な住みよいまちを創造するためには、村岡にかかわる地域住民や企業などが共に住みよい地域社会を作っていくという自覚を持つことが大切です。そのことによって自分の住むまちに誇りと郷土愛が生まれてきます。助け合いの心と協力意識を持ち、マナーやモラルの低下による迷惑行為を許さないという認識のもと、住民一人ひとりが迷惑行為について自覚し、責任ある行動をとることにより、迷惑行為のない快適で良好な生活環境の実現をめざします。

【成果指標】

①地域でマナーが守られていると感じている割合

【現状値】 ①24%

【めざそう値】 3年後：①35% 6年後：①50%

【役割の担い手】 ①A:21% B:15% C:23% D:12% E:15% F:14% G:0%

《地域まちづくり活動》

《活動-1》 マナー向上のための活動の推進

<成果の視点> マナー向上のための周知活動が行われていること

《活動-2》 地域活動への参加、協力意識の向上

<成果の視点> 自治会・町内会への加入世帯率が高い地域であること

藤沢づくりのめざす方向性 2 明日の藤沢を担う「藤沢の子どもたち」を育む環境

明日の藤沢を担う「藤沢の子どもたち」を育てていくため、安心して子どもを産み、育てられる生活環境や多様な教育ニーズへの対応、家庭・地域・学校の教育連携など、教育環境を持続・発展させることをめざします。

<②強みや魅力の維持・向上を>

ふじさわ未来課題

14 学校・家庭・地域のつながりを育む活動が活発であること

【地域まちづくり目標】

02 地域力で、子どもを見守り・育むまち

【目標の背景・方向性】

少子化が進む中で、地域では学校、家庭、ボランティア、地域団体、企業、行政が連携し活動することが必要です。「むらおか・子ども相互支援会議」（三者連携）は2中学校、5小学校の学校関係者と保護者、地域団体などが中心となり、独自の事業や公民館との共催事業などを展開し活発に活動しています。また区内各小学校校門の前では、登校する児童に声かけをする「おはようボランティア」活動が活発です。村岡中学校においても声かけの取り組みが始まっています。今後も学校・家庭・地域が一体となり、次世代を担う子どもが健やかに成長できるよう安全で安心できる環境づくりを進めます。

【成果指標】

①地域の子どもたちがのびのびと育っていると思う住民の割合

②子ども達の健全育成のために取り組む事業数

【現状値】 ①33% ②42件

【めざそう値】 3年後：①40% ②48件 6年後：①47.5% ②58件

【役割の担い手】 ①A:20% B:14% C:16% D:11% E:22% F:16% G:1%

②A:17% B:17% C:14% D:10% E:18% F:23% G:1%

《地域まちづくり活動》

《活動-3》 子ども達の健全育成のための環境整備

<成果の視点> 青少年の健全な育成を支援する環境があること

藤沢づくりのめざす方向性 3 市民力・地域力による安全で安心して暮らせるまち

コミュニティを維持・発展させ、市民が一生安心して暮らせる保健・医療（介護）・福祉・健康などの生活環境と、犯罪や災害への不安解消などによる、安全で安心できる地域社会を創り上げることをめざします。また、病気の予防やスポーツなどを通じた身体的な健康のみならず、心も健やかであるために、生き生きと安心して暮らせる私たちの健康づくりをめざします。

<①協働型の課題解決で価値向上へ>

ふじさわ未来課題

23 福祉が充実し、子どもから高齢者まで守られていること

【地域まちづくり目標】

03 福祉が地域で支えられ、安心して暮らせるまち

【目標の背景・方向性】

村岡の65才以上人口割合は2010年で19.1%、13地区で9番目ですが、2030年には28.5%、で高齢化率は7番目に進むことが予想されています。また、地区内の福祉団体や福祉施設が中心となり2004年に福祉関係者ネットワーク連絡会が組織され、相互の連携と福祉サービスの向上を目的に活動しています。この連絡会によって検討されてきた「ボランティアセンターぬくもり」が2010年5月に開所しました。こうした福祉の土壌を生かし、子どもから高齢者、障がいのある方まで地域の誰もが心豊かに安心して生活できるまちづくりを目指します。また保健医療・健康・スポーツなどの充実を図り、地域の「元気づくり」を推進します。

【成果指標】

- ①福祉が充実していると感じている住民の割合
- ②福祉ボランティアセンターぬくもりの登録者数

【現状値】 ①12% ②74人

【めざそう値】 3年後：①20% ②100人 6年後：①30% ②120人

【役割の担い手】 ①A:15% B:20% C:18% D:13% E:12% F:22% G:0%

②A:22% B:20% C:18% D:11% E:10% F:19% G:0%

《地域まちづくり活動》

《活動-4》 子どもから高齢者まで世代を超えた福祉環境の充実

<成果の視点> すべての人が心豊かで安心な生活ができるまちであること

【地域まちづくり目標】

04 安全が地域で支えられ、安心して暮らせるまち

【目標の背景・方向性】

地区くらし・まちづくり会議が取り組んだ「かけこみ110番」運動や、各種地域団体やボランティアによる防犯パトロールなどの防犯対策の効果により、村岡地区は刑法犯、窃盗犯とも市内で最も犯罪件数が少ない地域となりました。また、2009年には市内2カ所目となる民間交番、「村岡地区安全・安心ステーション」が地域の安全を見守る拠点として誕生しています。“地域の安全は地域住民が守る”を合い言葉に、こうした地域の強みをさらに伸ばすべく、行政、地域住民が一体となった「地域力」「行政力」を発揮し、地域に生活するすべての人が安全・安心に暮らせるまちづくりを進めます。

【成果指標】

- ①過去一年間に、地域で犯罪の危険を感じた住民の割合
- ②地域の防犯に対する取り組みが充実していると感じている住民の割合
- ③地区内の犯罪発生件数

【現状値】 ①26% ②30% ③168件

【めざそう値】 3年後：①20% ②35% ③150件 6年後：①18% ②40%
122.5件

【役割の担い手】 ①A:18% B:17% C:20% D:12% E:14% F:19% G:0%

②A:18% B:15% C:20% D:12% E:16% F:19% G:0%

③A:19% B:15% C:20% D:12% E:16% F:18% G:0%

《地域まちづくり活動》

《活動－5》 防犯対策の強化・充実

<成果の視点> 防犯意識の高まりによって、犯罪から守られる地域になること

<②強みや魅力の維持・向上を>

ふじさわ未来課題

18 災害に対して、市民が不安なく暮らせるまちであること

【地域まちづくり目標】

05 地域住民のつながりと備えで災害に強いまち

【目標の背景・方向性】

阪神淡路大震災の経験によれば、地域住民の自助、共助の必要性が明らかになっています。村岡地区の防災訓練は近隣自治会・町内会の連携によって5カ所の避難施設が同時に実施するという市内で唯一の形態です。また、各自治会・町内会でも要援護者対策や自主防災訓練への取り組みが始まっています。災害リスクは同じ地区内でも地理的条件や街並み、社会構造などによって起こりうる被害の実態が異なり、必要とされる対応も違ってきます。いつやってくるか分からない災害に備え、行政主導の防災対策にとどまらず、地域住民や民間事業者の自助・共助による「地域力」を発揮し、自然災害に対し地域で備えることにより、地域防災力を高めみんなで減災に取り組みます。

【成果指標】

- ①住民が自主防災に備える必要性を感じている住民の割合
- ②自主防災組織の活動数

【現状値】 ①18% ②3回

【めざそう値】 3年後：①27.5% ②4回 6年後：①36.5% ②5回

【役割の担い手】 ①A:20% B:14% C:21% D:13% E:14% F:18% G:0%

②A:19% B:14% C:21% D:14% E:14% F:18% G:0%

《地域まちづくり活動》

《活動－6》 安心できる防災体制の強化

<成果の視点> 地域の活動によって、地域防災力の強化・充実がなされること

藤沢づくりのめざす方向性 4 共に生き、共に創る地域社会の創出

すべての市民が、差別や偏見を持つことなく、互いを認め合い、共に生き、働き、学ぶことができる豊かな生活環境を実現するため、それぞれの人権を尊重し、男女が共同で参画し、高齢者、若者なども積極的に参画できる、多文化が共生する穏やかな地域の社会環境を創り出すことをめざします。

<①協働型の課題解決で価値向上へ>

ふじさわ未来課題

26 子育て世代を支える環境が充実していること

【地域まちづくり目標】

06 みんなでつくろう「子育て環境の充実したまち」

【目標の背景・方向性】

核家族化が進み、また地域のつながりの希薄化が言われている今日、「地域再生」のため地域での子育て環境の充実が必要となってきました。村岡公民館では地域のサークルやボランティア、NPOと協働し、地域で子育てを応援する「村岡発！子育て応援メッセ」を実施し、親子で400人もの参加を得ています。子育て中の親子が気軽につどえる「活動空間」、相互交流や子育ての不安や悩みを相談できる「場」づくりなど、「地域力」を発揮し、地域全体で子育て家庭を支援する環境づくりを推進します。

【成果指標】

①子育てに対して優しいまちと感じている住民の割合

【現状値】 ①19%

【めざそう値】 3年後：①30% 6年後：①50%

【役割の担い手】 ①A:16% B:18% C:17% D:9% E:21% F:19% G:0%

《地域まちづくり活動》

《活動-7》 子育て世代に優しい環境の充実

<成果の視点> 子育て家庭が安心して生活できる環境が充実していること

31 社会的弱者の方が快適に過ごせるまちであること

【地域まちづくり目標】

07 みんなで見守り、助けあうまち

【目標の背景・方向性】

子ども、障がいのある人、外国人、高齢者、小さな子供をかかえた母親（父親）などに配慮した地域づくりが必要です。必要とする知識や情報が得られ気軽に集える場の提供や、教育・就労などの支援機会の提供を通して自立できる環境づくりを地域で取り組むとともに、公共施設や歩道などのバリアフリー化を進め社会的弱者を地域全体で支えるしくみづくりを進めます。

【成果指標】

- ①社会的弱者の方に配慮した地域であると感じる人の割合
- ②要援護者への対応に取り組む自治会・町内会の数

【現状値】 ①15% ②1 組織

【めざそう値】 3年後：①30% ②3 組織 6年後：①50% ②7 組織

【役割の担い手】 ①A:18% B:18% C:19% D:9% E:15% F:21% G:0%

②A:18% B:17% C:23% D:9% E:10% F:23% G:0%

《地域まちづくり活動》

《活動－8》 みんなで支えあい、見守り活動の推進

<成果の視点> 要援護者への対応が地域で取り組まれていること

藤沢づくりのめざす方向性 5 豊かな地域資源の次世代への継承・発展

藤沢の自然環境、景観、歴史・文化資産など、先人から引き継いできた地域固有の資源をさらに発展させ、次世代に継承することによって都市としてのアイデンティティを高め、地域資源を活かしたまちをつくることをめざします。

<①協働型の課題解決で価値向上へ>

ふじさわ未来課題

45 地域の未来の担い手が育成されていること

【地域まちづくり目標】

08 地域で支える人材が育つまち

【目標の背景・方向性】

地域のコミュニティを持続していくためには地域を担う人材が大切にされていなければなりません。「まちづくりはひとづくり」と言われるようにまちづくりを支える根幹は「ひと」です。地域には昔から伝承され、継承しなければならない伝統芸能や、工芸技術、職業技術などがあります。村岡においても「祭り囃子」など伝統文化が継承されています。次代を担う青少年をそれぞれの分野で育成していくためには、地域のあたたかい人間関係の中で支援体制を構築し、地域社会への関心と郷土愛を高め、やがて地域づくりの核となる人材育成に繋げていくことが大切です。また、団塊世代のリタイアが始まり地域社会に帰ってきます。知識、経験、ネットワークを持った世代は地域づくりの大きな力となるはずで、「若い力」と「鍛え上げた力」が世代を超えて地域づくりのプロデューサーとして活躍できる場づくりも大切です。

【成果指標】

①次代を担う若者が育成されていると思う住民の割合

②世代を超えた交流事業の数

【現状値】 ①14% ②2回

【めざそう値】 3年後：①20% ②5回 6年後：①30% ②7回

【役割の担い手】 ①A:14% B:15% C:13% D:14% E:21% F:20% G:3%

②A:16% B:16% C:20% D:12% E:14% F:20% G:2%

《地域まちづくり活動》

《活動－9》 世代を超えた地域活動の継承と促進

<成果の視点> 地域づくりの未来の担い手を育成する仕組みづくりができていること

藤沢づくりのめざす方向性 6 地球温暖化防止など未来の地球環境への投資

地球温暖化などの環境問題やエネルギー・食糧などの資源にかかわる課題について、地球規模の視点に立って地域で取り組み、持続可能なまちと低炭素社会をつくりあげることがめざします。また、地域の大学力や企業力を活かして、産学官による協働と連携によって、最先端の環境技術を生み出す産業構造や環境に優しい都市システムを創り出すことをめざします。

<①協働型の課題解決で価値向上へ>

ふじさわ未来課題

49 人々の環境への意識が高く、快適なまちであること

【地域まちづくり目標】

09 緑豊かな環境を守り育てるまち

【目標の背景・方向性】

村岡地区には四季を通じて楽しめる新林公園や藤沢駅から歩いていける唯一の三大谷戸である川名清水谷戸、そして歴史ある二伝寺の竹林などその緑は地域住民に憩いや安らぎを提供してくれます。緑豊かな環境づくりのためには、公園や道路、河川、公共施設の緑の整備、そして住宅地内や工場・企業用地などの緑化推進に向け地域一丸となって取り組むことが大切です。地域住民の身近な緑への愛着と環境に対する意識の高揚を図り、緑のまちづくりを推進します。

【成果指標】

- ①緑豊かなまちだと感じる住民の割合
- ②地区内公園に対する公園愛護会の設置割合

【現状値】 ①42% ②58%

【めざそう値】 3年後：①50% ②70% 6年後：①60% ②85%

【役割の担い手】 ①A:16% B:18% C:16% D:15% E:14% F:21% G:0%
②A:16% B:18% C:20% D:12% E:14% F:20% G:0%

《地域まちづくり活動》

《活動-10》 緑や花いっぱい活動の推進

<成果の視点> 緑や花を育てることにより、暮らしやすい環境を守り育てること

【地域まちづくり目標】

10 環境美化に対して活発な運動が実践できるまち

【目標の背景・方向性】

私たちは、「大量生産・大量消費」社会の中で、便利で快適な生活を送ってきました。その一方で、廃棄物の大量廃棄による最終処分場のひっ迫や、不法投棄、地球温暖化など、深刻な環境問題を引き起こしてきました。今日、企業においても地域貢献・社会貢献として環境美化活動に積極的に取り組んでいます。廃棄物を出さない持続可能な循環型社会の実現に向けて、「地域力」「企業力」による美化活動を推進し、美しく住みよい地域を築き、環境保全に対する意識の向上を図ります。

【成果指標】

①きれいなまちだと感じる住民の割合

【現状値】 ①43%

【めざそう値】 3年後：①50% 6年後：①60%

【役割の担い手】 ①A:17% B:16% C:18% D:14% E:17% F:16% G:2%

《地域まちづくり活動》

《活動－11》環境美化活動の充実

＜成果の視点＞ 地域住民の美化運動への取り組みにより、環境にやさしいまちになること

藤沢づくりのめざす方向性 7 「藤沢づくり」を支える都市構造の再構築と地域経済の活力再生

産業や生活の基盤を支える都市機能を強化していくために、新たな拠点地区の整備や連携する道路、鉄道等の公共交通、海上交通のネットワーク化など、土地利用の方向性も含んだ「新たな都市構造の再構築」をめざします。また、産業の活力を高め、雇用の機会を増やし地産地消の推進を図るため、市民、地域の持つ資源を活かしつつ、商業、工業、観光、農水産業など、市民力、地域力、大学力、企業力などの連携によって地域経済の活力再生をめざします。

<①協働型の課題解決で価値向上へ>

ふじさわ未来課題

57 すべての世代がのびのび・いきいきと活躍していること

【地域まちづくり目標】

11 みんなが個性を活かし活躍できるまち

【目標の背景・方向性】

子どもからお年寄りまであらゆる世代にわたって、また地域住民から民間まであらゆる層が、個性豊かな活力あるまちづくりにかかわることは、地域を元気にする力になります。また、まちのなかで行われる積極的な声かけやあいさつは住民同士の信頼と協調を生み出します。地域全体が活力に溢れ、のびのび・いきいきとしたまちを創造するため地域団体の積極的な関わり合いと企業の地域貢献、地域社会活動を促し、新しい公共の役割を果たしながら、「地域力」「企業力」を全開し、協働した地域活動が活発に行われるまちを目指します。

【成果指標】

①元気のあるまちだと感じる住民の割合

【現状値】 ①22%

【めざそう値】 3年後：①23.5% 6年後：①29%

【役割の担い手】 ①A:25% B:31% C:13% D:13% E:6% F:12% G:0%

《地域まちづくり活動》

《活動-12》 誰もが参加でき、交流も図れる事業の推進

<成果の視点> 地域住民が互いにふれあうと共に、地域企業との交流が活発になること

藤沢づくりのめざす方向性 8 公共資産の維持管理と有効活用

公有地などの公共的な保有資産の積極的な活用とともに、公共施設の集約・移転等により生じる跡地、施設の有効活用、地域ニーズに合った資産を活用します。そのためには、公共施設・都市基盤施設の老朽化の時期を見据えて、既存施設の保全、再構築、機能更新など、社会資本の有効活用と長寿命化をめざします。

<①協働型の課題解決で価値向上へ>

ふじさわ未来課題

71 多様な連携を通じて、市民が望むサービスが提供されていること

【地域まちづくり目標】

12 だれもが利用できる都市基盤の充実したまち

【目標の背景・方向性】

村岡地区の南部は工場や世界的レベルの研究所が立地し、製品出荷額は市内で3番目となっています。また JR 東海道本線北側地域の大部分は区画整理事業などにより良好な住環境が形成されています。さらに現在、県・鎌倉市との広域連携により村岡新駅を中心としたまちづくり計画が進められています。一方、地域からは多世代が交流できる拠点の整備要望や交通ネットワークの整備など多岐にわたって様々なサービスが求められています。今後は「新しい公共」づくりを進め、地域資源^{*1}を有効利用した民間施設とコミュニティー施設の連携や、新たな地域拠点施設の整備、また既存道路網を活用した公共交通や交通システム、交通ネットワークの整備など多様なサービスの充実を図ります。

【成果指標】

①公民館など地域住民のコミュニティー活動の場の満足度

②鉄道や幹線道路など交通に関する満足度

【現状値】 ①20% ②39%

【めざそう値】 3年後：①30% ②45% 6年後：①42.5% ②50%

【役割の担い手】 ①A:13% B:19% C:19% D:15% E:14% F:20% G:0%

②A:15% B:16% C:19% D:19% E:10% F:21% G:0%

《地域まちづくり活動》

《活動-13》 多世代が交流、利用できるコミュニティーの活動拠点の充実

<成果の視点> 地域内の公共施設が活発に利用されていること

《活動-14》 交通ネットワークの充実

<成果の視点> 交通手段が充実していること

藤沢づくりのめざす方向性 9 「藤沢ライフスタイル」と「湘南カルチャー」の創出

湘南の環境と文化、ブランド力などの地域の特性を活かした、魅力的な生活（「藤沢ライフスタイル」）や創造的な湘南の文化（「湘南カルチャー」）の創出をめざし、その魅力と価値を発信します。そして、市民一人ひとりが豊かな心を育み、地域と世界をつなぐ国際交流などを通じて人材を育て、文化にふれあう交流発信のまちをつくりあげることをめざします。

<①協働型の課題解決で価値向上へ>

ふじさわ未来課題

76 訪れる人・住む人に配慮した心遣いや工夫があること

【地域まちづくり目標】

13 歴史と文化と自然に親しみ、活かすまち

【目標の背景・方向性】

村岡地区には周辺地名の由来となった弥勒寺をはじめ、由緒ある神社・仏閣があり、郷土芸能などの文化も受け継がれています。毎年元旦には「村岡七福神めぐり」が行われ多くの市民が参加しています。また、くらし・まちづくり会議が作成した「むらおか歴史の道（名所・史跡ガイド）」は地域を巡るウォーキングマップとして喜ばれ活用されています。また、新林公園や里山の原風景を残す川名緑地、川名清水谷戸は四季の草花が訪れる人を迎えてくれます。こうした歴史的・自然的資源を大切にしながら、村岡を訪れる人や地域住民が地域に関心を持ち愛着を感じてもらえる魅力あるまちを創出していきます。

【成果指標】

①歴史の保護・継承に関する満足度

②文化遺産の保護・継承に関する満足度

【現状値】 ①22% ②22%

【めざそう値】 3年後：①30% ②30% 6年後：①37.5% ②35%

【役割の担い手】 ①A:15% B:18% C:20% D:12% E:16% F:19% G:0%

②A:13% B:19% C:19% D:15% E:15% F:19% G:0%

《地域まちづくり活動》

《活動-15》 地域に残された歴史・自然資源の保存・継承・活用の推進

<成果の視点> 地域で歴史、文化、自然などが保存され、次世代に引き継がれていること

【地域まちづくり目標】

14 訪れる人を優しく迎えてくれるまち

【目標の背景・方向性】

住む人、働く人、訪れる人、誰もが安心して快適に過ごせ、行ってみたい、行って良かった、またこれからも住み続けたいと思えるようなまちづくりには、街並・景観・安全・環境・歴史文化などの整備と、ゆとり、やすらぎ、思いやりが感じられる細かい心配りが大切です。誰もが感じる居心地の良い環境は100センチの目線にたった視点で施策を検討することも必要です。また交通安全設備や道路環境の整備などのインフラ整備も不可欠です。「見えるところには目配りを、見えないところには気配りを」心掛けるまちづくりをめざします。

【成果指標】

①訪れる人を優しく迎えてくれるまちだと感じる住民の割合

【現状値】 ①18%

【めざそう値】 3年後：①25% 6年後：①35%

【役割の担い手】 ①A:17% B:17% C:21% D:13% E:14% F:18% G:0%

《地域まちづくり活動》

《活動-16》 通行に配慮した環境の整備

<成果の視点> 誰もが安全・安心に目的地へ行けるように配慮されていること

新総合計画基本計画

藤沢地区 地域まちづくり計画

地域まちづくりのテーマ

歴史と文化が息づく、湘南藤沢の都心部拠点

都市ビジョン1 市民の力が育てる生活充実都市

藤沢づくりのめざす方向性 1 地域自律型の「藤沢づくり」を育むまち

地域の歴史・文化や地域資源を活かして、地域に住み、働き、学ぶ人たちが協働して、地域から生み出す付加価値を享受するために、各地区ごとに個性のある地域経営を進めるとともに、行政は財政改革と行政改革を進めるとともに、新たな行政システムを構築し、市民、地域と協働して市民主体、地域自律型の「藤沢づくり」をめざします。

<①協働型の課題解決で価値向上へ>

ふじさわ未来課題

7 お互いがマナーを守り、助け合いの心で過ごせるまちであること

【地域まちづくり目標】

01 みんなでづくり、共に歩む明るいまち

【目標の背景・方向性】

公的な施設や観光資源など、地域にある資源をみんなでマナーよく大切に守り、情報の共有と意識の高揚を図ることにより、気持ちよく暮らせるまちづくりを進めます。

【成果指標】

①マナーが向上してきていると感じている人の割合

【現状値】 ①17%

【めざそう値】 3年後：①29% 6年後：①40%

【役割の担い手】 ①A:19% B:16% C:17% D:14% E:17% F:16% G:1%

《域まちづくり活動》

《活動-1》 あいさつがかわせる環境づくり

<成果の視点> 気持ちいいお付き合いができること

《活動-2》 マナー向上活動の推進

<成果の視点> マナーの向上に関する活動に参加すること

<②強みや魅力の維持・向上を>

ふじさわ未来課題

5 地域で協働して、暮らしやすいまちづくり活動が行われていること

【地域まちづくり目標】

02 多様な協働が育む、暮らしやすさを実感できるまち

【目標の背景・方向性】

鎌倉時代に門前町として栄えた遊行寺や、江戸時代に東海道の藤沢宿としてさらに発展した歴史・文化のあるこの藤沢地区を、地域の多様な形態（市民・地域・行政・企業・NPO・学校・医療など）との協働により、安全・安心なまち、利便性の良いまち、地域のコミュニケーションや絆が深いまちなど、暮らしやすさが実感できるまちづくりを進めます。

【成果指標】

①暮らしやすさを感じている人の割合

【現状値】 ①64%

【めざそう値】 3年後：①70% 6年後：①76.5%

【役割の担い手】 ①A:19% B:16% C:19% D:13% E:14% F:19% G:0%

《地域まちづくり活動》

《活動－3》 地域活動の活発化

<成果の視点> 地域活動に参加していること

《活動－4》 郷土愛の普及活動

<成果の視点> 住んでいる地域に愛着を持って生活していること

藤沢づくりのめざす方向性 2 明日の藤沢を担う「藤沢の子どもたち」を育む環境

明日の藤沢を担う「藤沢の子どもたち」を育てていくため、安心して子どもを産み、育てられる生活環境や多様な教育ニーズへの対応、家庭・地域・学校の教育連携など、教育環境を持続・発展させることをめざします。

<②強みや魅力の維持・向上を>

ふじさわ未来課題

9 子どもを安心して育てられる環境があること

【地域まちづくり目標】

03 子育てにやさしいまち

【目標の背景・方向性】

温暖な気候を持つ湘南藤沢の都心部拠点として、学校・家庭・地域の連携を図り、施設・設備などのハード面や、コミュニケーション・絆などのソフト面で、生き生き・のびのびとした交流ができる安全・安心な快適環境を整備し、子育てにやさしいまちづくりを進めます。

【成果指標】

①子育てしやすい環境であると感じる人の割合

②地区内の15歳未満の人口

【現状値】 ①28% ②5,346人

【めざそう値】 3年後：①35% ②5,500人 6年後：①40% ②5,800人

【役割の担い手】 ①A:15% B:16% C:16% D:14% E:18% F:18% G:3%

②A:21% B:10% C:12% D:15% E:20% F:22% G:0%

《地域まちづくり活動》

《活動-5》 子どもの見守り活動の実施

<成果の視点> 子どもたちが地域の人々に支えられていること

《活動-6》 地域と子どもの交流の場の確保

<成果の視点> 子どもたちが集える場所があること

藤沢づくりのめざす方向性 3 市民力・地域力による安全で安心して暮らせるまち

コミュニティを維持・発展させ、市民が一生安心して暮らせる保健・医療（介護）・福祉・健康などの生活環境と、犯罪や災害への不安解消などによる、安全で安心できる地域社会を創り上げることをめざします。また、病気の予防やスポーツなどを通じた身体的な健康のみならず、心も健やかであるために、生き生きと安心して暮らせる私たちの健康づくりをめざします。

<②強みや魅力の維持・向上を>

ふじさわ未来課題

19 治安の良い環境であること

【地域まちづくり目標】

04 みんなでつくる安心・安全なまち

【目標の背景・方向性】

藤沢地区は古くからのまちなみが多くあるため、路地に入ると狭い道が多く、幹線道路の抜け道となっていたり、犯罪の温床となる暗い道が多くあります。

また市外中心部の繁華街では、夜間の治安の悪化が懸念されていることから、住民が安心して暮らせる犯罪や交通事故の少ないまちづくりを進めます。

【成果指標】

①地区内の犯罪の発生件数

②地区内の交通事故の発生件数

【現状値】 ①833件 ②365件

【めざそう値】 3年後：①700件 ②330件 6年後：①500件 ②300件

【役割の担い手】 ①A:18% B:15% C:19% D:13% E:16% F:19% G:0%

②A:19% B:13% C:17% D:15% E:17% F:19% G:0%

《地域まちづくり活動》

《活動－7》 地域安全活動の充実

<成果の視点> 犯罪や交通事故が少ないこと

《活動－8》 地区内の交通事故多発地点の改善

<成果の視点> 地区内の交通事故発生地点が少ないこと

藤沢づくりのめざす方向性 4 共に生き、共に創る地域社会の創出

すべての市民が、差別や偏見を持つことなく、互いを認め合い、共に生き、働き、学ぶことができる豊かな生活環境を実現するため、それぞれの人権を尊重し、男女が共同で参画し、高齢者、若者なども積極的に参画できる、多文化が共生する穏やかな地域の社会環境を創り出すことをめざします。

<①協働型の課題解決で価値向上へ>

ふじさわ未来課題

31 社会的弱者の方が快適に過ごせるまちであること

【地域まちづくり目標】

05 思いやりと助け合いのまち

【目標の背景・方向性】

社会的弱者（高齢者・障がい者など）の方に配慮したまちづくりとその方たちをささえるボランティアの育成など地域の人材を活かした施策を進めるとともに、おたがいの交流をはかることができる環境の充実を図ります。

【成果指標】

- ①社会的弱者の方に配慮した地域であると感じる人の割合
- ②藤沢地区のボランティアセンターの登録者数
- ③藤沢地区のボランティアセンターの活動件数

【現状値】 ①22% ②64人 ③113件

【めざそう値】 3年後：①44% ②77.5人 ③121件 6年後：①62.5% ②77.5人 ③125件

【役割の担い手】 ①A:15% B:19% C:19% D:13% E:15% F:19% G:0%

②A:17% B:20% C:18% D:13% E:14% F:18% G:0%

③A:14% B:22% C:17% D:12% E:13% F:22% G:0%

《地域まちづくり活動》

《活動－9》 社会的弱者の方に配慮した必要施設等（特養・地域作業所を含む）の検証

<成果の視点> 高齢者や障がい者の方に配慮した施設が整備されていること

《活動－10》 ボランティア活動の推進

<成果の視点> 地域のボランティア活動に多くの人に参加していること

藤沢づくりのめざす方向性 5 豊かな地域資源の次世代への継承・発展

藤沢の自然環境、景観、歴史・文化資産など、先人から引き継いできた地域固有の資源をさらに発展させ、次世代に継承することによって都市としてのアイデンティティを高め、地域資源を活かしたまちをつくることをめざします。

<②強みや魅力の維持・向上を>

ふじさわ未来課題

36 誰もが快適に暮らせ、居心地のいいまちであること

【地域まちづくり目標】

06 みんなが気持ちよく快適に移動できるまち

【目標の背景・方向性】

藤沢地区は古くから発展している歴史ある地区であり、自然発生的なまちなみからなっているため、生活道路など身近な生活基盤の整備が遅れています。

歩道のバリアフリー化、交通アクセスの充実など高齢者や障がい者にとって外出しやすい環境づくりを進めます。

【成果指標】

①道路に不便を感じる人の割合

【現状値】 ①61%

【めざそう値】 3年後：①50% 6年後：①45%

【役割の担い手】 ①A:10% B:14% C:13% D:15% E:12% F:19% G:17%

《地域まちづくり活動》

《活動-11》 みんなが気持ちよく移動するための環境の推進

<成果の視点> 道路のインフラ整備がされていること

藤沢づくりのめざす方向性 6 地球温暖化防止など未来の地球環境への投資

地球温暖化などの環境問題やエネルギー・食糧などの資源にかかわる課題について、地球規模の視点に立って地域で取り組み、持続可能なまちと低炭素社会をつくりあげることがめざします。また、地域の大学力や企業力を活かして、産学官による協働と連携によって、最先端の環境技術を生み出す産業構造や環境に優しい都市システムを創り出すことをめざします。

<①協働型の課題解決で価値向上へ>

ふじさわ未来課題

49 人々の環境への意識が高く、快適なまちであること

【地域まちづくり目標】

07 昔ながらの歴史と文化が息づくまち

【目標の背景・方向性】

藤沢地区は鎌倉時代から門前町として栄え、遊行寺・白旗神社など多くの歴史的財産を受け継いでいる魅力あるまちです。

これらの歴史的財産の保存との文化の継承を図っていきます。

【成果指標】

①昔ながらのまちなみや景観に安らぎを感じている人の割合

【現状値】 ①33%

【めざそう値】 3年後：①40% 6年後：①50%

【役割の担い手】 ①A:14% B:17% C:17% D:17% E:14% F:19% G:2%

《地域まちづくり活動》

《活動－1 2》 昔ながらのまちなみの保存

<成果の視点> 地域の歴史的資産の保存活動に多くの人が参加すること

《活動－1 3》 地域資源*1としての有効活用とその活性化

<成果の視点> 地区の歴史的資産が地域で理解されていること

*1 地域資源：藤沢市内や各地域に存在する、自然環境や景観、文化や伝統、歴史、建造物、お祭り、団体や人的資源、大学や産業などを広い範囲で地域資源と呼んでいます。

<②強みや魅力の維持・向上を>

ふじさわ未来課題

48 豊かな緑に囲まれた生活が出来ていること

【地域まちづくり目標】

08 ころやすらぐ緑豊かな環境のまち

【目標の背景・方向性】

市街地である藤沢地区にとって緑地は貴重であり、必要な要素です。現存するみどりを大切にし、まちなかにみどりを増やします。まちのみどりの少なさを補うことにより、生活にうるおいをあたえる緑化を進めます。

【成果指標】

①身近に緑とふれあえる環境が整備されていると感じる人の割合

②地区の総面積に占める緑地面積の割合

【現状値】 ①37% ②7%

【めざそう値】 3年後：①50% ②17.5% 6年後：①60% ②21%

【役割の担い手】 ①A:14% B:18% C:17% D:15% E:14% F:18% G:4%

②A:11% B:18% C:16% D:17% E:14% F:21% G:3%

《地域まちづくり活動》

《活動－14》 緑豊かな環境の推進

<成果の視点> 緑豊かな環境が整備されていること

藤沢づくりのめざす方向性 7 「藤沢づくり」を支える都市構造の再構築と地域経済の活力再生

産業や生活の基盤を支える都市機能を強化していくために、新たな拠点地区の整備や連携する道路、鉄道等の公共交通、海上交通のネットワーク化など、土地利用の方向性も含んだ「新たな都市構造の再構築」をめざします。また、産業の活力を高め、雇用の機会を増やし地産地消の推進を図るため、市民、地域の持つ資源を活かしつつ、商業、工業、観光、農水産業など、市民力、地域力、大学力、企業力などの連携によって地域経済の活力再生をめざします。

<①協働型の課題解決で価値向上へ>

ふじさわ未来課題

62 産業の活力を高め、地域が元気になること

【地域まちづくり目標】

09 みんながいきいきと元気に暮らせるまち

【目標の背景・方向性】

藤沢地区は藤沢の都心部拠点となっており、市の中心的役割を担っています。
しかし、近年郊外型ショッピングモールなどの進出により、市中心部の産業の空洞化が進んでいます。
藤沢駅・藤沢本町駅周辺を中心としたいいきいき元気なまちづくりを進めます。

【成果指標】

①生きがいをもって生活をしている人の割合

【現状値】 ①30%

【めざそう値】 3年後：①40% 6年後：①45%

【役割の担い手】 ①A:18% B:17% C:14% D:14% E:8% F:17% G:12%

《地域まちづくり活動》

《活動－15》 いきいき元気な魅力ある商店街づくり

<成果の視点> 商店街で買い物をする人が増えるとともに地域との交流が盛んになること

《活動－16》 駅前（藤沢駅北口・藤沢本町駅）周辺のあり方の検証

<成果の視点> 駅前開発に対する地域での理解があること

藤沢づくりのめざす方向性 8 公共資産の維持管理と有効活用

公有地などの公共的な保有資産の積極的な活用とともに、公共施設の集約・移転等により生じる跡地、施設の有効活用、地域ニーズに合った資産を活用します。そのためには、公共施設・都市基盤施設の老朽化の時期を見据えて、既存施設の保全、再構築、機能更新など、社会資本の有効活用と長寿命化をめざします。

<①協働型の課題解決で価値向上へ>

ふじさわ未来課題

71 多様な連携を通じて、市民が望むサービスが提供されていること

【地域まちづくり目標】

10 公共施設が充実しているまち

【目標の背景・方向性】

藤沢公民館は築後45年を経過し、老朽化が進んでいます。新たな藤沢地区の拠点施設の必要性から、地域の交流の場として、また地域の情報発信基地としての機能を有するコミュニティ施設の整備に向けた新たな行政施設のあり方を検証します。

【成果指標】

①行政サービスに対する満足度

②藤沢公民館の年間稼働率

【現状値】 ①24% ②48%

【めざそう値】 3年後：①30% ②55% 6年後：①50% ②64%

【役割の担い手】 ①A:18% B:12% C:13% D:16% E:16% F:25% G:0%

②A:24% B:15% C:14% D:9% E:14% F:24% G:0%

《地域まちづくり活動》

《活動-17》 公共施設の建替による公共施設のあり方についての検証

<成果の視点> 公共施設の建て替えにおける地区内の理解度が高まること

藤沢づくりのめざす方向性 9 「藤沢ライフスタイル」と「湘南カルチャー」の創出

湘南の環境と文化、ブランド力などの地域の特性を活かした、魅力的な生活（「藤沢ライフスタイル」）や創造的な湘南の文化（「湘南カルチャー」）の創出をめざし、その魅力と価値を発信します。そして、市民一人ひとりが豊かな心を育み、地域と世界をつなぐ国際交流などを通じて人材を育て、文化にふれあう交流発信のまちをつくりあげることがめざします。

<①協働型の課題解決で価値向上へ>

ふじさわ未来課題

76 訪れる人・住む人に配慮した心遣いや工夫があること

【地域まちづくり目標】

11 行って楽しい 見て楽しい いつも新しい発見があるまち

【目標の背景・方向性】

由緒ある歴史・文化に恵まれたこの藤沢地区の魅力をより一層アピールするため、訪れる人に対する住んでいる人の気遣いが感じられる人間味あふれる豊かなまちづくりを進めます。

【成果指標】

①地区外からの訪れる人が増えたと感じる人の割合

【現状値】 ①23%

【めざそう値】 3年後：①30% 6年後：①40%

【役割の担い手】 ①A:14% B:17% C:16% D:20% E:12% F:21% G:0%

《地域まちづくり活動》

《活動-18》 まちの顔となる魅力あるスポットの充実

<成果の視点> 地区内のお気に入りの場所が多くあること

<②強みや魅力の維持・向上を>

ふじさわ未来課題

74 いつも自然の豊かさを感じられていること

【地域まちづくり目標】

12 自然や生き物とふれあい、楽しい体験ができるまち

【目標の背景・方向性】

藤沢地区内に残る自然やそこにすむ生き物とのふれあいによる体験、水辺の生き物とのふれあいなど、昔ながらの素朴な自然とふれあえる喜びが経験できるまちづくりを進めます。

【成果指標】

①自然とのふれあいに楽しさを感じる人の割合

【現状値】 ①50%

【めざそう値】 3年後：①60% 6年後：①65%

【役割の担い手】 ①A:16% B:16% C:17% D:16% E:17% F:18% G:0%

《地域まちづくり活動》

《活動－19》 地域の自然とふれあう機会の創出

<成果の視点> 自然とのふれあいを目的とした催し物に訪れる人の数が増えること

新総合計画基本計画

明治地区 地域まちづくり計画

地域まちづくりのテーマ

明るく楽しい未来を創るまち、めいじ

都市ビジョン1 市民の力が育てる生活充実都市

藤沢づくりのめざす方向性 1 地域自律型の「藤沢づくり」を育むまち

地域の歴史・文化や地域資源を活かして、地域に住み、働き、学ぶ人たちが協働して、地域から生み出す付加価値を享受するために、各地区ごとに個性のある地域経営を進めるとともに、行政は財政改革と行政改革を進めるとともに、新たな行政システムを構築し、市民、地域と協働して市民主体、地域自律型の「藤沢づくり」をめざします。

<①協働型の課題解決で価値向上へ>

ふじさわ未来課題

7 お互いがマナーを守り、助け合いの心で過ごせるまちであること

【地域まちづくり目標】

01 住んでいることに誇りと喜びを感じ住み続けたいと思えるまち

【目標の背景・方向性】

明治地区は全体に平坦で、散歩する人や自転車に乗る人が多い。一方、住宅地内の通路は狭く入り組んでいる。そこが生活道路のため、自動車、自転車のマナー、犬の散歩のマナー（フンの処理）、住宅地からの木、枝の道路にはみ出し問題等がアンケートでも指摘されている。誰もが安心して通行でき、気持ちが良いと感じられるまちを目指します。

【成果指標】

①道路がきれいだと実感できる人の割合

②自転車マナーが良いと実感できる人の割合

【現状値】 ①24% ②17%

【めざそう値】 3年後：①35% ②28% 6年後：①50% ②40%

【役割の担い手】 ①A:15% B:17% C:18% D:14% E:12% F:24% G:0%

②A:23% B:13% C:14% D:11% E:17% F:21% G:1%

《地域まちづくり活動】

《活動-1》 安心できれいな道路の維持・ウォッチング活動の推進

<成果の視点> 啓発活動やウォッチングへ多くの人に参加すること

《活動-2》 安心安全で誰もが利用しやすい道路の維持推進

<成果の視点> 安全に道路を通行するための知識を習得できること

藤沢づくりのめざす方向性 2 明日の藤沢を担う「藤沢の子どもたち」を育む環境

明日の藤沢を担う「藤沢の子どもたち」を育てていくため、安心して子どもを産み、育てられる生活環境や多様な教育ニーズへの対応、家庭・地域・学校の教育連携など、教育環境を持続・発展させることをめざします。

<②強みや魅力の維持・向上を>

ふじさわ未来課題

13 地域が子どもを見守り育てる環境であること

【地域まちづくり目標】

02 子供たちが生き生きとしているまち

【目標の背景・方向性】

最近、外で遊ぶ子供の声を聞かなくなった。ゲームなども大きな原因と思える。アンケートでは挨拶ができているとできていないは半々の結果であった。JRを超える通学ルートなど不便な点や、子供の遊ぶ場所が少ない、寝ができていない等の意見はあるが、重要度充足度共に比較的高い。地域としては子供が安心して外で遊べる環境づくりを進めます。

【成果指標】

①青少年育成の場や機会の充実度

【現状値】 ①27%

【めざそう値】 3年後：①34% 6年後：①40%

【役割の担い手】 ①A:18% B:14% C:17% D:10% E:21% F:19% G:1%

《地域まちづくり活動》

《活動-3》 子ども達がみんなで屋外で活動する機会の提供を推進

<成果の視点> 屋外での活動機会が充実していること。

《活動-4》 子ども達が昼間安心して活動できる場所の確保を推進

<成果の視点> 子ども達の安全が確保されていること

<④熟慮と根拠ある未来戦略を>

ふじさわ未来課題

11 地域の歴史文化を教育活動に活用すること

【地域まちづくり目標】

03 教え学ぶ環境施設が整っている地域と市民のまち

【目標の背景・方向性】

耕餘塾など史跡に恵まれる地域という特性があり、また、アンケートによれば郷土史料室や図書室の評価も概ね良い。町内活動は盛んだが、情報の共有はされていない。そのため、重要度も充足度も低い。ソフトハードの環境を充実し、歴史や文化をみんなで学びあえるまちを目指します。

【成果指標】

- ①歴史の保護、継承の認知度
- ②文化遺産の保護、継承の認知度

【現状値】 ①18% ②16%

【めざそう値】 3年後：①22.5% ②22% 6年後：①30% ②30%

【役割の担い手】 ①A:14% B:19% C:20% D:13% E:15% F:18% G:1%
②A:14% B:17% C:18% D:14% E:17% F:19% G:1%

《地域まちづくり活動》

《活動－5》 地域の歴史や史跡を大切にする活動の推進

<成果の視点> 教育活動が活発に行われていること。

《政策－6》 学びながら史跡巡りができる情報提供活動の推進

<成果の視点> 提供された地域の情報が活用されていること

藤沢づくりのめざす方向性 3 市民力・地域力による安全で安心して暮らせるまち

コミュニティを維持・発展させ、市民が一生安心して暮らせる保健・医療（介護）・福祉・健康などの生活環境と、犯罪や災害への不安解消などによる、安全で安心できる地域社会を創り上げることをめざします。また、病気の予防やスポーツなどを通じた身体的な健康のみならず、心も健やかであるために、生き生きと安心して暮らせる私たちの健康づくりをめざします。

<②強みや魅力の維持・向上を>

ふじさわ未来課題

17 保健、医療、福祉、健康などの生活環境が整い暮らしやすいこと

【地域まちづくり目標】

04 持続可能性を実現できるまち

【目標の背景・方向性】

明治地域は大きな病院があり、医院も多く、誰もが安心して暮らせる環境が整っており重要度充足度ともに高い。これからもこれを維持し、さらに発展させていきます。特に、独居高齢者、高齢者夫婦が今後より大きな課題となってくることを念頭に置き進めていきます。

【成果指標】

①いつでも安心して受けられる医療の充実度

【現状値】 ①39%

【めざそう値】 3年後：①50% 6年後：①57.5%

【役割の担い手】 ①A:13% B:16% C:16% D:16% E:15% F:24% G:0%

《地域まちづくり活動》

《活動－7》 明治を医療・健康などの中核地区として推進

<成果の視点> 利用しやすい情報を共有できる健康医療施設があること

藤沢づくりのめざす方向性 4 共に生き、共に創る地域社会の創出

すべての市民が、差別や偏見を持つことなく、互いを認め合い、共に生き、働き、学ぶことができる豊かな生活環境を実現するため、それぞれの人権を尊重し、男女が共同で参画し、高齢者、若者なども積極的に参画できる、多文化が共生する穏やかな地域の社会環境を創り出すことをめざします。

<①協働型の課題解決で価値向上へ>

ふじさわ未来課題

26 子育て世代を支える環境が充実していること

【地域まちづくり目標】

05 コミュニケーションに参加できる機会があるまち

【目標の背景・方向性】

保育園待機児の問題あるいは遊ぶ場所が少ない、親や子が遊び育てる情報の不足は全市共通課題である。湘南C-Xを中心とした民間保育園誘致活動と共に、子育て支援サークルなどを支援することで、まちぐるみで安心して子育てのできる仕組みづくりを進めます。

【成果指標】

①子育て支援へのさまざまな取り組みに対する認知度

【現状値】 ①26%

【めざそう値】 3年後：①40% 6年後：①55%

【役割の担い手】 ①A:16% B:18% C:17% D:10% E:18% F:21% G:0%

《地域まちづくり活動》

《活動-8》 地域ぐるみで進める子育て支援や施設の誘致

<成果の視点> 情報共有化が可能な子育て支援活動が行われていること

ふじさわ未来課題

30 お互いにマナーを守り、協力して地域のために活動していること

【地域まちづくり目標】

06 挨拶、声かけ、清潔で思いやりのあるまち

【目標の背景・方向性】

挨拶、声かけがしづらい、夜遅くまでコンビニ等で若者がたむろしているのを見かける。自転車、歩行者のマナーにも問題があるし、ポイ捨て、歩行喫煙もまだまだ見かける。子供からお年寄りまで、みんなで挨拶しながらきれいなまちづくりを進めます。

【成果指標】

①住民主体のまちづくり活動への参加度合

【現状値】 ①42%

【めざそう値】 3年後：①50.5% 6年後：①70%

【役割の担い手】 ①A:16% B:16% C:20% D:10% E:15% F:18% G:5%

《地域まちづくり活動》

《活動－9》 世代間での挨拶、声かけ、清掃活動の推進

<成果の視点> 世代間交流ができる清掃活動が行われていること

藤沢づくりのめざす方向性 5 豊かな地域資源の次世代への継承・発展

藤沢の自然環境、景観、歴史・文化資産など、先人から引き継いできた地域固有の資源をさらに発展させ、次世代に継承することによって都市としてのアイデンティティを高め、地域資源を活かしたまちをつくることをめざします。

<①協働型の課題解決で価値向上へ>

ふじさわ未来課題

45 地域の未来の担い手が育成されていること

【地域まちづくり目標】

07 明治育ちを自慢できるまち

【目標の背景・方向性】

明治地区は大学に近く、学問に触れやすい環境にある。また、昔の遊びを子供達に伝えてくれる高齢者も多い。アンケートでも高齢者から若年層まで世代を超えて集い、ふれあい、学ぶ場を求める声が多い。小中学生が先端の学問や昔の遊びに触れられ、やがては地域の担い手に育つまちを目指します。

【成果指標】

- ①個性豊かに子どもが成長していると感じている人の割合
- ②小中学校が地域に開かれていると思っている人の割合

【現状値】 ①18% ②22%

【めざそう値】 3年後：①30% ②30% 6年後：①30% ②40%

【役割の担い手】 ①A:14% B:16% C:16% D:10% E:21% F:19% G:4%
②A:17% B:15% C:14% D:10% E:21% F:20% G:3%

《地域まちづくり活動》

《活動-10》 世代を超えて学習できる機会の推進

<成果の視点> 世代を超えた学習機会が提供できていること

《活動-11》 高齢者と子供が共に学び伝える昔の暮らしと遊び活動の推進

<成果の視点> 世代を超えた交流活動が活発に行われていること

<②強みや魅力の維持・向上を>

ふじさわ未来課題

43 子供が大人になっても愛着の持てるまちであること

【地域まちづくり目標】

08 ふるさと意識がもてるまち

【目標の背景・方向性】

明治地区はイベントなど楽しい思い出がたくさんあるまち。伝統ある祭りなどが毎年各町内で行われており、アンケートでも継続を望む声が多い。子供連れや高齢者が気軽に集えると共に大型商業施設や湘南C-Xと一緒にあって楽しい思い出のできるまちを目指します。

【成果指標】

- ①愛着が持てるまちと実感できる割合
- ②地域活動に参加したいと思っている人の割合

【現状値】 ①56% ②28%

【めざそう値】 3年後：①60% ②35% 6年後：①70% ②45%

【役割の担い手】 ①A:15% B:14% C:17% D:13% E:14% F:18% G:9%
②A:16% B:16% C:18% D:14% E:15% F:19% G:2%

《地域まちづくり活動》

《活動-12》 誰もが参加できるイベント等の活動推進

<成果の視点> 地域の企業や市民が参加できるイベントが開催されていること

藤沢づくりのめざす方向性 6 地球温暖化防止など未来の地球環境への投資

地球温暖化などの環境問題やエネルギー・食糧などの資源にかかわる課題について、地球規模の視点に立って地域で取り組み、持続可能なまちと低炭素社会をつくりあげることがめざします。また、地域の大学力や企業力を活かして、産学官による協働と連携によって、最先端の環境技術を生み出す産業構造や環境に優しい都市システムを創り出すことをめざします。

<①協働型の課題解決で価値向上へ>

ふじさわ未来課題

49 人々の環境への意識が高く、快適なまちであること

【地域まちづくり目標】

09 美化運動やエコ活動が実践できるまち

【目標の背景・方向性】

美化運動やエコ活動は身近なところから始めることが大切。公園のゴミ、犬のフン、庭木の道路へのはみ出し、宅地への空き缶捨てなどアンケートにも問題とする声が多い。散歩する人や自転車に乗る人の多い明治、環境に配慮したまちづくりを誰もが身近に感じられることを目指します。

【成果指標】

①まちなみが環境に優しと感じる割合

②まちなみがきれいで快適と感じる割合

【現状値】 ①23% ②24%

【めざそう値】 3年後：①30% ②30% 6年後：①37.5% ②35%

【役割の担い手】 ①A:15% B:17% C:19% D:16% E:14% F:19% G:0%

②A:16% B:14% C:18% D:16% E:14% F:18% G:4%

《地域まちづくり活動》

《活動-13》 環境にやさしい地域、緑や花いっぱい活動の推進

<成果の視点> 美化運動・エコ活動がみんなに知られていること

藤沢づくりのめざす方向性 7 「藤沢づくり」を支える都市構造の再構築と地域経済の活力再生

産業や生活の基盤を支える都市機能を強化していくために、新たな拠点地区の整備や連携する道路、鉄道等の公共交通、海上交通のネットワーク化など、土地利用の方向性も含んだ「新たな都市構造の再構築」をめざします。また、産業の活力を高め、雇用の機会を増やし地産地消の推進を図るため、市民、地域の持つ資源を活かしつつ、商業、工業、観光、農水産業など、市民力、地域力、大学力、企業力などの連携によって地域経済の活力再生をめざします。

<①協働型の課題解決で価値向上へ>

ふじさわ未来課題

65 市内の交通・物流がスムーズに行われること

【地域まちづくり目標】

10 常に交通問題や道路事情に関心のもてるまち

【目標の背景・方向性】

大型店ができ、恒常的に交通渋滞が起きている。JR辻堂駅から藤沢方面にかけては特に問題である。その影響は住宅地にもおよび、細い道が迂回路に利用されたり、自宅の庭で転回する例さえ有る。アンケートでも問題視する声が多いが、まずは、道路問題について、情報をみんなで共有しあえるまちを目指したい。

【成果指標】

①地域の道路整備や交通安全対策など、良好な生活環境の維持・整備度合

【現状値】 ①32%

【めざそう値】 3年後：①42% 6年後：①50%

【役割の担い手】 ①A:13% B:13% C:20% D:20% E:8% F:26% G:0%

《地域まちづくり活動》

《活動-14》 交通問題について情報を収集、発信する活動の推進

<成果の視点> 交通問題に関する情報が共有されていること

藤沢づくりのめざす方向性 8 公共資産の維持管理と有効活用

公有地などの公共的な保有資産の積極的な活用とともに、公共施設の集約・移転等により生じる跡地、施設の有効活用、地域ニーズに合った資産を活用します。そのためには、公共施設・都市基盤施設の老朽化の時期を見据えて、既存施設の保全、再構築、機能更新など、社会資本の有効活用と長寿命化をめざします。

<①協働型の課題解決で価値向上へ>

ふじさわ未来課題

71 多様な連携を通じて、市民が望むサービスが提供されていること

【地域まちづくり目標】

11 地域資源*1 が有効活用されているまち

【目標の背景・方向性】

アンケートによると、地域の施設の使い方が分からない、使い方が面倒だとの声がある。情報の共有化ができていない、あるいは、共有の仕方が分からないと考えられる。また、商店街活性化にも意見が多い。地区にある公共施設および商店街を大切な地域資源と考え有効活用するため、情報共有化できるまちを目指します。

【成果指標】

①連携ネットワーク・情報提供の認知度

【現状値】 ①9%

【めざそう値】 3年後：①19% 6年後：①35%

【役割の担い手】 ①A:15% B:18% C:19% D:15% E:16% F:17% G:0%

《地域まちづくり活動》

《活動-15》 施設の情報を共有化し有効に活用する活動の推進

<成果の視点> 情報が共有化できる施設があること

《活動-16》 地域ぐるみで商店街問題を検討する活動の推進

<成果の視点> 商店街に関する情報が地域で共有されていること

*1 地域資源：藤沢市内や各地域に存在する、自然環境や景観、文化や伝統、歴史、建造物、お祭り、団体や人的資源、大学や産業などを広い範囲で地域資源と呼んでいます。

藤沢づくりのめざす方向性 9 「藤沢ライフスタイル」と「湘南カルチャー」の創出

湘南の環境と文化、ブランド力などの地域の特性を活かした、魅力的な生活（「藤沢ライフスタイル」）や創造的な湘南の文化（「湘南カルチャー」）の創出をめざし、その魅力と価値を発信します。そして、市民一人ひとりが豊かな心を育み、地域と世界をつなぐ国際交流などを通じて人材を育て、文化にふれあう交流発信のまちをつくりあげることをめざします。

<①協働型の課題解決で価値向上へ>

ふじさわ未来課題

76 訪れる人・住む人に配慮した心遣いや工夫があること

【地域まちづくり目標】

12 オープンで親切で怒いやりのあるまち

【目標の背景・方向性】

住む人のアンケートはあるが、訪れる人のアンケートはない。しかし、何度でも訪れたくなるまちは、きっと住みたくなるまち、住み続けたいくなるまち。活動しやすく安全で楽しめることができ、思いやりが感じられるまちを目指します。

【成果指標】

①訪れた人への配慮や意見要望に対応できた度合

【現状値】 ①63%

【めざそう値】 3年後：①70% 6年後：①80%

【役割の担い手】 ①A:16% B:17% C:16% D:12% E:15% F:15% G:9%

《地域まちづくり活動》

《活動-17》 バリアフリー（外国語表記含む）化活動の推進

<成果の視点> バリアフリーが進んでいること

《活動-18》 いつでもどこでも意見を聴くことのできる活動の推進

<成果の視点> 訪れた人から、多くの意見が寄せられること

新総合計画基本計画

善行地区 地域まちづくり計画

地域まちづくりのテーマ

みんなが元気で、誰にもやさしい 坂のまち

都市ビジョン1 市民の力が育てる生活充実都市

藤沢づくりのめざす方向性 1 地域自律型の「藤沢づくり」を育むまち

地域の歴史・文化や地域資源を活かして、地域に住み、働き、学ぶ人たちが協働して、地域から生み出す付加価値を享受するために、各地区ごとに個性のある地域経営を進めるとともに、行政は財政改革と行政改革を進めるとともに、新たな行政システムを構築し、市民、地域と協働して市民主体、地域自律型の「藤沢づくり」をめざします。

<②強みや魅力の維持・向上を>

ふじさわ未来課題

1 身近な地域での暮らしやすさが実現していること

【地域まちづくり目標】

01 さりげないサポートの「まち」

【目標の背景・方向性】

高齢者や子育て世代にもやさしいまち、善行。さしのべる手を求める声に、さりげなく応えられるような環境、仕組みづくりって？

【成果指標】

①提供する環境や仕組みに対する信頼性が増すこと

【現状値】 ①45%

【めざそう値】 3年後：①55% 6年後：①65%

【役割の担い手】 ①A:16% B:15% C:17% D:17% E:17% F:18% G:0%

《地域まちづくり活動》

《活動-1》 暮らしに活かす地域の力

<成果の視点> 地域の声をいつでも聞きながら、誰にもやさしく手をさしのべられ、求められるやさしさをさりげなく案内するための情報発信ができて
いること

藤沢づくりのめざす方向性 2 明日の藤沢を担う「藤沢の子どもたち」を育む環境

明日の藤沢を担う「藤沢の子どもたち」を育てていくため、安心して子どもを産み、育てられる生活環境や多様な教育ニーズへの対応、家庭・地域・学校の教育連携など、教育環境を持続・発展させることをめざします。

<②強みや魅力の維持・向上を>

ふじさわ未来課題

13 地域が子どもを見守り育てる環境であること

【地域まちづくり目標】

02 子どもを守りはぐくむ「まち」

【目標の背景・方向性】

元気な子どもが遊ぶまち、善行。地域ぐるみの子育てって？

【成果指標】

①善行が楽しいと感じる子どもの割合

【現状値】 ①24%

【めざそう値】 3年後：①30% 6年後：①50%

【役割の担い手】 ①A:19% B:18% C:16% D:11% E:19% F:17% G:0%

《地域まちづくり活動》

《活動-2》 まるごと遊べる楽しい地域

<成果の視点> まちのどこでも子どもたちは安心して遊べ、親たちも安心して遊ばせられる地域の環境が整っていること

藤沢づくりのめざす方向性 3 市民力・地域力による安全で安心して暮らせるまち

コミュニティを維持・発展させ、市民が一生安心して暮らせる保健・医療（介護）・福祉・健康などの生活環境と、犯罪や災害への不安解消などによる、安全で安心できる地域社会を創り上げることをめざします。また、病気の予防やスポーツなどを通じた身体的な健康のみならず、心も健やかであるために、生き生きと安心して暮らせる私たちの健康づくりをめざします。

<②強みや魅力の維持・向上を>

ふじさわ未来課題

19 治安の良い環境であること

【地域まちづくり目標】

03 みんなで作る安全安心な「まち」

【目標の背景・方向性】

犯罪のない明るいまち、善行。ひとりひとりが心がけることは？

【成果指標】

①日常生活において安全安心を実感できる人の割合

【現状値】 ①25%

【めざそう値】 3年後：①40% 6年後：①50%

【役割の担い手】 ①A:20% B:15% C:18% D:12% E:15% F:20% G:0%

《地域まちづくり活動》

《活動－3》 防犯意識が高まる地域

<成果の視点> 地域の安全を隅々まで見渡す、安心のやさしい目をみんながもてるまちであること

藤沢づくりのめざす方向性 4 共に生き、共に創る地域社会の創出

すべての市民が、差別や偏見を持つことなく、互いを認め合い、共に生き、働き、学ぶことができる豊かな生活環境を実現するため、それぞれの人権を尊重し、男女が共同で参画し、高齢者、若者なども積極的に参画できる、多文化が共生する穏やかな地域の社会環境を創り出すことをめざします。

<①協働型の課題解決で価値向上へ>

ふじさわ未来課題

24 挨拶や声かけによる市民同士のコミュニケーションがとれていること

【地域まちづくり目標】

04 笑顔でふれあう「まち」

【目標の背景・方向性】

みんなが顔なじみのまち、善行。きっかけは気軽なコミュニケーションから？

【成果指標】

①まちのあちこちで挨拶や会釈を交わす人の割合

【現状値】 ①41%

【めざそう値】 3年後：①55% 6年後：①70%

【役割の担い手】 ①A:21% B:13% C:19% D:11% E:20% F:16% G:0%

《地域まちづくり活動》

《活動-4》 出会うよろこび感じる地域

<成果の視点> いつでも、どこでも、誰でもできるコミュニケーションの原点である気軽なあいさつが浸透していること

藤沢づくりのめざす方向性 5 豊かな地域資源の次世代への継承・発展

藤沢の自然環境、景観、歴史・文化資産など、先人から引き継いできた地域固有の資源をさらに発展させ、次世代に継承することによって都市としてのアイデンティティを高め、地域資源を活かしたまちをつくることをめざします。

<①協働型の課題解決で価値向上へ>

ふじさわ未来課題

37 市民、地域、行政が協力し、快適な生活が実現していること

【地域まちづくり目標】

05 坂道とやさしくつきあう「まち」

【目標の背景・方向性】

坂のまち、善行。誰もが快適に坂道とつきあえるまちづくりって？

【成果指標】

①「坂」に対する不満・不便を感じる人の割合

【現状値】 ①56%

【めざそう値】 3年後：①50% 6年後：①40%

【役割の担い手】 ①A:12% B:16% C:19% D:17% E:11% F:22% G:3%

《地域まちづくり活動》

《活動-5》 らくらく動ける便利な地域

<成果の視点> 地域みんなが快適に地域内を行き来できること

<②強みや魅力の維持・向上を>

ふじさわ未来課題

43 子供が大人になっても愛着の持てるまちであること

【地域まちづくり目標】

06 郷土や自然を愛する「まち」

【目標の背景・方向性】

地域資源が豊富なまち、善行。身近なところから地域や自然への愛着心と郷土愛を深めるには？

【成果指標】

①善行に愛着を持つ人の割合

【現状値】 ①52%

【めざそう値】 3年後：①60% 6年後：①70%

【役割の担い手】 ①A:16% B:16% C:18% D:13% E:17% F:17% G:3%

《地域まちづくり活動》

《活動-6》 心をつなぐ地域の資産

<成果の視点> 生活に密着した、身近な資源から地域や自然への愛着が深まっていること

藤沢づくりのめざす方向性 6 地球温暖化防止など未来の地球環境への投資

地球温暖化などの環境問題やエネルギー・食糧などの資源にかかわる課題について、地球規模の視点に立って地域で取り組み、持続可能なまちと低炭素社会をつくりあげることがめざします。また、地域の大学力や企業力を活かして、産学官による協働と連携によって、最先端の環境技術を生み出す産業構造や環境に優しい都市システムを創り出すことをめざします。

<①協働型の課題解決で価値向上へ>

ふじさわ未来課題

49 人々の環境への意識が高く、快適なまちであること

【地域まちづくり目標】

07 善い行いがあふれる「まち」

【目標の背景・方向性】

生活環境にもやさしいまち、善行。マナーアップを図るには？

【成果指標】

①公共マナーが向上していると感じる人の割合

【現状値】 ①15%

【めざそう値】 3年後：①30% 6年後：①50%

【役割の担い手】 ①A:18% B:15% C:16% D:13% E:18% F:16% G:4%

《地域まちづくり活動》

《活動-7》 つくって守る地域のルール

<成果の視点> ルールとマナーを守ってやさしい環境が維持され、お互いが快適な毎日を過ごせる環境であること

藤沢づくりのめざす方向性 7 「藤沢づくり」を支える都市構造の再構築と地域経済の活力再生

産業や生活の基盤を支える都市機能を強化していくために、新たな拠点地区の整備や連携する道路、鉄道等の公共交通、海上交通のネットワーク化など、土地利用の方向性も含んだ「新たな都市構造の再構築」をめざします。また、産業の活力を高め、雇用の機会を増やし地産地消の推進を図るため、市民、地域の持つ資源を活かしつつ、商業、工業、観光、農水産業など、市民力、地域力、大学力、企業力などの連携によって地域経済の活力再生をめざします。

<①協働型の課題解決で価値向上へ>

ふじさわ未来課題

57 すべての世代がのびのび・いきいきと活躍していること

【地域まちづくり目標】

08 みんながつどう楽しい「まち」

【目標の背景・方向性】

地域活動が活発なまち、善行。その活動拠点となる市民センター・公民館の機能を十二分に発揮するには？

【成果指標】

①市民センター・公民館利用者の満足度

【現状値】 ①21%

【めざそう値】 3年後：①47% 6年後：①53%

【役割の担い手】 ①A:18% B:16% C:18% D:13% E:18% F:17% G:0%

《地域まちづくり活動》

《活動－8》 力が集まる地域の拠点

<成果の視点> 誰もが気軽に立ち寄り、語らいそしていきいきと活動のできる施設であること

ふじさわ未来課題

62 産業の活力を高め、地域が元気になること

【地域まちづくり目標】

09 大地のめぐみを育てる「まち」

【目標の背景・方向性】

新鮮な農産物にめぐまれたまち、善行。みんなが「旬」を楽しむためには？

【成果指標】

①善行の地場産農産物を購入している人の割合

【現状値】 ①59%

【めざそう値】 3年後：①80% 6年後：①90%

【役割の担い手】 ①A:17% B:14% C:17% D:17% E:17% F:18% G:0%

《地域まちづくり活動》

《活動－9》 「食」と「農」とをつなげる地域

<成果の視点> 生産者にやりがいと、消費者には味わいと安心を与えられる環境であること

ふじさわ未来課題

63 地域の人材が働ける機会を創造すること

【地域まちづくり目標】

10 いきがい、やりがい、ささえあいの「まち」

【目標の背景・方向性】

みんながいきいき暮らすまち、善行。充実した生活を送るには？

【成果指標】

①善行に住んで良かったと思う人の数

【現状値】 ①53%

【めざそう値】 3年後：①70% 6年後：①90%

【役割の担い手】 ①A:22% B:9% C:22% D:8% E:22% F:17% G:0%

《地域まちづくり活動》

《活動－10》 だれもがいきいき地域の一員

<成果の視点> 誰もが生きがいを持って、地域で活躍できていること

藤沢づくりのめざす方向性 8 公共資産の維持管理と有効活用

公有地などの公共的な保有資産の積極的な活用とともに、公共施設の集約・移転等により生じる跡地、施設の有効活用、地域ニーズに合った資産を活用します。そのためには、公共施設・都市基盤施設の老朽化の時期を見据えて、既存施設の保全、再構築、機能更新など、社会資本の有効活用と長寿命化をめざします。

<②強みや魅力の維持・向上を>

ふじさわ未来課題

68 日常生活に安らぎや豊かさを与えてくれる場所があること

【地域まちづくり目標】

11 自然とふれあう健康な「まち」

【目標の背景・方向性】

豊かな自然に恵まれたまち、善行。緑と土を活用した心と体の健康づくりって？

【成果指標】

①地域内の自然を楽しむ人の割合

【現状値】 ①41%

【めざそう値】 3年後：①55% 6年後：①70%

【役割の担い手】 ①A:13% B:18% C:19% D:18% E:12% F:20% G:0%

《地域まちづくり活動》

《活動-11》 みんなでつくる癒しの地域

<成果の視点> 地域の資源である緑と土に、様々な世代が親しみながら心と体を癒す環境があること

藤沢づくりのめざす方向性 9 「藤沢ライフスタイル」と「湘南カルチャー」の創出

湘南の環境と文化，ブランド力などの地域の特性を活かした，魅力的な生活（「藤沢ライフスタイル」）や創造的な湘南の文化（「湘南カルチャー」）の創出をめざし，その魅力と価値を発信します。そして，市民一人ひとりが豊かな心を育み，地域と世界をつなぐ国際交流などを通じて人材を育て，文化にふれあう交流発信のまちをつくりあげingことをめざします。

<②強みや魅力の維持・向上を>

ふじさわ未来課題

73 活気があり、開放的で温かいまちであること

【地域まちづくり目標】

12 活気あふれる元気な「まち」

【目標の背景・方向性】

駅前賑わいが遠くなりつつあるまち、善行。まちに活気を取り戻すには？

【成果指標】

①商店街各店舗を訪れる割合

【現状値】 ①59%

【めざそう値】 3年後：①60% 6年後：①67.5%

【役割の担い手】 ①A:21% B:13% C:19% D:19% E:8% F:15% G:5%

《地域まちづくり活動》

《活動-12》 出かけたくなるワクワク地域

<成果の視点> まちの玄関口である商店街が元気であること

新総合計画基本計画

湘南大庭地区 地域まちづくり計画

地域まちづくりのテーマ

住みたい、住み続けたいまち、湘南大庭

都市ビジョン1 市民の力が育てる生活充実都市

藤沢づくりのめざす方向性 1 地域自律型の「藤沢づくり」を育むまち

地域の歴史・文化や地域資源を活かして、地域に住み、働き、学ぶ人たちが協働して、地域から生み出す付加価値を享受するために、各地区ごとに個性のある地域経営を進めるとともに、行政は財政改革と行政改革を進めるとともに、新たな行政システムを構築し、市民、地域と協働して市民主体、地域自律型の「藤沢づくり」をめざします。

<①協働型の課題解決で価値向上へ>

ふじさわ未来課題

7 お互いがマナーを守り、助け合いの心で過ごせるまちであること

【地域まちづくり目標】

01 人と人がつながり、ご近所力が発揮されるまち

【目標の背景・方向性】

湘南大庭地区は湘南ライフタウンとして総合的なまちづくりによって様々な人たちが移り住んでまちが形成され、ニュータウンであるがゆえに、地縁意識や連帯意識に希薄な面も見受けられます。生活や活動の領域で暮らしやすさの実現や暮らしやすいまちづくり活動が実現されていると感じている人たちが多く、この魅力を更に伸ばしていくため、このまちの成熟にあわせた新たなコミュニケーションによる地域力を高めていく必要があります。みんなで助け合う共助のまちづくりを目指します。

【成果指標】

①地域活動に参加したことがある人の割合

【現状値】 ①43%

【めざそう値】 3年後：①50% 6年後：①57.5%

【役割の担い手】 ①A:20% B:16% C:20% D:10% E:16% F:17% G:1%

《地域まちづくり活動》

《活動-1》 あいさつ・声かけ運動の推進

<成果の視点> あいさつ・声かけ運動が活発に行われていること

藤沢づくりのめざす方向性 2 明日の藤沢を担う「藤沢の子どもたち」を育む環境

明日の藤沢を担う「藤沢の子どもたち」を育てていくため、安心して子どもを産み、育てられる生活環境や多様な教育ニーズへの対応、家庭・地域・学校の教育連携など、教育環境を持続・発展させることをめざします。

<①協働型の課題解決で価値向上へ>

ふじさわ未来課題

13 地域が子どもを見守り育てる環境であること

【地域まちづくり目標】

02 地域の育みがあり、親子が安心して健やかな子育てができるまち

【目標の背景・方向性】

湘南大庭地区の少子高齢化は急激に進んでいきます。子どもを育てる環境については充足されていると感じていますが、地域による環境整備やつながりが求められています。このためには、学校・家庭・地域の連携が重要で、地域交流の場における育みを協働していく仕組みづくりを進めていく必要があります。子育てに優しいまちづくりを目指します。

【成果指標】

①様々な活動団体が、子育てに関わっていると感じる人の割合

【現状値】 ①31%

【めざそう値】 3年後：①40% 6年後：①50%

【役割の担い手】 ①A:18% B:19% C:19% D:8% E:19% F:17% G:0%

《地域まちづくり活動》

《活動-2》 子育てに関する人の交流と情報交換の場の拡充

<成果の視点> 子育ての交流の場を利用する人が増えていること

藤沢づくりのめざす方向性 3 市民力・地域力による安全で安心して暮らせるまち

コミュニティを維持・発展させ、市民が一生安心して暮らせる保健・医療（介護）・福祉・健康などの生活環境と、犯罪や災害への不安解消などによる、安全で安心できる地域社会を創り上げることをめざします。また、病気の予防やスポーツなどを通じた身体的な健康のみならず、心も健やかであるために、生き生きと安心して暮らせる私たちの健康づくりをめざします。

<①協働型の課題解決で価値向上へ>

ふじさわ未来課題

23 福祉が充実し、子どもから高齢者まで守られていること

【地域まちづくり目標】

03 地域に根ざした身近な保健・福祉・医療・健康のあるまち

【目標の背景・方向性】

保健、医療、福祉、健康などの生活環境が整い暮らしやすいまちとしての魅力を持っています。急激な高齢化が進むにつれて地域内で完結できる保健・福祉・医療の充実を望む声が増えてきています。現在の環境を維持し、向上をさせていくためには、すべての世代を通じて地域に根ざした保健・福祉・医療の充実を図っていく必要があります。地域における様々な活動を高揚させ、それぞれの世代にあったいきいき健康のまちづくりを目指します。

【成果指標】

①健康づくりを支える環境が充実していると感じる人の割合

【現状値】 ①37%

【めざそう値】 3年後：①45% 6年後：①52.5%

【役割の担い手】 ①A:16% B:17% C:16% D:13% E:13% F:20% G:5%

《地域まちづくり活動》

《活動-3》 保健・福祉・医療が連携するネットワークの推進

<成果の視点> 保健・福祉・医療に関するサービスが充実していること

藤沢づくりのめざす方向性 4 共に生き、共に創る地域社会の創出

すべての市民が、差別や偏見を持つことなく、互いを認め合い、共に生き、働き、学ぶことができる豊かな生活環境を実現するため、それぞれの人権を尊重し、男女が共同で参画し、高齢者、若者なども積極的に参画できる、多文化が共生する穏やかな地域の社会環境を創り出すことをめざします。

<①協働型の課題解決で価値向上へ>

ふじさわ未来課題

31 社会的弱者の方が快適に過ごせるまちであること

【地域まちづくり目標】

04 誰でもが安心して暮らしやすいまち

【目標の背景・方向性】

安心・暮らしやすさは、それぞれの世代ごとで、それぞれのライフスタイルによって異なっています。湘南大庭地区の急激な高齢化の進展は、独居老人や高齢者世帯の増加が見込まれており、引きこもりなどの孤立化が懸念されています。様々なコミュニケーションの手段を持って交流を深め、そして助け合うことが必要となっています。子ども・年寄り・障がい者など誰でもが安心して暮らしやすいまちづくりを目指します。

【成果指標】

①地域に暮らしやすさを感じる人の割合

【現状値】 ①72%

【めざそう値】 3年後：①80% 6年後：①90%

【役割の担い手】 ①A:16% B:15% C:19% D:15% E:17% F:17% G:1%

《地域まちづくり活動》

《活動－4》 要援護者支援体制の推進

<成果の視点> 要援護者支援体制を整備した自治会が増えていること

《活動－5》 高齢者・障がい者が暮らしやすい環境の推進

<成果の視点> バリアフリー化が進んでいること

34 地域で支え合い暮らせる環境であること

【地域まちづくり目標】

05 地域の安全・安心を地域の活動で支え合えるまち

【目標の背景・方向性】

安全・安心のまちづくりは、地域の誰もが求めている重要なものです。しかし、求めているだけでは安全・安心のまちづくりは進みません。地域住民の誰もが自らの安全・安心を守り、そして、多くの人が参加できる活動の輪を広げていくことで安全・安心のまちづくりを目指します。

【成果指標】

①防犯パトロール参加者実績

【現状値】 ①20,290 人

【めざそう値】 3年後：①23,000 人 6年後：①25,000 人

【役割の担い手】 ①A:19% B:17% C:21% D:12% E:14% F:17% G:0%

《地域まちづくり活動》

《活動－6》 安全・安心のまちづくり実践活動の充実と推進

<成果の視点> 防犯活動・交通安全啓発活動・防災活動などが活発であること

【地域まちづくり目標】

06 地域の人々の顔と顔がわかるふれ合いのまち

【目標の背景・方向性】

地域の小学生を見守り、子どもたちとあいさつをすることで地域の子どもの顔がわかるようになったという声がかかります。あいさつを交わすことにより、同じ地域に住む人の顔がわかり、地域の連帯感が強まる効果が期待できます。また、防犯や災害時の助け合いにも効果が大きいと考えられます。住民のふれ合いが実感できるまちづくりを目指します。

【成果指標】

①近所の方に挨拶や声かけをしている人の割合

【現状値】 ①59%

【めざそう値】 3年後：①65% 6年後：①70%

【役割の担い手】 ①A:20% B:15% C:20% D:11% E:20% F:13% G:1%

《地域まちづくり活動》

《活動－7》 地域住民が多数参加するイベント・事業の充実

<成果の視点> イベントや活動などが自治会でも活発に行われていること

【地域まちづくり目標】

07 自治会と様々な地域まちづくり活動が連携してるまち

【目標の背景・方向性】

自治会は地域活動の基本となる組織です。しかしながら、殆どの自治会の役員は1年で交替となり自治会活動を活性化するための障害となっている面を持ち合わせています。地域団体との連携において、現在、年間2回、地域団体の活動を自治会に紹介する機会を設けているが、団体活動の中心は地域団体の構成員が中心であり、自治会との連携は難しい現状にあります。地域活動の拠点である自治会と地域団体との連携を強化することにより、さらに効果的な事業が展開できる、連携のまちづくりを目指します。

【成果指標】

①地域に支えられていると実感する人の割合

【現状値】 ①26%

【めざそう値】 3年後：①40% 6年後：①50%

【役割の担い手】 ①A:17% B:19% C:20% D:11% E:18% F:15% G:0%

《地域まちづくり活動》

《活動－8》 自治会と地域団体との連携事業の推進

<成果の視点> 様々な共催・連携事業が活発に行われていること

《活動－9》 地区防災活動事業（共助）の推進

<成果の視点> 防災訓練などの防災活動が活発に行われていること

藤沢づくりのめざす方向性 5 豊かな地域資源の次世代への継承・発展

藤沢の自然環境、景観、歴史・文化資産など、先人から引き継いできた地域固有の資源をさらに発展させ、次世代に継承することによって都市としてのアイデンティティを高め、地域資源を活かしたまちをつくることをめざします。

<②強みや魅力の維持・向上を>

ふじさわ未来課題

35 まちと自然環境の調和がとれていること

【地域まちづくり目標】

08 住民参加で自然環境が守られているまち

【目標の背景・方向性】

湘南大庭地区の生い立ちとして緑と街並みと暮らしの都市基盤が整ったまちづくりが行われました。このことがこの地区の大きな地域資源*1 としての魅力となっています。この地域資源を次世代に、そして未来に引き継いでいくことためには、市民力・地域力・行政力が協働して維持・向上を図っていく必要があります。自然と調和したまちづくりを目指します。

【成果指標】

①公園愛護会・美化ネット等の参加者数

【現状値】①2,757 人

【めざそう値】3年後：①2,800 人 6年後：①2,900 人

【役割の担い手】①A:16% B:20% C:18% D:12% E:13% F:20% G:1%

《地域まちづくり活動》

《活動-10》 花と緑あふれるまちづくり活動の推進

<成果の視点> 公園愛護会や美化ネットが積極的に活動していること

*1 地域資源：藤沢市内や各地域に存在する、自然環境や景観、文化や伝統、歴史、建造物、お祭り、団体や人的資源、大学や産業などを広い範囲で地域資源と呼んでいます。

藤沢づくりのめざす方向性 6 地球温暖化防止など未来の地球環境への投資

地球温暖化などの環境問題やエネルギー・食糧などの資源にかかわる課題について、地球規模の視点に立って地域で取り組み、持続可能なまちと低炭素社会をつくりあげていくことをめざします。また、地域の大学力や企業力を活かして、産学官による協働と連携によって、最先端の環境技術を生み出す産業構造や環境に優しい都市システムを創り出すことをめざします。

<②強みや魅力の維持・向上を>

ふじさわ未来課題

49 人々の環境への意識が高く、快適なまちであること

【地域まちづくり目標】

09 エコタウンの実現が地域力・市民力で実践されるまち

【目標の背景・方向性】

環境保全や環境美化など環境への意識と環境のまちへの思いが強く発揮されています。低炭素社会を目指した取り組みは、地球規模で始まっていますが、地域から発信する地域ぐるみのエコ対策への取り組みを進める必要があります。一人ひとりの小さなエコ活動から始まるエコタウンづくりを目指します。

【成果指標】

①ごみの分別や節電など環境を意識した行動をしている人の割合

【現状値】 ①73%

【めざそう値】 3年後：①80% 6年後：①87.5%

【役割の担い手】 ①A:19% B:14% C:18% D:15% E:15% F:19% G:0%

《地域まちづくり活動》

《活動-11》 CO2排出量削減に向けての啓蒙啓発活動の推進

<成果の視点> 地域での低炭素社会への理解が広がっていること

【地域まちづくり目標】

10 環境美化の向上が地域住民の高い意識で進められるまち

【目標の背景・方向性】

環境美化活動に対する行動として、ボランティア清掃など地域環境活動が自治会や個人のレベルで活発に実施されています。また、美化ネットや公園愛護会による花いっぱい運動も盛んに行われています。このような活動は、地域住民の交流の場としても機能しています。地域住民によるきれいなまちづくりを目指します。

【成果指標】

①地区内環境美化活動の実施回数

【現状値】 ①143件

【めざそう値】 3年後：①165件 6年後：①180件

【役割の担い手】 ①A:16% B:18% C:19% D:15% E:17% F:15% G:0%

《地域まちづくり活動》

《活動－12》 環境美化活動への参加の促進

<成果の視点> 地区内の環境美化活動が活発に行われていること

藤沢づくりのめざす方向性 7 「藤沢づくり」を支える都市構造の再構築と地域経済の活力再生

産業や生活の基盤を支える都市機能を強化していくために、新たな拠点地区の整備や連携する道路、鉄道等の公共交通、海上交通のネットワーク化など、土地利用の方向性も含んだ「新たな都市構造の再構築」をめざします。また、産業の活力を高め、雇用の機会を増やし地産地消の推進を図るため、市民、地域の持つ資源を活かしつつ、商業、工業、観光、農水産業など、市民力、地域力、大学力、企業力などの連携によって地域経済の活力再生をめざします。

<①協働型の課題解決で価値向上へ>

ふじさわ未来課題

57 すべての世代がのびのび・いきいきと活躍していること

【地域まちづくり目標】

11 若い人が住みたい、住み続けたいまち

【目標の背景・方向性】

地区内の現状を見ると、親の世代（第一世代）はこの地に永住することを決めていても、子の世代（第二世代）のほとんどは、湘南大庭を離れて暮らしているケースも多く見受けられます。高齢化が進む中で、まちが活気を取り戻すためには、第二世代が住み続けたいと思うような環境づくりが必要となっています。次世代が地区に戻って来たいまち、そして、若い人が住み続けたいまちづくりを目指します。

【成果指標】

①地域に住み続けたいと思う人の割合

【現状値】 ①67%

【めざそう値】 3年後：①75% 6年後：①85%

【役割の担い手】 ①A:17% B:10% C:20% D:18% E:15% F:20% G:0%

《地域まちづくり活動》

《活動－13》 住宅環境・生活利便性・子育て環境等の向上

<成果の視点> 地域に若い人の活気があふれていること

藤沢づくりのめざす方向性 8 公共資産の維持管理と有効活用

公有地などの公共的な保有資産の積極的な活用とともに、公共施設の集約・移転等により生じる跡地、施設の有効活用、地域ニーズに合った資産を活用します。そのためには、公共施設・都市基盤施設の老朽化の時期を見据えて、既存施設の保全、再構築、機能更新など、社会資本の有効活用と長寿命化をめざします。

<①協働型の課題解決で価値向上へ>

ふじさわ未来課題

71 多様な連携を通じて、市民が望むサービスが提供されていること

【地域まちづくり目標】

12 様々な公共的施設が誰からも親しまれ、守られ、活用されるまち

【目標の背景・方向性】

地区内の公共施設の利用率は決して高くない状況にあります。地域市民の家や自治会館などは、地域の財産として身近にあり、今後、活用の余地が高いと思われるこれらの施設を有効に活用する必要があります。また、高齢社会にも対応した様々なサービスの提供が図られる可能性を秘めています。地域の公共施設が住民連携により活発に活用されているまちづくりを目指します。

【成果指標】

①地域の公共施設を次世代のためによりよい状態で引き継げていると感じる人の割合

【現状値】 ①19%

【めざそう値】 3年後：①25% 6年後：①32.5%

【役割の担い手】 ①A:18% B:20% C:19% D:12% E:11% F:20% G:0%

《地域まちづくり活動》

《活動-14》 市民の家、自治会館等を利用した新たな地域コミュニティ活動の推進
<成果の視点> 公共施設の利用がより活発になっていること。

【地域まちづくり目標】

13 地域住民が活用できる憩いのある公園のあるまち

【目標の背景・方向性】

総合的なまちづくりが行われた湘南ライフタウンには、計画的に配置された公園が多くあります。しかしながら、公園利用のルール面から利用方法が限られている状況も見受けられます。一方で、地域住民からは、公園を活用して地域コミュニティの形成に役立てたいとの声も多く届いています。地区内の公園については、スポーツや地域イベントでの活用など、さらに有効活用する余地があります。公園が地域の交流拠点の一つとなるよう憩いの公園のあるまちづくりを目指します。

【成果指標】

①地域に、公園などの憩いのある場があると感じる人の割合

【現状値】 ①78%

【めざそう値】 3年後：①80% 6年後：①85%

【役割の担い手】 ①A:21% B:21% C:20% D:9% E:9% F:20% G:0%

《地域まちづくり活動》

《活動－15》 地域に親しまれ、憩える公園としての維持・整備・活用の推進
＜成果の視点＞ 身近な公園が活発に利用されていること。

藤沢づくりのめざす方向性 9 「藤沢ライフスタイル」と「湘南カルチャー」の創出

湘南の環境と文化，ブランド力などの地域の特性を活かした，魅力的な生活（「藤沢ライフスタイル」）や創造的な湘南の文化（「湘南カルチャー」）の創出をめざし，その魅力と価値を発信します。そして，市民一人ひとりが豊かな心を育み，地域と世界をつなぐ国際交流などを通じて人材を育て，文化にふれあう交流発信のまちをつくりあげることがめざします。

<①協働型の課題解決で価値向上へ>

ふじさわ未来課題

76 訪れる人・住む人に配慮した心遣いや工夫があること

【地域まちづくり目標】

14 湘南大庭のライフスタイルが感じられるまち

【目標の背景・方向性】

湘南大庭地区の整備された街並みと豊かな自然があることがこの地区の強みとなっています。バランスのとれた地域特性をさらに強調するとともに、地区内の文化や歴史を紹介する工夫や多様な趣味・特技を有する住民の協力を得て快適で文化の薫り高いまちづくりを目指します。

【成果指標】

①ライフスタイルが尊重されていると感じる人の割合

【現状値】 ①33%

【めざそう値】 3年後：①40% 6年後：①50%

【役割の担い手】 ①A:17% B:16% C:20% D:13% E:15% F:15% G:4%

《地域まちづくり活動》

《活動-16》 地域資源を活用した魅力ある事業の推進

<成果の視点> 各種イベントに訪れる人が年々増えていること

【地域まちづくり目標】

15 人に優しい交通アクセスによって訪れたい・住みたいまち

【目標の背景・方向性】

湘南大庭地区の公共交通網はバスが唯一の交通手段であり、時間の正確さや目的地への到着見込等が立てにくい現状にあります。このため、自動車利用も多いという現状にあると考えられています。これからの低炭素時代を迎えることも踏まえながら移動の質と自由が高まるような交通システムと道路のあり方を検討し、交通アクセスの充実したまちづくりを目指します。

【成果指標】

①交通利便性がよいと感じている人の割合

【現状値】 ①48%

【めざそう値】 3年後：①50% 6年後：①60%

【役割の担い手】 ①A:13% B:17% C:18% D:21% E:11% F:20% G:0%

《地域まちづくり活動》

《活動－17》 効率的でまちに優しい新たな交通システムの検討の促進

＜成果の視点＞ 地域住民の意見が十分に検討に活かされていること

新総合計画基本計画

六会地区 地域まちづくり計画

地域まちづくりのテーマ

素的なふるさと六会

都市ビジョン1 市民の力が育てる生活充実都市

藤沢づくりのめざす方向性 1 地域自律型の「藤沢づくり」を育むまち

地域の歴史・文化や地域資源を活かして、地域に住み、働き、学ぶ人たちが協働して、地域から生み出す付加価値を享受するために、各地区ごとに個性のある地域経営を進めるとともに、行政は財政改革と行政改革を進めるとともに、新たな行政システムを構築し、市民、地域と協働して市民主体、地域自律型の「藤沢づくり」をめざします。

<①協働型の課題解決で価値向上へ>

ふじさわ未来課題

7 お互いがマナーを守り、助け合いの心で過ごせるまちであること

【地域まちづくり目標】

01 みんなが公共のマナーを守るまち

【目標の背景・方向性】

自転車の運転・駐輪、ペットの飼育、ゴミ処理などの公共マナーを守り、六会のまちから迷惑行為をなくしていきます。

【成果指標】

①公共のマナーが守られていると感じている人の割合

【現状値】 ①22%

【めざそう値】 3年後：①35% 6年後：①50%

【役割の担い手】 ①A:19% B:16% C:17% D:13% E:13% F:17% G:1%

《地域まちづくり活動》

《活動-1》 迷惑行為撲滅活動の推進

<成果の視点> 地域から迷惑行為がなくなっていること

《活動-2》 歩行者、自転車、車の通行ルール遵守活動の推進

<成果の視点> みんなが交通ルールを守り安全に移動できること

藤沢づくりのめざす方向性 2 明日の藤沢を担う「藤沢の子どもたち」を育む環境

明日の藤沢を担う「藤沢の子どもたち」を育てていくため、安心して子どもを産み、育てられる生活環境や多様な教育ニーズへの対応、家庭・地域・学校の教育連携など、教育環境を持続・発展させることをめざします。

<②強みや魅力の維持・向上を>

ふじさわ未来課題

9 子どもを安心して育てられる環境があること

(関連未来課題 14)

【地域まちづくり目標】

02 子どもたちがのびのびと育っているまち

【目標の背景・方向性】

産み育てる環境、緑に親しめる遊びの場、地域と学校の連携で教え学ぶ環境が整うことで、子どもたちがのびのびと育っていきます。

【成果指標】

①子どもたちがのびのびと育つ環境が整っていると感じている人の割合

【現状値】 ①31%

【めざそう値】 3年後：①40% 6年後：①50%

【役割の担い手】 ①A:21% B:13% C:16% D:10% E:20% F:19% G:1%

《地域まちづくり活動》

《活動-3》 身近で安心して子どもを産み育てやすい環境づくりの推進

<成果の視点> 安心して子どもを産み育てられる環境が整っていること

《活動-4》 子どもたちが安心して遊べる環境の充実

<成果の視点> 子どもたちが安全で安心して遊べる環境が整っていること

《活動-5》 子どもたちの個々の能力を引き出し、高める教育の充実

<成果の視点> 教育環境が充実していること

藤沢づくりのめざす方向性 3 市民力・地域力による安全で安心して暮らせるまち

コミュニティを維持・発展させ、市民が一生安心して暮らせる保健・医療（介護）・福祉・健康などの生活環境と、犯罪や災害への不安解消などによる、安全で安心できる地域社会を創り上げることをめざします。また、病気の予防やスポーツなどを通じた身体的な健康のみならず、心も健やかであるために、生き生きと安心して暮らせる私たちの健康づくりをめざします。

<①協働型の課題解決で価値向上へ>

ふじさわ未来課題

23 福祉が充実し、子どもから高齢者まで守られていること

【地域まちづくり目標】

03 全ての世代がいきいきと活躍しているまち

【目標の背景・方向性】

健全者でも障がいがあっても一人一人が大切にされることで、自らが生きがいを見だし、いきいきと暮らしていかれるようになります。

【成果指標】

①全ての世代がいきいきと活躍していると感じている人の割合

【現状値】 ①19%

【めざそう値】 3年後：①30% 6年後：①45%

【役割の担い手】 ①A:20% B:16% C:17% D:12% E:13% F:20% G:1%

《地域まちづくり活動》

《活動－6》 コミュニティビジネスの創出

<成果の視点> 地域のコミュニティビジネスが充実していること

《活動－7》 高齢者や障がい者がいらっしゃる家庭への支援の充実

<成果の視点> 高齢者や障がいの方が暮らしやすいと感じていること

《活動－8》 高齢者が活躍できる環境づくりの推進

<成果の視点> 高齢者が持っている能力を活かし、活躍できる環境が整っていること

藤沢づくりのめざす方向性 4 共に生き、共に創る地域社会の創出

すべての市民が、差別や偏見を持つことなく、互いを認め合い、共に生き、働き、学ぶことができる豊かな生活環境を実現するため、それぞれの人権を尊重し、男女が共同で参画し、高齢者、若者なども積極的に参画できる、多文化が共生する穏やかな地域の社会環境を創り出すことをめざします。

<①協働型の課題解決で価値向上へ>

ふじさわ未来課題

34 地域で支え合い暮らせる環境であること

(関連未来課題 24)

【地域まちづくり目標】

04 地域で支え合うあたたかいまち

【目標の背景・方向性】

あいさつや声掛けで作るコミュニケーションで、他人（ひと）を思いやる心やお互いに支え合う信頼関係を育み、地域活動やボランティア活動による連帯・連携の輪を広げ、災害に強く犯罪のないまちにします。

【成果指標】

①地域で支え合っていると感じている人の割合

【現状値】 ①28%

【めざそう値】 3年後：①35% 6年後：①45%

【役割の担い手】 ①A:18% B:17% C:20% D:11% E:16% F:17% G:1%

《地域まちづくり活動》

《活動-9》 地域の人たちの連帯感と信頼関係醸成活動の推進

<成果の視点> 地域の人たちが信頼感を持って生活していること

《活動-10》 ボランティア活動の推進

<成果の視点> 地域でボランティアが育ち活発な活動が行われていること

《活動-11》 六会日大前駅周辺のにぎわいの創出

<成果の視点> 街のにぎわいがあふれていること

《活動-12》 地域目と声で創る防犯活動の推進

<成果の視点> 防犯パトロールや声掛けで、犯罪のないまちにすること

《活動-13》 とともに助け合う災害への備えの充実

<成果の視点> お互いに支え合う連帯と信頼関係の中で、災害への備えができていくこと

藤沢づくりのめざす方向性 5 豊かな地域資源の次世代への継承・発展

藤沢の自然環境、景観、歴史・文化資産など、先人から引き継いできた地域固有の資源をさらに発展させ、次世代に継承することによって都市としてのアイデンティティを高め、地域資源^{*1}を活かしたまちをつくることをめざします。

<①協働型の課題解決で価値向上へ>

ふじさわ未来課題

37 市民、地域、行政が協力し、快適な生活が実現していること

【地域まちづくり目標】

05 豊かな自然と文化を守り育てるまち

【目標の背景・方向性】

六会の緑豊かな自然、名所・旧跡は先人が遺した貴重な財産です。これを大切に守り、次の時代へ引き継いでいきます。

【成果指標】

- ①自然が大切にされていると感じている人の割合
- ②文化が大切にされていると感じている人の割合

【現状値】 ①36% ②15%

【めざそう値】 3年後：①47.5% ②22.5% 6年後：①55% ②30%

【役割の担い手】 ①A:15% B:16% C:18% D:16% E:13% F:19% G:2%
②A:15% B:18% C:16% D:15% E:15% F:19% G:1%

《地域まちづくり活動》

《活動-14》 自然、景観の保全

<成果の視点> 地域の自然環境や暮らしやすい街の景観が維持されていること

《活動-15》 文化的史跡の保全

<成果の視点> 地域の伝統や文化が継承されていること

藤沢づくりのめざす方向性 6 地球温暖化防止など未来の地球環境への投資

地球温暖化などの環境問題やエネルギー・食糧などの資源にかかわる課題について、地球規模の視点に立って地域で取り組み、持続可能なまちと低炭素社会をつくりあげることがめざします。また、地域の大学力や企業力を活かして、産学官による協働と連携によって、最先端の環境技術を生み出す産業構造や環境に優しい都市システムを創り出すことをめざします。

<①協働型の課題解決で価値向上へ>

ふじさわ未来課題

47 みんなが協力して、いつでもまちがきれいであること

【地域まちづくり目標】

06 みんなでつくろう きれいなまち

【目標の背景・方向性】

緑いっぱい、花いっぱい、きれいな街並みは六会の夢と希望です。みんなで取り組むエコ活動は六会から始める地球温暖化防止への第一歩です。

【成果指標】

①きれいなまちであると感じている人の割合

【現状値】 ①37%

【めざそう値】 3年後：①50% 6年後：①60%

【役割の担い手】 ①A:17% B:15% C:18% D:14% E:16% F:18% G:1%

《地域まちづくり活動》

《活動-16》 エコタウンむつあいの実現

<成果の視点> エコ活動が地域全体で取り組まれていること

《活動-17》 住民による自主清掃活動の推進

<成果の視点> みんなが地域の環境に関心をもち自ら行動していること

《活動-18》 地域の美化活動の推進

<成果の視点> 緑や花などによって街並みがきれいであること

藤沢づくりのめざす方向性 7 「藤沢づくり」を支える都市構造の再構築と地域経済の活力再生

産業や生活の基盤を支える都市機能を強化していくために、新たな拠点地区の整備や連携する道路、鉄道等の公共交通、海上交通のネットワーク化など、土地利用の方向性も含んだ「新たな都市構造の再構築」をめざします。また、産業の活力を高め、雇用の機会を増やし地産地消の推進を図るため、市民、地域の持つ資源を活かしつつ、商業、工業、観光、農水産業など、市民力、地域力、大学力、企業力などの連携によって地域経済の活力再生をめざします。

<③より効率的に価値の維持を>

ふじさわ未来課題

65 市内の交通・物流がスムーズに行われること

【地域まちづくり目標】

07 生活しやすい交通環境ができています

【目標の背景・方向性】

小田急線を挟んでの東西交通の不便さや交通不便地区の解消を進め、高齢者、障がい者も安心して通行できるバリアフリーな道をつくり、生活しやすい交通環境を整えます。

【成果指標】

- ①誰にも歩きやすい道路であると感じている人の割合
- ②道路や踏切が、通行するのに危ないと感じている人の割合
- ③道路や交通機関など、外出しやすい環境が整っていると感じている人の割合

【現状値】 ①21% ②55% ③35%

【めざそう値】 3年後：①30% ②47.5% ③40% 6年後：①50%
②37.5% ③47.5%

【役割の担い手】 ①A:16% B:13% C:21% D:16% E:11% F:23% G:0%
②A:13% B:10% C:20% D:16% E:15% F:26% G:0%
③A:12% B:14% C:16% D:19% E:14% F:25% G:2%

《地域まちづくり活動》

《活動-19》 高齢者、障がい者も安心して通行できる交通環境づくりの推進

<成果の視点> 誰もが安心して移動できる街であること

《活動-20》 交通の利便性と安全性の充実

<成果の視点> 誰もが安全に移動できヒヤリハットがない街であること

藤沢づくりのめざす方向性 8 公共資産の維持管理と有効活用

公有地などの公共的な保有資産の積極的な活用とともに、公共施設の集約・移転等により生じる跡地、施設の有効活用、地域ニーズに合った資産を活用します。そのためには、公共施設・都市基盤施設の老朽化の時期を見据えて、既存施設の保全、再構築、機能更新など、社会資本の有効活用と長寿命化をめざします。

<①協働型の課題解決で価値向上へ>

ふじさわ未来課題

71 多様な連携を通じて、市民が望むサービスが提供されていること

【地域まちづくり目標】

08 市民センターによる効率的なサービス提供がされるまち

【目標の背景・方向性】

地域の拠り所となる市民センターの早期建設を推進し、地域の望む多様なサービスを提供できる拠点とします。

【成果指標】

①多機能な市民センターを身近に感じている人の割合

【現状値】 ①15%

【めざそう値】 3年後：①30% 6年後：①50%

【役割の担い手】 ①A:12% B:18% C:20% D:13% E:13% F:25% G:0%

《地域まちづくり活動》

《活動-21》 市民センターを中心とした多機能化の推進

<成果の視点> 地域の人たちの意見が建て替え計画に十分反映されていること

《活動-22》 公共資産の有効活用の推進

<成果の視点> 公共施設などが地域の人たちに十分活用されていること

藤沢づくりのめざす方向性 9 「藤沢ライフスタイル」と「湘南カルチャー」の創出

湘南の環境と文化，ブランド力などの地域の特性を活かした，魅力的な生活（「藤沢ライフスタイル」）や創造的な湘南の文化（「湘南カルチャー」）の創出をめざし，その魅力と価値を発信します。そして，市民一人ひとりが豊かな心を育み，地域と世界をつなぐ国際交流などを通じて人材を育て，文化にふれあう交流発信のまちをつくりあげることがめざします。

<①協働型の課題解決で価値向上へ>

ふじさわ未来課題

79 市民の意識が高く、市民参加型の地域づくりが進んでいること

【地域まちづくり目標】

09 住んでいることを自慢できるまち

【目標の背景・方向性】

地域の人一人ひとりがまちづくりの主役です。住んでよかった、いつまでも住み続けたい六会のまちにします。

【成果指標】

①六会を自慢できる人の割合

【現状値】 ①52%

【めざそう値】 3年後：①60% 6年後：①70%

【役割の担い手】 ①A:15% B:16% C:17% D:14% E:14% F:18% G:6%

《地域まちづくり活動》

《活動-23》 地域活動情報受発信の充実

<成果の視点> 誰もが容易に地域の情報を受発信できること

《活動-24》 地区内団体との連携をベースにした地域経営会議の充実

<成果の視点> 誰もが住み続けたいと思う地域であること

新総合計画基本計画

湘南台地区 地域まちづくり計画

地域まちづくりのテーマ

川と緑に囲まれ、豊かな居住環境あふれる文化創造のまち湘南台

都市ビジョン1 市民の力が育てる生活充実都市

藤沢づくりのめざす方向性 1 地域自律型の「藤沢づくり」を育むまち

地域の歴史・文化や地域資源を活かして、地域に住み、働き、学ぶ人たちが協働して、地域から生み出す付加価値を享受するために、各地区ごとに個性のある地域経営を進めるとともに、行政は財政改革と行政改革を進めるとともに、新たな行政システムを構築し、市民、地域と協働して市民主体、地域自律型の「藤沢づくり」をめざします。

<②強みや魅力の維持・向上を>

ふじさわ未来課題

5 地域で協働して、暮らしやすいまちづくり活動が行われていること

(関連未来課題 7)

【地域まちづくり目標】

01 幅広い年齢層が声を掛け合い、地域活動に参加するまち

【目標の背景・方向性】

湘南台は、鉄道3線が乗り入れ、1日の乗降客が約15万人を超えるターミナル駅です。湘南台地区の西には、いすゞ自動車や桐原工業団地などの工業集積があり、多くの従業者が湘南台駅を利用しています。また、多摩大学、慶應大学湘南藤沢キャンパス、湘南台高校などの最寄り駅として、多くの若者が湘南台駅を利用しています。このように、湘南台は、地域住民以外に多くの通勤・通学をはじめとする様々な人が行き交うまちとなっています。

そのため、若者や学生、来街者を含め様々な人が地域の活動に参加し、相互に協力することにより、暮らしやすい湘南台のまちを築くことをめざします。

【成果指標】

①地区が暮らしやすいと感じている人の割合

【現状値】 ①58%

【めざそう値】 3年後：①63% 6年後：①69%

【役割の担い手】 ①A:17% B:16% C:18% D:15% E:13% F:18% G:3%

《地域まちづくり活動》

《活動-1》 若者、学生、来街者を含め、いろいろな人の参加交流の促進

<成果の視点> 住民の地域活動への参加が盛んなこと

《活動-2》 企業と住民との間の情報やイベントの交流促進

<成果の視点> 企業と住民間の交流が盛んなこと

藤沢づくりのめざす方向性 2 明日の藤沢を担う「藤沢の子どもたち」を育む環境

明日の藤沢を担う「藤沢の子どもたち」を育てていくため、安心して子どもを産み、育てられる生活環境や多様な教育ニーズへの対応、家庭・地域・学校の教育連携など、教育環境を持続・発展させることをめざします。

<②強みや魅力の維持・向上を>

ふじさわ未来課題

9 子どもを安心して育てられる環境があること

(関連未来課題 26)

【地域まちづくり目標】

02 安心して子育てができるまち

【目標の背景・方向性】

湘南台の高齢化率は15%台であり、市内13地区の中では最も高齢化率が低いまちです。地域住民の高齢化は進んでいる一方で、湘南台地区の人口増加数は市内で最も多く、若い人が多く住むまちでもあります。

そのため、地域が一体となって子育てを支え、働く人も安心して子育てしやすいまちづくりを進めます。

【成果指標】

①幼稚園、保育園などの施設に関する満足度

②子育てしやすいまちだと感じる人の割合

【現状値】①23% ②30%

【めざそう値】3年後：①30% ②35% 6年後：①35% ②40%

【役割の担い手】①A:13% B:14% C:11% D:13% E:24% F:25% G:0%

②A:17% B:14% C:15% D:11% E:20% F:21% G:2%

《地域まちづくり活動》

《活動-3》 保育や医療などの子育て環境の充実

<成果の視点> 子育てを支援する社会資源が整っていること

ふじさわ未来課題

13 地域が子どもを見守り育てる環境であること

(関連未来課題 14・24)

【地域まちづくり目標】

03 子どもたちが安全に暮らせるまち

【目標の背景・方向性】

子どもをねらった犯罪や子どもが被害に遭う犯罪の発生が後を絶たない社会状況の中で、湘南台地区でも日頃から地域住民により防犯活動が継続して行われています。これをさらに充実するためには、地域ぐるみの取り組みが不可欠です。

そのためには、子どもを取り巻く湘南台の様々な団体が相互に力を合わせて、子どもが安全に暮らせるまちを築きます。

【成果指標】

- ①地域の子どもの安全に暮らすことができていると思う人の割合
- ②地域の様々な活動団体が、子育てに関わっていると感じる人の割合

【現状値】 ①23% ②24%

【めざそう値】 3年後：①30% ②30% 6年後：①40% ②40%

【役割の担い手】 ①A:18% B:14% C:17% D:11% E:18% F:18% G:4%
②A:17% B:17% C:17% D:13% E:18% F:18% G:0%

《地域まちづくり活動》

《活動－4》 地域で見守り育てる環境の推進

<成果の視点> 子どもの安全を守る環境が整っていること

《活動－5》 地域活動に子どもや若者が参加し、一緒に楽しむ環境の推進

<成果の視点> 子どもが参加できる地域活動が盛んなこと

ふじさわ未来課題

16 子どもたちが身近な生活の中で自然を感じていられること

【地域まちづくり目標】

04 子どもが自然とともに育つまち

【目標の背景・方向性】

子どもたちが身近に自然を感じ、様々な自然の中での体験活動を行い、自然とともに生活することは、豊かな人間性を築くために大切なことです。湘南台には、駅周辺の都市環境とともに公園や川などの豊かな自然が残されています。

そのため、自然環境の魅力を子どもたちに伝え、子どもたちが自然とともに育つまちをめざします。

【成果指標】

- ①地域の自然環境が豊かであると感じる人の割合

【現状値】 ①46%

【めざそう値】 3年後：①52% 6年後：①60%

【役割の担い手】 ①A:14% B:17% C:18% D:13% E:12% F:23% G:3%

《地域まちづくり活動》

《活動－6》 子ども達への環境教育の推進

<成果の視点> 子どもたちの環境意識を高める活動が盛んなこと

藤沢づくりのめざす方向性 3 市民力・地域力による安全で安心して暮らせるまち

コミュニティを維持・発展させ、市民が一生安心して暮らせる保健・医療（介護）・福祉・健康などの生活環境と、犯罪や災害への不安解消などによる、安全で安心できる地域社会を創り上げることをめざします。また、病気の予防やスポーツなどを通じた身体的な健康のみならず、心も健やかであるために、生き生きと安心して暮らせる私たちの健康づくりをめざします。

<②強みや魅力の維持・向上を>

ふじさわ未来課題

17 保健、医療、福祉、健康などの生活環境が整い暮らしやすいこと

【地域まちづくり目標】

05 高齢者も障がい者も安心して暮らせるまち

【目標の背景・方向性】

様々なハンディキャップを持つ人が安心して暮らせるためには、多くの支援が必要です。湘南台にも様々な医療や福祉の施設や団体があり、必要なサービスを提供し、支援を行っています。こうしたサービス等は、相互に連携することにより、より大きな力を発揮します。

そのため高齢者や障がい者の暮らしの安心を実現するために、湘南台が有する様々な地域資源*1が相互に連携することを進めます。

【成果指標】

①お年寄りや障がいをもった方に配慮されたまちであると感じる人の割合

②身近で健康づくりを支える環境が充実していると感じる人の割合

【現状値】 ①23% ②24%

【めざそう値】 3年後：①30% ②30% 6年後：①44% ②40%

【役割の担い手】 ①A:19% B:15% C:19% D:11% E:11% F:20% G:5%

②A:17% B:16% C:14% D:14% E:17% F:21% G:1%

《地域まちづくり活動》

《活動－7》 医療（病院）と福祉（介護施設）のネットワークの推進

<成果の視点> 高齢者や障がい者が身近な場所で相談できること

《活動－8》 地域防災体制の充実

<成果の視点> 災害に対する備えができていること

*1 地域資源：藤沢市内や各地域に存在する、自然環境や景観、文化や伝統、歴史、建造物、お祭り、団体や人的資源、大学や産業などを広い範囲で地域資源と呼んでいます。

ふじさわ未来課題

19 治安の良い環境であること

【地域まちづくり目標】

06 夜間でも安全に歩行できるまち

【目標の背景・方向性】

湘南台のまちは、駅周辺や幹線道路沿いを除くと全体的に暗い印象があります。そのため住宅街の生活道路には積極的に防犯灯を設置するなどして、安全な環境づくりを行ってきました。今後も、夜間でも安全に歩行できる明るい環境づくりをさらに進めます。

【成果指標】

- ①夜間でも安全に歩行できると感じる人の割合
- ②犯罪発生件数

【現状値】 ①22% ②600件

【めざそう値】 3年後：①30% ②500件 6年後：①40% ②400件

【役割の担い手】 ①A:17% B:15% C:19% D:13% E:12% F:20% G:4%

②A:17% B:14% C:17% D:11% E:13% F:19% G:9%

《地域まちづくり活動》

《活動－9》 街路照明等による明るい環境の推進
<成果の視点> 湘南台のまちが明るくなること

【地域まちづくり目標】

07 地域で声を掛け合い犯罪に遭わないまち

【目標の背景・方向性】

繁華街を有する湘南台は、藤沢駅周辺に次いで相対的に犯罪件数が多いまちです。日頃の防犯活動の成果もあり、犯罪の発生件数は、年々減少していますが、今後も犯罪をなくすことをめざした取り組みが必要になっています。犯罪を減らし、地域住民が犯罪に遭わないまちを築くため、犯罪を未然に防止する地域の抑止力を高める活動を進めます。

【成果指標】

- ①過去一年間に、湘南台地区で犯罪の危険を感じたことがある人の割合（地区全体）
- ②過去一年間に、湘南台駅周辺で、犯罪の危険を感じたことがある人の割合（駅周辺）
- ③犯罪発生件数

【現状値】 ①27% ②26% ③600件

【めざそう値】 3年後：①20% ②20% ③500件 6年後：①18%

②15% ③400件

【役割の担い手】 ①A:16% B:15% C:18% D:13% E:16% F:20% G:2%

②A:15% B:13% C:19% D:11% E:14% F:18% G:10%

③A:17% B:14% C:17% D:11% E:13% F:19% G:9%

《地域まちづくり活動》

《活動－10》 様々な条件の人が参加できる防犯活動の推進
<成果の視点> 防犯活動が活発なこと

藤沢づくりのめざす方向性 4 共に生き、共に創る地域社会の創出

すべての市民が、差別や偏見を持つことなく、互いを認め合い、共に生き、働き、学ぶことができる豊かな生活環境を実現するため、それぞれの人権を尊重し、男女が共同で参画し、高齢者、若者なども積極的に参画できる、多文化が共生する穏やかな地域の社会環境を創り出すことをめざします。

<①協働型の課題解決で価値向上へ>

ふじさわ未来課題

30 お互いにマナーを守り、協力して地域のために活動していること

【地域まちづくり目標】

08 みんなが交通ルールを守り、安全に生活できるまち

【目標の背景・方向性】

湘南台地区は、交通機関や幹線道路の結節点であり、多くの人や車両が行き交います。このような湘南台で、安全に生活できるまちだと体感できるようになるためには、みんなが基本的な社会規範である交通ルールを守る事が重要です。そのため、お互いにルールやマナーを守り、安全に生活できる地域社会づくりを進めます。また、湘南台は、横浜市と隣接する地区であり、多くの車両が生活道路等を利用して区内を通過するために流入します。このため、市外のドライバーに対するマナー向上の取り組み、及び多くの通過交通に対応した道路環境の充実が必要になっています。

【成果指標】

- ①藤沢北警察署管内の交通事故発生件数
- ②藤沢北警察署管内の交通違反件数
- ③住民の交通ルールは守られていると感じる人の割合

【現状値】 ①1,098件 ②19,124件 ③32%

【めざそう値】 3年後：①850件 ②15,000件 ③40% 6年後：①700件
②10,000件 ③50%

【役割の担い手】 ①A:21% B:12% C:13% D:11% E:15% F:20% G:8%
②A:23% B:10% C:13% D:12% E:13% F:21% G:8%
③A:20% B:13% C:13% D:11% E:14% F:19% G:10%

《地域まちづくり活動》

《活動-11》 誰でも安全に通行できる道路環境の充実

<成果の視点> 道路環境が安全な状態にあること

《活動-12》 交通ルールを守る意識啓発の推進

<成果の視点> 住民の交通ルールを守る意識が高いこと

ふじさわ未来課題

31 社会的弱者の方が快適に過ごせるまちであること

【地域まちづくり目標】

09 高齢者や障がい者にやさしいまち

【目標の背景・方向性】

湘南台地区の歩道は、バリアフリー化を進め、高齢者や障がい者にも歩行しやすい環境づくりを進めてきました。高齢者や障がい者にやさしいまちを築くためには、ハード面の整備とともに、思いやりのある地域コミュニティを築く必要があります。そのためには、地域で見守り、交流ができるしくみづくりや環境づくりを進めます。

【成果指標】

①お年寄りや障がいをもった方に配慮されたまちであると感じる人の割合

【現状値】 ①23%

【めざそう値】 3年後：①31.5% 6年後：①50%

【役割の担い手】 ①A:18% B:19% C:17% D:13% E:14% F:19% G:0%

《地域まちづくり活動》

《活動-13》 高齢者も障がい者もいつでも誰でも楽しく集える環境の充実

<成果の視点> 高齢者や障がい者の居場所があること

<④熟慮と根拠ある未来戦略を>

ふじさわ未来課題

29 いろいろな世代、いろいろな国の人たちと交流できること

【地域まちづくり目標】

10 様々な人がお互いに尊重し、協力し合い、安心して暮らせるまち

【目標の背景・方向性】

湘南台地区には、市内に約6,000人住む外国人のうちの約1,100人が住んでいます。文化や生活習慣が異なる様々な人が地域で仲良く生活するため、区内居住者、短期滞在者、留学生などが相互に理解し、交流するためのしくみづくりなどを進めます。

【成果指標】

①外国の人にとって、暮らしやすいまちであると感じている人の割合

【現状値】 ①16%

【めざそう値】 3年後：①27.5% 6年後：①40%

【役割の担い手】 ①A:16% B:17% C:17% D:14% E:17% F:18% G:1%

《地域まちづくり活動》

《活動-14》 異文化理解や外国人への支援の推進

<成果の視点> 外国人への支援活動が活発であること

《活動-15》 多言語メディアによる広報の充実

<成果の視点> 外国人にも情報が伝わること

《活動-16》 多文化共生をはじめ新しい文化の創造

<成果の視点> 日本人と外国籍市民との交流が活発なこと

藤沢づくりのめざす方向性 5 豊かな地域資源の次世代への継承・発展

藤沢の自然環境、景観、歴史・文化資産など、先人から引き継いできた地域固有の資源をさらに発展させ、次世代に継承することによって都市としてのアイデンティティを高め、地域資源を活かしたまちをつくることをめざします。

<①協働型の課題解決で価値向上へ>

ふじさわ未来課題

45 地域の未来の担い手が育成されていること

【地域まちづくり目標】

11 いろいろな世代の人が交流する場が豊富にあるまち

【目標の背景・方向性】

湘南台地区は若者が多いまちです。こうした若い世代と様々な世代の人達が日頃から地域活動に参加し、ふれあうためには、交流する場が必要です。そのため、次代を担う青少年をはじめ、様々な世代の人がふれあい、交流する場づくりを進めます。

【成果指標】

- ①地域に支えられていると実感することがある人の割合
- ②コミュニティルーム登録団体数
- ③コミュニティルームの利用率（稼働率）

【現状値】 ①18% ②6団体 ③23%

【めざそう値】 3年後：①23.5% ②10団体 ③30% 6年後：①30%
②12団体 ③40%

【役割の担い手】 ①A:17% B:16% C:19% D:12% E:17% F:19% G:0%
②A:14% B:20% C:20% D:11% E:11% F:22% G:2%
③A:13% B:20% C:20% D:11% E:11% F:21% G:4%

《地域まちづくり活動》

《活動-17》 市民活動団体相互の交流の推進

<成果の視点> 交流活動が活発に行われていること

《活動-18》 若い世代の地域活動への参加促進

<成果の視点> 若者が主体的に参加する事業が活発なこと

【地域まちづくり目標】

12 様々なまちづくり団体が連携して活動し、地域を支える人材が育つまち

【目標の背景・方向性】

湘南台地区は、大学生などの若者が地域の住民、団体、商店街などとともに、大変活発な地域活動を行ってきました。こうした経験を生かし、さらに発展させていくため、様々な団体がより一層連携し、さらに多様な活動の機会を提供するとともに、人材育成を推進するしくみづくりを進めます。

【成果指標】

①地域の未来を担う担い手が育っていると感じる人の割合

【現状値】 ①12%

【めざそう値】 3年後：①18% 6年後：①30%

【役割の担い手】 ①A:18% B:15% C:17% D:13% E:17% F:18% G:2%

《地域まちづくり活動》

《活動－19》 地域を支える人材育成の推進

<成果の視点> 地域活動に参加したい人が増えること

藤沢づくりのめざす方向性 6 地球温暖化防止など未来の地球環境への投資

地球温暖化などの環境問題やエネルギー・食糧などの資源にかかわる課題について、地球規模の視点に立って地域で取り組み、持続可能なまちと低炭素社会をつくりあげることがめざします。また、地域の大学力や企業力を活かして、産学官による協働と連携によって、最先端の環境技術を生み出す産業構造や環境に優しい都市システムを創り出すことをめざします。

<①協働型の課題解決で価値向上へ>

ふじさわ未来課題

49 人々の環境への意識が高く、快適なまちであること

(関連未来課題 37・48・66)

【地域まちづくり目標】

13 住民の環境への意識が高く、豊かな自然環境と調和したまち

【目標の背景・方向性】

湘南台地区には、境川・引地川の両河川や湘南台・円行公園などの豊かな自然環境が残されています。一方、湘南台駅周辺は都市化されており、こうした都市と自然の調和したまちを築いていくためには、日頃から環境問題に対する意識を高める活動を推進します。また、地域や家庭でできる地球温暖化防止活動の取り組みを推進します。

【成果指標】

- ①地域の自然環境が豊かであると感じる人の割合
- ②ごみの分別や節電など環境を意識した行動をしている人の割合

【現状値】 ①46% ②66%

【めざそう値】 3年後：①50% ②70% 6年後：①60% ②80%

【役割の担い手】 ①A:15% B:18% C:17% D:14% E:14% F:20% G:2%

②A:23% B:13% C:18% D:14% E:14% F:18% G:0%

《地域まちづくり活動》

《活動－20》 住民の環境意識の向上への取り組みの促進

<成果の視点> 地環境美化活動が活発なこと

《活動－21》 良好な自然環境の保全と緑化の促進

<成果の視点> 自然環境保全活動が活発なこと

《活動－22》 地域・家庭での地球温暖化防止への取り組みの推進

<成果の視点> 地球温暖化防止活動が活発なこと

藤沢づくりのめざす方向性 7 「藤沢づくり」を支える都市構造の再構築と地域経済の活力再生

産業や生活の基盤を支える都市機能を強化していくために、新たな拠点地区の整備や連携する道路、鉄道等の公共交通、海上交通のネットワーク化など、土地利用の方向性も含んだ「新たな都市構造の再構築」をめざします。また、産業の活力を高め、雇用の機会を増やし地産地消の推進を図るため、市民、地域の持つ資源を活かしつつ、商業、工業、観光、農水産業など、市民力、地域力、大学力、企業力などの連携によって地域経済の活力再生をめざします。

<①協働型の課題解決で価値向上へ>

ふじさわ未来課題

63 地域の人材が働ける機会を創造すること

【地域まちづくり目標】

14 地域貢献する企業と地域と一緒に活動するまち

【目標の背景・方向性】

湘南台地区は、商工業の従業者数が市内でも多いまちです。そのため、企業も地域社会の一員ととらえ、企業の地域貢献や住民との交流を通して、企業と地域と一緒に活動するまちをめざします。

【成果指標】

①地区内の企業が地域貢献していると感じる人の割合

②企業と地域と一緒に活動する事業数

【現状値】 ①27% ②4件

【めざそう値】 3年後：①30% ②5件 6年後：①35% ②8件

【役割の担い手】 ①A:8% B:15% C:12% D:25% E:8% F:21% G:11%

②A:9% B:17% C:13% D:30% E:7% F:19% G:5%

《地域まちづくり活動》

《活動-23》 住民と企業の参加・交流の推進

<成果の視点> 住民と企業の交流が増えること

《活動-24》 企業の地域貢献が活発化する施策の推進

<成果の視点> 企業の地域貢献が活発化すること

<④熟慮と根拠ある未来戦略を>

ふじさわ未来課題

62 産業の活力を高め、地域が元気になること

(関連未来課題 64)

【地域まちづくり目標】

15 楽しく集い、ほしい物が身近に揃うまち

【目標の背景・方向性】

湘南台地区まちづくりアンケートでは、食料品や日常生活用品の買い物は地元で充足していますが、さらに魅力ある専門店などを求める意見が多くなっています。住民のニーズに応えられるよう、地元商店街の魅力を高めることにより、地域経済の活性化を図る施策を推進します。

【成果指標】

- ①地元商店街を利用する人の割合
- ②地元商店街に対する住民の満足度

【現状値】 ①8% ②38%

【めざそう値】 3年後：①15% ②42.5% 6年後：①30% ②49.5%

【役割の担い手】 ①A:17% B:12% C:14% D:22% E:6% F:21% G:8%
②A:15% B:14% C:15% D:22% E:9% F:20% G:5%

《地域まちづくり活動》

《活動-25》 消費者ニーズを把握した個性ある楽しい商店街の充実

<成果の視点> 住民が楽しく買い物ができること

藤沢づくりのめざす方向性 8 公共資産の維持管理と有効活用

公有地などの公共的な保有資産の積極的な活用とともに、公共施設の集約・移転等により生じる跡地、施設の有効活用、地域ニーズに合った資産を活用します。そのためには、公共施設・都市基盤施設の老朽化の時期を見据えて、既存施設の保全、再構築、機能更新など、社会資本の有効活用と長寿命化をめざします。

<①協働型の課題解決で価値向上へ>

ふじさわ未来課題

71 多様な連携を通じて、市民が望むサービスが提供されていること

【地域まちづくり目標】

16 公共施設が有効に活用され、市民活動が活発に行われているまち

【目標の背景・方向性】

湘南台地区にしかない駅地下広場や湘南台文化センターなどの公共施設の有効活用や環境整備を進め、市民が望むサービスを様々な主体が提供できる体制づくりをめざします。

【成果指標】

①図書館、公民館等のサービスに満足している人の割合

【現状値】 ①12%

【めざそう値】 3年後：①22% 6年後：①30%

【役割の担い手】 ①A:14% B:17% C:14% D:13% E:15% F:27% G:0%

《地域まちづくり活動》

《活動-26》 公共施設有効活用方策の推進

<成果の視点> 公共施設が効率的に活用されていること

《活動-27》 市民活動に対する支援の充実

<成果の視点> 市民活動が活発に行われていること

【地域まちづくり目標】

17 明るく快適な駅があり、ふれあいのイベントが常に行われている利便性の高いまち

【目標の背景・方向性】

湘南台は駅を中心としたまちです。そのため、駅の施設やスペースを有効に活用し、利便性を高めることにより、市民サービスの向上を図ります。

【成果指標】

①駅の施設や周辺空間などが有効に活用されていると感じる人の割合

【現状値】 ①35%

【めざそう値】 3年後：①45% 6年後：①50%

【役割の担い手】 ①A:9% B:14% C:11% D:20% E:9% F:25% G:12%

《地域まちづくり活動》

《活動－28》 利用者の立場に立った湘南台駅の充実

＜成果の視点＞ 駅施設が快適であること。

《活動－29》 ふれあいイベントによるまちの活性化推進

＜成果の視点＞ まちに活気があること。

藤沢づくりのめざす方向性 9 「藤沢ライフスタイル」と「湘南カルチャー」の創出

湘南の環境と文化，ブランド力などの地域の特性を活かした，魅力的な生活（「藤沢ライフスタイル」）や創造的な湘南の文化（「湘南カルチャー」）の創出をめざし，その魅力と価値を発信します。そして，市民一人ひとりが豊かな心を育み，地域と世界をつなぐ国際交流などを通じて人材を育て，文化にふれあう交流発信のまちをつくりあげることがめざします。

<①協働型の課題解決で価値向上へ>

ふじさわ未来課題

76 訪れる人・住む人に配慮した心遣いや工夫があること

（関連未来課題 35・36・73・74）

【地域まちづくり目標】

18 街並みの景観が整い、水と緑があるまち

【目標の背景・方向性】

訪れた人に快適な環境を提供することは、住む人にとっても快適な環境になります。湘南台は、駅付近の都市環境と周辺の自然環境の調和がとれていることが地域特性です。こうした環境に配慮したまちづくりを進めます。また、駅周辺は、画一的になりがちなので、個性ある街並み形成をめざします。

【成果指標】

①湘南台地区に好きな街並みや景観がある人の割合

【現状値】 ①21%

【めざそう値】 3年後：①30% 6年後：①35%

【役割の担い手】 ①A:12% B:15% C:16% D:18% E:12% F:22% G:5%

《地域まちづくり活動》

《活動-30》 住民が憩える公園や緑地等の確保と利用の推進

<成果の視点> 公園が利用しやすいこと

《活動-31》 個性ある景観形成の推進

<成果の視点> 住民が誇れる街並みになること

【地域まちづくり目標】

19 産・学・地域の交流が盛んなまち

【目標の背景・方向性】

湘南台地区には、様々な事業所や大学などが集積しています。これらの事業所や大学と地域が相互に交流することにより、活発でいきいきしたまちづくりを進めます。

【成果指標】

①湘南台のまちに活気があると思う人の割合

②産・学・地域の交流事業数

【現状値】 ①24% ②2件

【めざそう値】 3年後：①30% ②4件 6年後：①40% ②6件

【役割の担い手】 ①A:13% B:16% C:16% D:18% E:14% F:18% G:5%

②A:9% B:17% C:15% D:20% E:18% F:20% G:1%

《地域まちづくり活動》

《活動－32》 湘南台を中心とした産業・大学・地域の交流促進

<成果の視点> 交流事業が活発なこと

新総合計画基本計画

遠藤地区 地域まちづくり計画

地域まちづくりのテーマ

新たな時代を拓く「健康と文化の森」を創造し
“人と自然がいきづくまち”夢のあるまち遠藤をめざします。

都市ビジョン1 市民の力が育てる生活充実都市

藤沢づくりのめざす方向性 1 地域自律型の「藤沢づくり」を育むまち

地域の歴史・文化や地域資源を活かして、地域に住み、働き、学ぶ人たちが協働して、地域から生み出す付加価値を享受するために、各地区ごとに個性のある地域経営を進めるとともに、行政は財政改革と行政改革を進めるとともに、新たな行政システムを構築し、市民、地域と協働して市民主体、地域自律型の「藤沢づくり」をめざします。

<①協働型の課題解決で価値向上へ>

ふじさわ未来課題

7 お互いがマナーを守り、助け合いの心で過ごせるまちであること

【地域まちづくり目標】

01 助け合いの輪が広がる夢のあるまち遠藤

【目標の背景・方向性】

思いやりの気持ちを行動に移し、人と人とのふれあいと助け合いで心豊かに過ごせるまちづくりを目指します。

【成果指標】

①助け合いのある地域だと感じる者の割合

【現状値】 ①14%

【めざそう値】 3年後：①20% 6年後：①25%

【役割の担い手】 ①A:17% B:14% C:17% D:15% E:17% F:19% G:1%

《地域まちづくり活動》

《活動-1》 地域活動の充実と人材育成

<成果の視点> 地域活動が充実していること

藤沢づくりのめざす方向性 2 明日の藤沢を担う「藤沢の子どもたち」を育む環境

明日の藤沢を担う「藤沢の子どもたち」を育てていくため、安心して子どもを産み、育てられる生活環境や多様な教育ニーズへの対応、家庭・地域・学校の教育連携など、教育環境を持続・発展させることをめざします。

<②強みや魅力の維持・向上を>

ふじさわ未来課題

14 学校・家庭・地域のつながりを育む活動が活発であること

【地域まちづくり目標】

02 大人と子どもが相互に支え合う交流のあるまち遠藤

【目標の背景・方向性】

子どもたちがよりよく成長していくためには、多くの人たちとの触れ合いや、様々な体験が必要です。そこで学校・家庭・地域等が連携し、地域が持っている特色を十分に生かし、お互いに活用しながら、地域社会全体で子ども達の健やかな成長を支援しています。こうした学校・家庭・地域等のつながりにより地域の教育環境を維持発展させることを目指します。

【成果指標】

①子ども一人当たりの公民館におけるイベント参加件数

【現状値】①2.5件

【めざそう値】3年後：①3件 6年後：①4件

【役割の担い手】①A:18% B:18% C:15% D:10% E:17% F:22% G:0%

《地域まちづくり活動》

《活動-2》 学校・家庭・地域等の連携による教育環境の充実

<成果の視点> 地域での教育環境が充実していると感じられること

藤沢づくりのめざす方向性 3 市民力・地域力による安全で安心して暮らせるまち

コミュニティを維持・発展させ、市民が一生安心して暮らせる保健・医療（介護）・福祉・健康などの生活環境と、犯罪や災害への不安解消などによる、安全で安心できる地域社会を創り上げることをめざします。また、病気の予防やスポーツなどを通じた身体的な健康のみならず、心も健やかであるために、生き生きと安心して暮らせる私たちの健康づくりをめざします。

<②強みや魅力の維持・向上を>

ふじさわ未来課題

19 治安の良い環境であること

【地域まちづくり目標】

03 住民同志の交流が活発で安全なまち遠藤

【目標の背景・方向性】

いつでもどこでも安心して声掛け合い、安全・安心の地域づくりのために住民同志の話し合いを通じて個々の理解と協力を深め、生活不安の解消を目指します。

【成果指標】

①地区の犯罪発生件数

【現状値】 ①361 件

【めざそう値】 3年後：①285 件 6年後：①240 件

【役割の担い手】 ①A:20% B:16% C:17% D:12% E:15% F:20% G:0%

《地域まちづくり活動》

《活動－3》 防犯活動の充実

<成果の視点> 日常生活で防犯に対して不安を感じないこと

《活動－4》 地域力による防災活動の充実

<成果の視点> 日常生活で防災に対して不安を感じないこと

《活動－5》 交通安全対策の推進

<成果の視点> 日常生活でヒヤリ・ハットを感じないこと

藤沢づくりのめざす方向性 4 共に生き、共に創る地域社会の創出

すべての市民が、差別や偏見を持つことなく、互いを認め合い、共に生き、働き、学ぶことができる豊かな生活環境を実現するため、それぞれの人権を尊重し、男女が共同で参画し、高齢者、若者なども積極的に参画できる、多文化が共生する穏やかな地域の社会環境を創り出すことをめざします。

<①協働型の課題解決で価値向上へ>

ふじさわ未来課題

24 挨拶や声かけによる市民同士のコミュニケーションがとれていること

【地域まちづくり目標】

04 みんなの心がかよう夢のあるまち遠藤

【目標の背景・方向性】

挨拶は、「安全で安心なまちづくり」に有効であるとともに、「心のふれあう明るいまちづくり」等にも効果が期待されています。遠藤地区の文化の森には、慶応義塾大学湘南藤沢キャンパスが開校しており、同校との連携や交流を図るとともに、地域イベントの開催などによりみんなの心がかよう地域を目指します。

【成果指標】

①市民同士のコミュニケーションがとれていると感じる者の割合

【現状値】 ①33%

【めざそう値】 3年後：①40% 6年後：①50%

【役割の担い手】 ①A:18% B:18% C:19% D:13% E:17% F:15% G:0%

《地域まちづくり活動》

《活動-6》 地域市民交流の促進

<成果の視点> 地域市民の交流が活発に行われていると感じられること

藤沢づくりのめざす方向性 5 豊かな地域資源の次世代への継承・発展

藤沢の自然環境、景観、歴史・文化資産など、先人から引き継いできた地域固有の資源をさらに発展させ、次世代に継承することによって都市としてのアイデンティティを高め、地域資源を活かしたまちをつくることをめざします。

<①協働型の課題解決で価値向上へ>

ふじさわ未来課題

45 地域の未来の担い手が育成されていること

【地域まちづくり目標】

05 豊かな自然を将来まで受け継いでいく夢のあるまち遠藤

【目標の背景・方向性】

遠藤地区には、農地をはじめ緑地が多く、のどかな雰囲気のある地区で、自然や畑作地帯・果樹園が財産といえます。こうした市民の共有財産である豊かな自然を将来にわたって次世代へ継承する地域を目指します。

【成果指標】

①地区の総面積に占める耕地面積の割合

【現状値】 ①14%

【めざそう値】 3年後：①20% 6年後：①20%

【役割の担い手】 ①A:17% B:12% C:17% D:17% E:12% F:23% G:2%

《地域まちづくり活動》

《活動ー7》 緑地空間の保全・継承の推進

<成果の視点> 自然が豊かだと感じられること

藤沢づくりのめざす方向性 6 地球温暖化防止など未来の地球環境への投資

地球温暖化などの環境問題やエネルギー・食糧などの資源にかかわる課題について、地球規模の視点に立って地域で取り組み、持続可能なまちと低炭素社会をつくりあげることがめざします。また、地域の大学力や企業力を活かして、産学官による協働と連携によって、最先端の環境技術を生み出す産業構造や環境に優しい都市システムを創り出すことをめざします。

<①協働型の課題解決で価値向上へ>

ふじさわ未来課題

47 みんなが協力して、いつでもまちがきれいであること

【地域まちづくり目標】

06 きれいで住みよい夢のあるまち遠藤

【目標の背景・方向性】

遠藤地区には、農地が多く人の目が届かない場所が多くあることから、不法投棄の多い地域となっています。みんながルールやマナーを守り、お互いが協力して、きれいなまち遠藤を目指します。

【成果指標】

①まちがきれいだ実感できた人の割合

【現状値】 ①29%

【めざそう値】 3年後：①40% 6年後：①50%

【役割の担い手】 ①A:18% B:16% C:19% D:14% E:15% F:17% G:1%

《地域まちづくり活動》

《活動－8》 地域環境美化活動の促進

<成果の視点> 環境美化活動が活発に行われていること

藤沢づくりのめざす方向性 7 「藤沢づくり」を支える都市構造の再構築と地域経済の活力再生

産業や生活の基盤を支える都市機能を強化していくために、新たな拠点地区の整備や連携する道路、鉄道等の公共交通、海上交通のネットワーク化など、土地利用の方向性も含んだ「新たな都市構造の再構築」をめざします。また、産業の活力を高め、雇用の機会を増やし地産地消の推進を図るため、市民、地域の持つ資源を活かしつつ、商業、工業、観光、農水産業など、市民力、地域力、大学力、企業力などの連携によって地域経済の活力再生をめざします。

<①協働型の課題解決で価値向上へ>

ふじさわ未来課題

65 市内の交通・物流がスムーズに行われること

【地域まちづくり目標】

07 便利な交通ネットワークのある活気あふれる豊かなまち遠藤

【目標の背景・方向性】

遠藤地区は、最寄りの湘南台駅から3km、辻堂駅からは6km 離れており、バス利用が欠かせません。慶応大学の開校により、大学までのバス運行は、充実してきていますが、湘南台から遠藤地区を通過して辻堂までというルートがないため住民の利用としては、不便という意見もあります。このようなバス問題の改善や地域の念願である新たな交通システムの実現を目指します。

【成果指標】

①交通の便がよいと感じる者の割合

【現状値】 ①29%

【めざそう値】 3年後：①30% 6年後：①31.5%

【役割の担い手】 ①A:16% B:18% C:18% D:18% E:12% F:18% G:0%

《地域まちづくり活動》

《活動－9》 新交通等の早期実現に向けた活動の促進と地域活性化の推進

<成果の視点> 地域の交通課題解決に向けた取り組みが活発に行われていること

《活動－10》 交通の利便性の向上

<成果の視点> 主要鉄道ターミナル駅からのアクセスが改善されていること

藤沢づくりのめざす方向性 8 公共資産の維持管理と有効活用

公有地などの公共的な保有資産の積極的な活用とともに、公共施設の集約・移転等により生じる跡地、施設の有効活用、地域ニーズに合った資産を活用します。そのためには、公共施設・都市基盤施設の老朽化の時期を見据えて、既存施設の保全、再構築、機能更新など、社会資本の有効活用と長寿命化をめざします。

<②強みや魅力の維持・向上を>

ふじさわ未来課題

66 市民の財産である自然を守り、育てられていること

【地域まちづくり目標】

08 自然環境を守り、育てるみんなのまち遠藤

【目標の背景・方向性】

遠藤地区には、市の大きな地区拠点である「健康と文化の森」があり、「健康の森」については、保全と活用についてのあり方が議論されているところです。こうした市民の財産である豊かな自然環境を活かしたまちづくりを目指します。

【成果指標】

①地区の総面積に占める公園・緑の広場の面積の割合

【現状値】 ①0.3%

【めざそう値】 3年後：①0.5% 6年後：①1.0%

【役割の担い手】 ①A:19% B:10% C:22% D:10% E:8% F:31% G:0%

《地域まちづくり活動》

《活動－11》 健康づくり活動の推進

<成果の視点> 豊かな自然が受け継がれていること

藤沢づくりのめざす方向性 9 「藤沢ライフスタイル」と「湘南カルチャー」の創出

湘南の環境と文化，ブランド力などの地域の特性を活かした，魅力的な生活（「藤沢ライフスタイル」）や創造的な湘南の文化（「湘南カルチャー」）の創出をめざし，その魅力と価値を発信します。そして，市民一人ひとりが豊かな心を育み，地域と世界をつなぐ国際交流などを通じて人材を育て，文化にふれあう交流発信のまちをつくりあげることがめざします。

<②強みや魅力の維持・向上を>

ふじさわ未来課題

73 活気があり、開放的で温かいまちであること

【地域まちづくり目標】

09 開放的な世代間交流があるまち遠藤

【目標の背景・方向性】

遠藤地区には、地域特有の豊かな自然と地域に根ざした祭り、風習などの伝統文化があります。こうした地域資源*1を通して、隣接する地域と連携し、世代間交流のあるまちづくりを目指します。

【成果指標】

①地域のお祭りに来場した人の割合

【現状値】 ①16%

【めざそう値】 3年後：①25% 6年後：①30%

【役割の担い手】 ①A:16% B:16% C:19% D:15% E:16% F:18% G:0%

《地域まちづくり活動》

《活動ー12》 多種多様なイベント活動の充実

<成果の視点> 各種イベントに訪れる人が年々増えていること

*1 地域資源：藤沢市内や各地域に存在する、自然環境や景観、文化や伝統、歴史、建造物、お祭り、団体や人的資源、大学や産業などを広い範囲で地域資源と呼んでいます。

新総合計画基本計画

長後地区 地域まちづくり計画

地域まちづくりのテーマ

さあつくろう！まちの輪・ひとの和・みどりの環

都市ビジョン1 市民の力が育てる生活充実都市

藤沢づくりのめざす方向性 1 地域自律型の「藤沢づくり」を育むまち

地域の歴史・文化や地域資源を活かして、地域に住み、働き、学ぶ人たちが協働して、地域から生み出す付加価値を享受するために、各地区ごとに個性のある地域経営を進めるとともに、行政は財政改革と行政改革を進めるとともに、新たな行政システムを構築し、市民、地域と協働して市民主体、地域自律型の「藤沢づくり」をめざします。

<②強みや魅力の維持・向上を>

ふじさわ未来課題

1 身近な地域での暮らしやすさが実現していること

【地域まちづくり目標】

01 快適で円滑な交通移動をめざす^{まち}長後

【目標の背景・方向性】

公共交通機関の結節点である長後駅周辺は、地区の中心部としてスムーズな交通の流れの確保と改善及び公共交通の機能強化に努め、踏切部を含め快適で円滑な交通移動ができるようにする必要があります。

【成果指標】

①長後駅周辺において快適で円滑な交通移動ができていると感じる人の割合

【現状値】 ①13%

【めざそう値】 3年後：①20% 6年後：①35%

【役割の担い手】 ①A:14% B:10% C:15% D:19% E:9% F:27% G:6%

《地域まちづくり活動》

《活動-1》 駅付近に集中する車両交通渋滞を緩和し、円滑な移動を推進

<成果の視点> 駅周辺公共交通ネットワークに不便を感じないこと

【地域まちづくり目標】

02 みんなが安全に安心して歩くことのできる^{まち}長後

【目標の背景・方向性】

すべての人が安全に安心して歩くことができるよう、まちづくりをすすめます。

【成果指標】

①安全に安心して歩くことができると感じる人の割合

【現状値】 ①6%

【めざそう値】 3年後：①15% 6年後：①20%

【役割の担い手】 ①A:13% B:13% C:17% D:16% E:12% F:25% G:4%

《地域まちづくり活動》

《活動－2》 安全に安心して通行できるよう道路歩行環境を向上

<成果の視点> 道路歩行時に不安や障害を感じないこと

<③より効率的に価値の維持を>

ふじさわ未来課題

6 誰でも気軽に市内の情報を発信したり、得ることができること

【地域まちづくり目標】

03 地域の情報が大切に扱われる^{まち}長後

【目標の背景・方向性】

これからのまちづくりの重要な要素のひとつに「地域情報」があります。情報化時代にふさわしい地域情報の拡がりに向けた取り組みをすすめます。

【成果指標】

①地域情報の住民への浸透度

【現状値】 ①24%

【めざそう値】 3年後：①30% 6年後：①50%

【役割の担い手】 ①A:13% B:17% C:19% D:16% E:14% F:21% G:0%

《地域まちづくり活動》

《活動－3》 地域情報の充実

<成果の視点> 地域情報が住民に浸透していること

藤沢づくりのめざす方向性 2 明日の藤沢を担う「藤沢の子どもたち」を育む環境

明日の藤沢を担う「藤沢の子どもたち」を育てていくため、安心して子どもを産み、育てられる生活環境や多様な教育ニーズへの対応、家庭・地域・学校の教育連携など、教育環境を持続・発展させることをめざします。

<②強みや魅力の維持・向上を>

ふじさわ未来課題

9 子どもを安心して育てられる環境があること

【地域まちづくり目標】

04 子育てをみんなで支える^{まち}長後

【目標の背景・方向性】

みんなが連携するとともに支援拠点を整備し、子どもたちが健やかに育つまちをめざします。

【成果指標】

- ①子育てをしやすい地域と思う人の割合
- ②放課後児童クラブの設置数

【現状値】 ①10% ②3箇所

【めざそう値】 3年後：①17.5% ②4箇所 6年後：①25% ②5箇所

【役割の担い手】 ①A:15% B:17% C:15% D:12% E:18% F:19% G:4%

②A:16% B:21% C:12% D:9% E:17% F:25% G:0%

《地域まちづくり活動》

《活動-4》 地域で安心して子育てができる環境の推進

<成果の視点> 公園等、子育て施設が設置され、地域の子育て支援団体、サークルの活動が盛んであること。

ふじさわ未来課題

13 地域が子どもを見守り育てる環境であること

(関連未来課題 14)

【地域まちづくり目標】

05 学校・家庭・地域が手を結び子どもを育む^{まち}長後

【目標の背景・方向性】

学校や家庭、地域において相互に協力しながら健やかに育つ環境づくりと「思いやりの心」を育てるまちづくりをめざします。

【成果指標】

①地域で子どもを支える体制が充実していると感じている人の割合

【現状値】 ①11%

【めざそう値】 3年後：①20% 6年後：①30%

【役割の担い手】 ①A:15% B:17% C:18% D:13% E:18% F:17% G:2%

《地域まちづくり活動》

《活動－5》 学校・家庭・地域とのネットワークの推進

<成果の視点> 地域を見守るパトロールや世代間交流が実施されていること

藤沢づくりのめざす方向性 3 市民力・地域力による安全で安心して暮らせるまち

コミュニティを維持・発展させ、市民が一生安心して暮らせる保健・医療（介護）・福祉・健康などの生活環境と、犯罪や災害への不安解消などによる、安全で安心できる地域社会を創り上げることをめざします。また、病気の予防やスポーツなどを通じた身体的な健康のみならず、心も健やかであるために、生き生きと安心して暮らせる私たちの健康づくりをめざします。

<②強みや魅力の維持・向上を>

ふじさわ未来課題

17 保健、医療、福祉、健康などの生活環境が整い暮らしやすいこと 【地域まちづくり目標】

06 誰もが健康でいきいきと暮らせる^{まち}長後

【目標の背景・方向性】

保健・医療・福祉・介護の連携により住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができるまちをめざします。

【成果指標】

- ①地域保健に対する満足度
- ②安心できる医療体制が充実していると感じている人の割合
- ③介護サービスの満足度

【現状値】 ①13% ②28% ③13%

【めざそう値】 3年後：①23.5% ②37.5% ③20% 6年後：①36.5%
②49% ③42.5%

【役割の担い手】 ①A:20% B:18% C:17% D:13% E:11% F:21% G:0%
②A:19% B:15% C:15% D:13% E:10% F:21% G:7%
③A:16% B:19% C:15% D:14% E:6% F:23% G:7%

《地域まちづくり活動》

《活動－6》 健康維持の推進

<成果の視点> スポーツ活動や健康増進事業が盛んであること

《活動－7》 地域医療体制の推進

<成果の視点> 地域の医療体制や地域の救急医療体制に満足していること

《活動－8》 地域に密着した介護サービスの推進

<成果の視点> 施設が整備され、施設入所待機（希望）者が少なく、地域ボランティアが盛んであること

ふじさわ未来課題

18 災害に対して、市民が不安なく暮らせるまちであること

【地域まちづくり目標】

07 子どもから高齢者まで安心して暮らせる^{まち}長後

【目標の背景・方向性】

安全で誰もが安心して暮らせるまちをめざします。

【成果指標】

- ①防災に対する満足度
- ②交通安全対策に対する満足度

【現状値】 ①5% ②18%

【めざそう値】 3年後：①20% ②30% 6年後：①40% ②45%

【役割の担い手】 ①A:17% B:14% C:20% D:13% E:15% F:21% G:0%
②A:16% B:14% C:18% D:14% E:18% F:20% G:0%

《地域まちづくり活動》

《活動－9》 防災・交通安全活動の拡充

<成果の視点> 防災・交通安全に関する活動が盛んであること

ふじさわ未来課題

19 治安の良い環境であること

【地域まちづくり目標】

08 犯罪を防ぐ、起こさせない^{まち}長後

【目標の背景・方向性】

犯罪は未然に防ぐことが重要です。犯罪抑止活動を推進することで安全安心なまちをめざします。

【成果指標】

- ①防犯対策に関する満足度

【現状値】 ①15%

【めざそう値】 3年後：①30% 6年後：①45%

【役割の担い手】 ①A:19% B:16% C:18% D:13% E:15% F:19% G:0%

《地域まちづくり活動》

《活動－10》 防犯活動の拡充

<成果の視点> 防犯に関する活動が盛んであること

藤沢づくりのめざす方向性 4 共に生き、共に創る地域社会の創出

すべての市民が、差別や偏見を持つことなく、互いを認め合い、共に生き、働き、学ぶことができる豊かな生活環境を実現するため、それぞれの人権を尊重し、男女が共同で参画し、高齢者、若者なども積極的に参画できる、多文化が共生する穏やかな地域の社会環境を創り出すことをめざします。

<①協働型の課題解決で価値向上へ>

ふじさわ未来課題

26 子育て世代を支える環境が充実していること

【地域まちづくり目標】

09 子育てをみんな^{まち}で支える長後

【目標の背景・方向性】

みんなが連携するとともに支援拠点を整備し、子どもたちが健やかに育つまちをめざします。

【成果指標】

①子育てをしやすい地域と思う人の割合

②放課後児童クラブの設置数

【現状値】 ①10% ②3箇所

【めざそう値】 3年後：①30% ②4箇所 6年後：①50% ②5箇所

【役割の担い手】 ①A:15% B:17% C:18% D:10% E:19% F:21% G:0%

②A:16% B:21% C:12% D:9% E:17% F:25% G:0%

《地域まちづくり活動》

《活動-11》 地域で安心して子育てができる環境の推進

<成果の視点> 公園等、子育て施設が設置され、地域の子育て支援団体、サークルの活動が盛んであること

ふじさわ未来課題

34 地域で支え合い暮らせる環境であること

(関連未来課題 31)

【地域まちづくり目標】

10 一人ひとりが安心して楽しく暮らせる^{まち}長後

【目標の背景・方向性】

国籍や文化、性別などにかかわらず、誰もが地域の一員として互いに認めあい、尊重しあいながら地域住民の交流活動、障がいや疾病に対し、ボランティア活動や地域の支えあいなど、さまざまな資源を活用し、誰もが住み慣れた地域でその人らしく生活することができるまちづくりをめざします。

【成果指標】

①65才以上で要介護認定を受けていない人の割合

②共生社会の満足度

【現状値】 ①87% ②20%

【めざそう値】 3年後：①90% ②30% 6年後：①90% ②40%

【役割の担い手】 ①A:19% B:18% C:19% D:12% E:14% F:18% G:0%

②A:18% B:19% C:19% D:12% E:15% F:17% G:0%

《地域まちづくり活動》

《活動-1 2》 地域で支える高齢者の生活支援の推進

<成果の視点> 地域福祉の取り組みが充実していること

《活動-1 3》 共生に関わる地域ボランティア団体等の活動の推進

<成果の視点> 地域ボランティア・NPO 団体の育成と活動の支援がなされていること

<②強みや魅力の維持・向上を>

ふじさわ未来課題

30 お互いにマナーを守り、協力して地域のために活動していること

【地域まちづくり目標】

11 さわやかなまち‘マナーUP 長後‘

【目標の背景・方向性】

地域住民のマナーとモラルの向上により、きれいで住みよいまちをめざします。

【成果指標】

①生活環境の満足度

【現状値】 ①24%

【めざそう値】 3年後：①30% 6年後：①35%

【役割の担い手】 ①A:19% B:17% C:18% D:13% E:14% F:19% G:0%

《地域まちづくり活動》

《活動-1 4》 環境美化活動の拡充

<成果の視点> 環境美化に関する活動が活発であること

藤沢づくりのめざす方向性 5 豊かな地域資源の次世代への継承・発展

藤沢の自然環境、景観、歴史・文化資産など、先人から引き継いできた地域固有の資源をさらに発展させ、次世代に継承することによって都市としてのアイデンティティを高め、地域資源を活かしたまちをつくることをめざします。

<①協働型の課題解決で価値向上へ>

ふじさわ未来課題

37 市民、地域、行政が協力し、快適な生活が実現していること

【地域まちづくり目標】

12 親しみやすいみどりの空間がある^{まち}長後

【目標の背景・方向性】

遊び、憩い及びふれあい等の場としての公園や広場等は、多目的に利用される貴重な空間であることから、地区の状況に応じて適切な配置をめざす必要があります。

また地域で公園や広場等の質の高い維持管理を進め、次世代に継承することをめざします。

【成果指標】

①公園や広場等が充実していると感じる人の割合

【現状値】 ①24%

【めざそう値】 3年後：①30% 6年後：①40%

【役割の担い手】 ①A:7% B:12% C:14% D:20% E:16% F:31% G:0%

《地域まちづくり活動》

《活動-15》 公園及び広場等の充実と維持管理の向上

<成果の視点> 公園や広場がきれいで親しみが持てること

ふじさわ未来課題

45 地域の未来の担い手が育成されていること

【地域まちづくり目標】

13 未来にバトンが引き継がれる^{まち}長後

【目標の背景・方向性】

長後地域がスタートして55年。100年に向けまちづくりのバトンを世代を越えて引き継ぐことが必要です。

【成果指標】

①地域の様々な取り組みに、多様な人材が参加していると感じる人の割合

【現状値】 ①9%

【めざそう値】 3年後：①15% 6年後：①27.5%

【役割の担い手】 ①A:17% B:15% C:17% D:18% E:12% F:18% G:3%

《地域まちづくり活動》

《活動-16》 地域活動の継承と促進

<成果の視点> 地域団体の活動が継続していること

藤沢づくりのめざす方向性 6 地球温暖化防止など未来の地球環境への投資

地球温暖化などの環境問題やエネルギー・食糧などの資源にかかわる課題について、地球規模の視点に立って地域で取り組み、持続可能なまちと低炭素社会をつくりあげることがめざします。また、地域の大学力や企業力を活かして、産学官による協働と連携によって、最先端の環境技術を生み出す産業構造や環境に優しい都市システムを創り出すことをめざします。

<①協働型の課題解決で価値向上へ>

ふじさわ未来課題

46 生活の便利さと環境保全の両方が実現していること

(関連未来課題 49)

【地域まちづくり目標】

14 さわやかなまち ‘マナーUP 長後 ‘

【目標の背景・方向性】

地域住民のマナーとモラルの向上により、きれいで住みよいまちをめざします。

【成果指標】

①生活環境の満足度

【現状値】 ①24%

【めざそう値】 3年後：①37.5% 6年後：①50%

【役割の担い手】 ①A:17% B:17% C:17% D:17% E:14% F:17% G:1%

《地域まちづくり活動》

《活動-17》 環境美化活動の拡充

<成果の視点> 環境美化に関する活動が活発であること

藤沢づくりのめざす方向性 7 「藤沢づくり」を支える都市構造の再構築と地域経済の活力再生

産業や生活の基盤を支える都市機能を強化していくために、新たな拠点地区の整備や連携する道路、鉄道等の公共交通、海上交通のネットワーク化など、土地利用の方向性も含んだ「新たな都市構造の再構築」をめざします。また、産業の活力を高め、雇用の機会を増やし地産地消の推進を図るため、市民、地域の持つ資源を活かしつつ、商業、工業、観光、農水産業など、市民力、地域力、大学力、企業力などの連携によって地域経済の活力再生をめざします。

<①協働型の課題解決で価値向上へ>

ふじさわ未来課題

62 産業の活力を高め、地域が元気になること

(関連未来課題 59・63)

【地域まちづくり目標】

15 「長後宿」がよみがえる長後^{まち}

【目標の背景・方向性】

かつて、この「長後」は大山街道と滝山街道の交わる、文字通り地域の中心でした。時を越えてこの賑わいが戻ってくるのが、長後のこれからに必要です。

【成果指標】

①まちに少しずつ活気が戻ったと感じる人の割合

【現状値】 ①7%

【めざそう値】 3年後：①10% 6年後：①13%

【役割の担い手】 ①A:15% B:15% C:18% D:19% E:14% F:19% G:0%

《地域まちづくり活動》

《活動-18》 ひととモノの行き交う賑やかな長後への再生

<成果の視点> 地産地消の推進等によって交流が盛んに行われること

ふじさわ未来課題

64 商店街と大型店舗が共存共栄し、活気あるまちになること

【地域まちづくり目標】

16 商店街と地域が連携して生活が営まれる長後^{まち}

【目標の背景・方向性】

高齢社会では「近所で賄える」ことが必要不可欠であることから、商店街と地域の連携をすすめます。

【成果指標】

①商店街で買い物をする地域住民の割合

【現状値】 ①51%

【めざそう値】 3年後：①56.5% 6年後：①67.5%

【役割の担い手】 ①A:17% B:17% C:16% D:19% E:12% F:19% G:0%

《地域まちづくり活動》

《活動－19》 生き活きとした商店街を持つ長後への推進

<成果の視点> 商店街再生のバックアップがなされていること

藤沢づくりのめざす方向性 8 公共資産の維持管理と有効活用

公有地などの公共的な保有資産の積極的な活用とともに、公共施設の集約・移転等により生じる跡地、施設の有効活用、地域ニーズに合った資産を活用します。そのためには、公共施設・都市基盤施設の老朽化の時期を見据えて、既存施設の保全、再構築、機能更新など、社会資本の有効活用と長寿命化をめざします。

<①協働型の課題解決で価値向上へ>

ふじさわ未来課題

71 多様な連携を通じて、市民が望むサービスが提供されていること 【地域まちづくり目標】

17 未来にバトンが引き継がれる^{まち}長後

【目標の背景・方向性】

長後地域がスタートして55年。100年に向けまちづくりのバトンを世代を越えて引き継ぐことが必要です。

【成果指標】

①地域の様々な取り組みに、多様な人材が参加していると感じる人の割合

【現状値】 ①9%

【めざそう値】 3年後：①20% 6年後：①30%

【役割の担い手】 ①A:18% B:18% C:18% D:11% E:14% F:18% G:3%

《地域まちづくり活動》

《活動-20》 地域活動の継承と促進

<成果の視点> 地域団体の活動が継続していること

<②強みや魅力の維持・向上を>

ふじさわ未来課題

66 市民の財産である自然を守り、育てられていること 【地域まちづくり目標】

18 みどりを増やし育む^{まち}長後

【目標の背景・方向性】

先代より培われた農地及び山林等のみどりや生活の中のみどりは、長後地区のかけがえのない潤いとして、また生物生息の貴重な空間として、今後も守っていくことをめざします。

【成果指標】

①身近なみどりに関して満足している人の割合

【現状値】 ①34%

【めざそう値】 3年後：①45% 6年後：①60%

【役割の担い手】 ①A:17% B:15% C:17% D:17% E:10% F:21% G:3%

《地域まちづくり活動》

《活動－21》 みどりの保全及び継承の推進

<成果の視点> 農地や山林が維持され、家庭でもみどりを増やそうとしていること

藤沢づくりのめざす方向性 9 「藤沢ライフスタイル」と「湘南カルチャー」の創出

湘南の環境と文化，ブランド力などの地域の特性を活かした，魅力的な生活（「藤沢ライフスタイル」）や創造的な湘南の文化（「湘南カルチャー」）の創出をめざし，その魅力と価値を発信します。そして，市民一人ひとりが豊かな心を育み，地域と世界をつなぐ国際交流などを通じて人材を育て，文化にふれあう交流発信のまちをつくりあげることがめざします。

<①協働型の課題解決で価値向上へ>

ふじさわ未来課題

76 訪れる人・住む人に配慮した心遣いや工夫があること 【地域まちづくり目標】

19 快適で円滑な交通移動をめざす^{まち}長後

【目標の背景・方向性】

公共交通機関の結節点である長後駅周辺は、地区の中心部としてスムーズな交通の流れの確保と改善及び公共交通の機能強化に努め、踏切部を含め快適で円滑な交通移動ができるようにする必要があります。

【成果指標】

①長後駅周辺において快適で円滑な交通移動ができていると感じる人の割合

【現状値】 ①13%

【めざそう値】 3年後：①30% 6年後：①40%

【役割の担い手】 ①A:10% B:13% C:20% D:17% E:8% F:23% G:9%

《地域まちづくり活動》

《活動-22》 駅付近に集中する車両交通渋滞を緩和し、円滑な移動を推進

<成果の視点> 駅周辺公共交通ネットワークに不便を感じないこと

ふじさわ未来課題

81 地域の記憶や文化が継承され、発展すること

(関連未来課題 83)

【地域まちづくり目標】

20 歴史・文化の継承と活動支援のあるまち長後

【目標の背景・方向性】

芸術文化の普及と市民文化の向上を目的として、地域の歴史、伝統文化を伝承し、地域への誇りと愛着を育むまちをめざし、また、芸術文化活動の拠点となる施設を提供するなど地域に根ざした活動を支援する芸術性豊かなまちをめざします。

【成果指標】

①歴史・芸術文化活動に対する満足度

【現状値】 ①9%

【めざそう値】 3年後：①20% 6年後：①30%

【役割の担い手】 ①A:14% B:18% C:18% D:17% E:15% F:18% G:0%

《地域まちづくり活動》

《活動－23》 地域が有する様々な歴史や伝統ある芸術文化活動の推進

<成果の視点> 地域の歴史、伝統文化に対する関心が高まること

新総合計画基本計画

御所見地区 地域まちづくり計画

地域まちづくりのテーマ

住んで、見て、歩いてわかるまちの良さ
＝地域資源を活かし、北部新中心拠点を目指します＝

都市ビジョン1 市民の力が育てる生活充実都市

藤沢づくりのめざす方向性 1 地域自律型の「藤沢づくり」を育むまち

地域の歴史・文化や地域資源を活かして、地域に住み、働き、学ぶ人たちが協働して、地域から生み出す付加価値を享受するために、各地区ごとに個性のある地域経営を進めるとともに、行政は財政改革と行政改革を進めるとともに、新たな行政システムを構築し、市民、地域と協働して市民主体、地域自律型の「藤沢づくり」をめざします。

<①協働型の課題解決で価値向上へ>

ふじさわ未来課題

7 お互いがマナーを守り、助け合いの心で過ごせるまちであること

【地域まちづくり目標】

01 交通事故のない安全運転のまち

【目標の背景・方向性】

気づきのアンケートにおいて、交通マナーが悪いという意見が非常に多く寄せられています。これは御所見の人のマナーが悪いとは限らず、御所見を通る人たちのマナーが悪いということですが、マナーの悪さは事故にもつながりかねません。自らが安全に対して注意を払い、譲り合いの精神で誰もが安心して過ごせるまちを目指します。

【成果指標】

①事故発生件数

【現状値】 ①120件

【めざそう値】 3年後：①100件 6年後：①80件

【役割の担い手】 ①A:16% B:14% C:18% D:14% E:17% F:19% G:2%

《地域まちづくり活動》

《活動-1》 自転車・歩行者もマナーを守って安全に

<成果の視点> 通行に危険な箇所が改善されていること

<②強みや魅力の維持・向上を>

ふじさわ未来課題

1 身近な地域での暮らしやすさが実現していること

【地域まちづくり目標】

02 自然と街並みの調和のとれたまち

【目標の背景・方向性】

気づきの中では自然の豊かさの一方で、スーパーやコンビニの必要性の意見が多く寄せられています。心安らぐ自然環境の保全とともに、日常生活における利便性の向上を図ります。

【成果指標】

①御所見地区に住み続けたい人の割合

【現状値】 ①54%

【めざそう値】 3年後：①60% 6年後：①65%

【役割の担い手】 ①A:15% B:14% C:19% D:16% E:15% F:19% G:2%

《地域まちづくり活動》

《活動－2》 身近な街並みと緑の保全の推進

<成果の視点> 緑を守る活動に取り組み、地域における緑の保全がなされていること

《活動－3》 日常の買い物に便利な環境整備の促進

<成果の視点> 地元で買い物をする人が多くなること

藤沢づくりのめざす方向性 2 明日の藤沢を担う「藤沢の子どもたち」を育む環境

明日の藤沢を担う「藤沢の子どもたち」を育んでいくため、安心して子どもを産み、育てられる生活環境や多様な教育ニーズへの対応、家庭・地域・学校の教育連携など、教育環境を持続・発展させることをめざします。

<②強みや魅力の維持・向上を>

ふじさわ未来課題

10 子どもが、住んでいる地域に誇りを持ち、地域で暮らし続けていること

【地域まちづくり目標】

03 地域文化を守り育てるまち

【目標の背景・方向性】

御所見地区は地域内の6地区ごとの祭礼が盛んで伝統行事を大切にしています。伝統文化を知り、参加することで地域への愛着を深め、ふるさとを大事にする気持ちを育みます。

【成果指標】

①伝統行事に参加する子どもたちの割合

②地域に文化的な魅力があると感じている人の割合

【現状値】 ①67% ②49%

【めざそう値】 3年後：①70% ②51% 6年後：①75% ②55%

【役割の担い手】 ①A:21% B:11% C:20% D:13% E:19% F:16% G:0%

②A:20% B:13% C:18% D:11% E:18% F:20% G:0%

《地域まちづくり活動》

《活動-4》 伝統文化の継承の推進

<成果の視点> 太鼓・お囃子等の育成活動が活発であること

藤沢づくりのめざす方向性 3 市民力・地域力による安全で安心して暮らせるまち

コミュニティを維持・発展させ、市民が一生安心して暮らせる保健・医療（介護）・福祉・健康などの生活環境と、犯罪や災害への不安解消などによる、安全で安心できる地域社会を創り上げることをめざします。また、病気の予防やスポーツなどを通じた身体的な健康のみならず、心も健やかであるために、生き生きと安心して暮らせる私たちの健康づくりをめざします。

<①協働型の課題解決で価値向上へ>

ふじさわ未来課題

23 福祉が充実し、子どもから高齢者まで守られていること

【地域まちづくり目標】

04 地域で見守る安全・安心のまち

【目標の背景・方向性】

日常の生活の基本である安全・安心について、自助・共助の精神に基づき、誰もが安心して生活することができるまちを目指します。

【成果指標】

①地域活動・ボランティアへの参加率

【現状値】 ①5%

【めざそう値】 3年後：①12.5% 6年後：①25%

【役割の担い手】 ①A:18% B:17% C:19% D:13% E:14% F:17% G:2%

《地域まちづくり活動》

《活動－5》 夜間の安全確保など防犯対策の推進

<成果の視点> 犯罪に遭う人が減少していること

《活動－6》 自助・共助による災害への備え

<成果の視点> 自主防災組織活動が活発に行われていること

《活動－7》 福祉・医療ネットワークの構築

<成果の視点> 地域の住民が福祉・医療に対して満足していること

《活動－8》 地域の人材が活かされるコミュニティの形成

<成果の視点> 新しいコミュニティ（地域活動）が増えていること

藤沢づくりのめざす方向性 4 共に生き、共に創る地域社会の創出

すべての市民が、差別や偏見を持つことなく、互いを認め合い、共に生き、働き、学ぶことができる豊かな生活環境を実現するため、それぞれの人権を尊重し、男女が共同で参画し、高齢者、若者なども積極的に参画できる、多文化が共生する穏やかな地域の社会環境を創り出すことをめざします。

<①協働型の課題解決で価値向上へ>

ふじさわ未来課題

34 地域で支え合い暮らせる環境であること

【地域まちづくり目標】

05 健全なコミュニティが形成されているまち

【目標の背景・方向性】

自治会加入率の低下などから、お互いが支え合う地域力向上のため、さまざまな世代が参加し協力しあうコミュニティの形成が必要です。

【成果指標】

①ご近所など日常で挨拶がきちんとできていると感じている人の割合

【現状値】 ①62%

【めざそう値】 3年後：①70% 6年後：①78%

【役割の担い手】 ①A:18% B:16% C:18% D:14% E:16% F:18% G:0%

《地域まちづくり活動》

《活動－9》 人々がいきいきと活躍できる、世代を超えた交流の促進

<成果の視点> 地域の事業への参加が活発であること

《活動－10》 地域における身近な情報提供の充実

<成果の視点> 地域の情報利活用が充実していること

藤沢づくりのめざす方向性 5 豊かな地域資源の次世代への継承・発展

藤沢の自然環境、景観、歴史・文化資産など、先人から引き継いできた地域固有の資源をさらに発展させ、次世代に継承することによって都市としてのアイデンティティを高め、地域資源を活かしたまちをつくることをめざします。

<①協働型の課題解決で価値向上へ>

ふじさわ未来課題

45 地域の未来の担い手が育成されていること

【地域まちづくり目標】

06 地域ぐるみで青少年を育成するまち

【目標の背景・方向性】

重要度の高い課題であり、家庭の役割が低下する中、地域の担う役割は大きくなっています。

【成果指標】

①御所見に誇りを持ち、住み続けたい子どもたちの割合

【現状値】 ①42%

【めざそう値】 3年後：①45.5% 6年後：①50%

【役割の担い手】 ①A:19% B:14% C:17% D:14% E:17% F:18% G:1%

《地域まちづくり活動》

《活動-11》 家庭・学校・地域の連携の推進

<成果の視点> 青少年を見守る活動が活発に行われていること

藤沢づくりのめざす方向性 6 地球温暖化防止など未来の地球環境への投資

地球温暖化などの環境問題やエネルギー・食糧などの資源にかかわる課題について、地球規模の視点に立って地域で取り組み、持続可能なまちと低炭素社会をつくりあげることがめざします。また、地域の大学力や企業力を活かして、産学官による協働と連携によって、最先端の環境技術を生み出す産業構造や環境に優しい都市システムを創り出すことをめざします。

<①協働型の課題解決で価値向上へ>

ふじさわ未来課題

46 生活の便利さと環境保全の両方が実現していること

【地域まちづくり目標】

07 子どもから高齢者まで誰にも優しいまち

【目標の背景・方向性】

豊かな自然の中、歩道が未整備の道路も多く、日常生活における基盤整備を進める一方で環境との共生が求められます。

【成果指標】

①段差等により通行に支障や危険があると感じた人の割合

【現状値】 ①38%

【めざそう値】 3年後：①35% 6年後：①20%

【役割の担い手】 ①A:12% B:18% C:19% D:18% E:13% F:20% G:0%

《地域まちづくり活動》

《活動-1 2》 身近な場所でバリアフリーの推進

<成果の視点> 改善が必要な箇所が適切に改善されていること

ふじさわ未来課題

49 人々の環境への意識が高く、快適なまちであること

【地域まちづくり目標】

08 身近な環境を自ら守るまち

【目標の背景・方向性】

豊かな自然が広がる一方、その地域性から、ごみの散乱、ポイ捨てについての意見が非常に多くなっています。御所見地区の人が行っている行為ではないと思いますが、豊かな自然環境を守るためには自ら行動を起こさなくてはなりません。監視活動や意識啓発とあわせ、環境を美しく保ちポイ捨てを防ぐ活動なども重要です。

【成果指標】

①身近な環境を自ら守ることを行っている人の割合

【現状値】 ①70%

【めざそう値】 3年後：①77.5% 6年後：①85%

【役割の担い手】 ①A:19% B:15% C:18% D:15% E:18% F:15% G:0%

《地域まちづくり活動》

《活動－13》 不法投棄のないクリーンなまちの実現

<成果の視点> 不法投棄がなくなっていること

《活動－14》 心安らぐ景観の整備・保全の推進

<成果の視点> 地域住民が環境保全活動に積極的に取り組んでいること

藤沢づくりのめざす方向性 7 「藤沢づくり」を支える都市構造の再構築と地域経済の活力再生

産業や生活の基盤を支える都市機能を強化していくために、新たな拠点地区の整備や連携する道路、鉄道等の公共交通、海上交通のネットワーク化など、土地利用の方向性も含んだ「新たな都市構造の再構築」をめざします。また、産業の活力を高め、雇用の機会を増やし地産地消の推進を図るため、市民、地域の持つ資源を活かしつつ、商業、工業、観光、農水産業など、市民力、地域力、大学力、企業力などの連携によって地域経済の活力再生をめざします。

<①協働型の課題解決で価値向上へ>

ふじさわ未来課題

57 すべての世代がのびのび・いきいきと活躍していること

【地域まちづくり目標】

09 新たなコミュニティを形成するまち

【目標の背景・方向性】

これから20年、30年先の市の姿、地域のあり方を検討していくには、若い力を取り込んだ活力あるコミュニティが求められます。様々な場面における世代間の交流を促進します。

【成果指標】

①いろいろな世代の方が地域活動に参加していると感じる人の割合

【現状値】 ①20%

【めざそう値】 3年後：①25% 6年後：①33%

【役割の担い手】 ①A:18% B:17% C:18% D:14% E:15% F:18% G:0%

《地域まちづくり活動》

《活動-15》 地域の祭礼等を通じた世代間の交流の促進

<成果の視点> 地域独自の伝統行事や祭礼が活発に行われていること

ふじさわ未来課題

63 地域の人材が働ける機会を創造すること

【地域まちづくり目標】

10 地産地消など新たな農業経営に取り組むまち

【目標の背景・方向性】

直売所等での新鮮で安全な農産物の提供は消費者への責任感の醸成と生産意欲の向上につながります。

【成果指標】

- ①出荷物に対する満足度の割合
- ②農業生産者の数

【現状値】 ①12% ②659人

【めざそう値】 3年後：①15% ②665人 6年後：①20% ②670人

【役割の担い手】 ①A:19% B:14% C:14% D:21% E:10% F:22% G:0%
②A:19% B:15% C:14% D:22% E:11% F:19% G:0%

《地域まちづくり活動》

《活動－16》 ファーマーズマーケットの充実

＜成果の視点＞ 新しい出荷者組合員が増えていること

ふじさわ未来課題

65 市内の交通・物流がスムーズに行われること

【地域まちづくり目標】

11 北部新中心拠点の形成

【目標の背景・方向性】

御所見地区は公共交通不便地域であり、地区内の多くが調整区域であることからインフラ整備が遅れています。中心地区の整備と併せ広域交通網へのアクセスなど幹線道路の整備が求められています。一方で交通量の増加によって地区内の交通に支障がないように配慮していくことも必要です。

【成果指標】

- ①地域の交通ネットワークが充実していると感じる人の割合

【現状値】 ①15%

【めざそう値】 3年後：①20% 6年後：①25%

【役割の担い手】 ①A:14% B:16% C:19% D:20% E:10% F:21% G:0%

《地域まちづくり活動》

《活動－17》 混雑なく移動しやすい交通環境の整備

＜成果の視点＞ 交通アクセスが便利になっていること

<④熟慮と根拠ある未来戦略を>

ふじさわ未来課題

62 産業の活力を高め、地域が元気になること

【地域まちづくり目標】

12 活気あふれる商店街の創出

【目標の背景・方向性】

地区内には大型スーパーも無く、地区内唯一の商店街としての用田商店街の役割と期待は大きなものがあります。

【成果指標】

①買い物に便利なまちだと感じている人の割合

【現状値】 ①15%

【めざそう値】 3年後：①20% 6年後：①25%

【役割の担い手】 ①A:19% B:15% C:14% D:22% E:9% F:21% G:0%

《地域まちづくり活動》

《活動－18》 商店街を知ってもらおう

<成果の視点> 商店街で新しい取り組みが活発に行われていること

藤沢づくりのめざす方向性 8 公共資産の維持管理と有効活用

公有地などの公共的な保有資産の積極的な活用とともに、公共施設の集約・移転等により生じる跡地、施設の有効活用、地域ニーズに合った資産を活用します。そのためには、公共施設・都市基盤施設の老朽化の時期を見据えて、既存施設の保全、再構築、機能更新など、社会資本の有効活用と長寿命化をめざします。

<③より効率的に価値の維持を>

ふじさわ未来課題

69 市民が利用する身近な施設が大切にされていること

【地域まちづくり目標】

13 みんながつどう公共施設があるまち

【目標の背景・方向性】

地域経営の観点から公共施設の現状把握と役割を検討します。

【成果指標】

①公共施設の役割が地域ニーズにあっていると感じている人の割合

【現状値】 ①25%

【めざそう値】 3年後：①30% 6年後：①40%

【役割の担い手】 ①A:14% B:14% C:20% D:16% E:13% F:22% G:0%

《地域まちづくり活動》

《活動-19》 使いたい、使いやすい施設とするための活用方策の推進

<成果の視点> 公共施設がより利用しやすくなっていること

《活動-20》 環境など地域に配慮した施設整備の推進

<成果の視点> 地域の施設が地域の環境に配慮した運営・維持管理を行っていること

藤沢づくりのめざす方向性 9 「藤沢ライフスタイル」と「湘南カルチャー」の創出

湘南の環境と文化、ブランド力などの地域の特性を活かした、魅力的な生活（「藤沢ライフスタイル」）や創造的な湘南の文化（「湘南カルチャー」）の創出をめざし、その魅力と価値を発信します。そして、市民一人ひとりが豊かな心を育み、地域と世界をつなぐ国際交流などを通じて人材を育て、文化にふれあう交流発信のまちをつくりあげることがめざします。

<④熟慮と根拠ある未来戦略を>

ふじさわ未来課題

76 訪れる人・住む人に配慮した心遣いや工夫があること

【地域まちづくり目標】

14 地域資源*1を活かした観光の振興に取り組むまち

【目標の背景・方向性】

気づきの意見では自然環境にも一定の整備が求められています。小出川の彼岸花まつりや宮原耕地でのレンゲの里まつり・ブルーベリー観光農園など、訪れる人に御所見の良さを知っていただき、住む人たちともふれあっていただきながら、地域資源を活用した振興を進めます

【成果指標】

①地域でのイベント参加人数

【現状値】①56,600人

【めざそう値】3年後：①58,000人 6年後：①60,000人

【役割の担い手】①A:17% B:19% C:18% D:17% E:14% F:15% G:0%

《地域まちづくり活動》

《活動-21》 主産業である農業を活かした集客の実現

<成果の視点> 各種イベントに訪れる人が年々増えていること

*1 地域資源：藤沢市内や各地域に存在する、自然環境や景観、文化や伝統、歴史、建造物、お祭り、団体や人的資源、大学や産業などを広い範囲で地域資源と呼んでいます。